

地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けた アンケート調査

調査結果報告書

（第3回東郷町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会用）

— 目次 —

1	アンケート調査の概要.....	1
2	アンケート調査結果【18 歳以上町民】	2
	（1）あなた自身のことについて	2
	（2）地域福祉や手助けについて	6
	（3）地域での助け合いについて	16
	（4）日常生活や地域活動について	20
	（5）地域福祉全般について	33
3	アンケート調査結果【区長・自治会長】	49
	（1）活動の状況について	49
	（2）地域について	52
	（3）地域福祉の推進について	57
4	アンケート調査結果【民生委員・児童委員】	59
	（1）活動の状況について	59
	（2）地域について	64
	（3）地域福祉の推進について	68

1 アンケート調査の概要

■調査の目的

東郷町地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定にあたり、地域の課題や福祉活動、地域福祉の推進方向など、住民の皆さまからのご意見をお聞きするためにアンケート調査を実施しました。

■調査票の回収状況

区分	対象者	調査期間	調査方法	回収状況	
				回収数	回収率
町民一般	18歳以上の 町民 2,000 名	平成 31 年 1 月 10 日～ 1 月 24 日	郵送による 配布・回収	788	39.4%
区長・ 自治会長	区長・自治会長 17 名			16	94.1%
民生委員・ 児童委員	民生委員・ 児童委員 49 名			39	79.6%

■調査報告書の見方

①「N」について

グラフ中の「N」とは、Number of Cases の略で、各設問に該当する回答者総数を表します。

②「%」について

グラフ中の「%」は、小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、単数回答の設問（1 つだけに○をつけるもの）であっても、合計が 100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（複数回答をつけるものなど）は、「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示します。

③選択肢の記載について

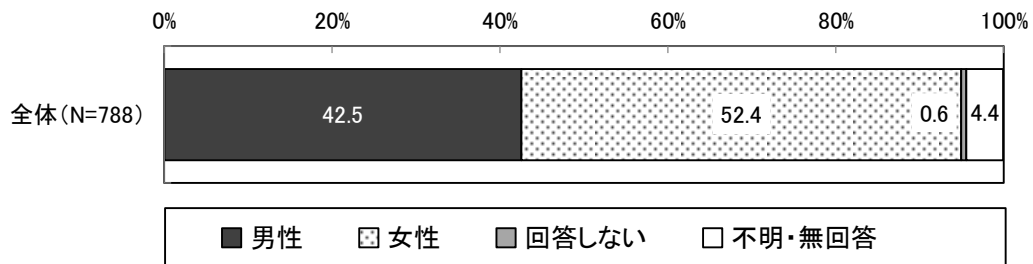
グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。

2 アンケート調査結果【18歳以上町民】

（１）あなた自身のことについて

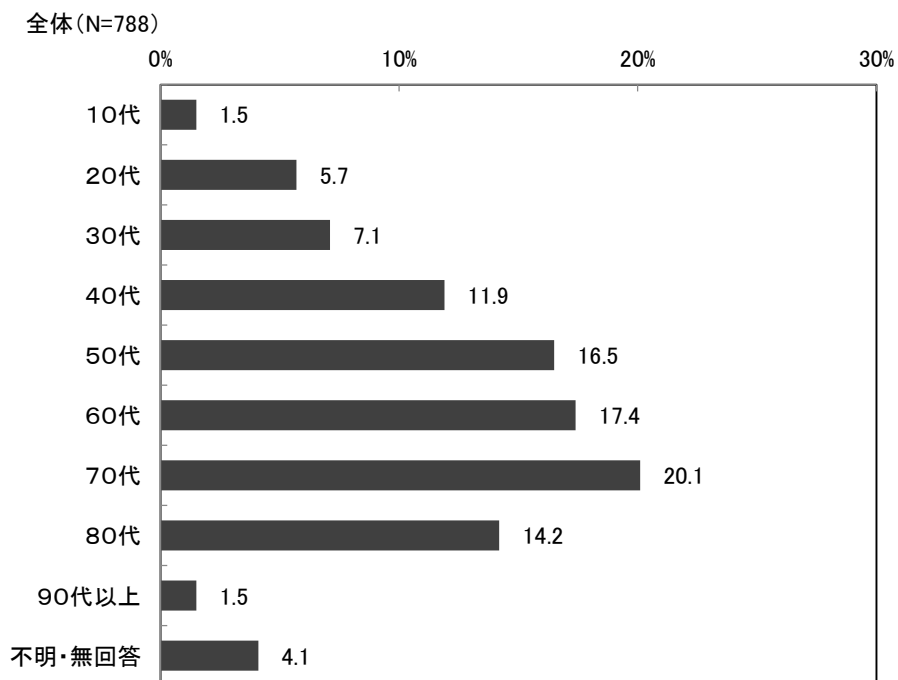
問1 あなたの性別を教えてください。（単数回答）

性別については、「女性」が52.4%、「男性」が42.5%となっています。



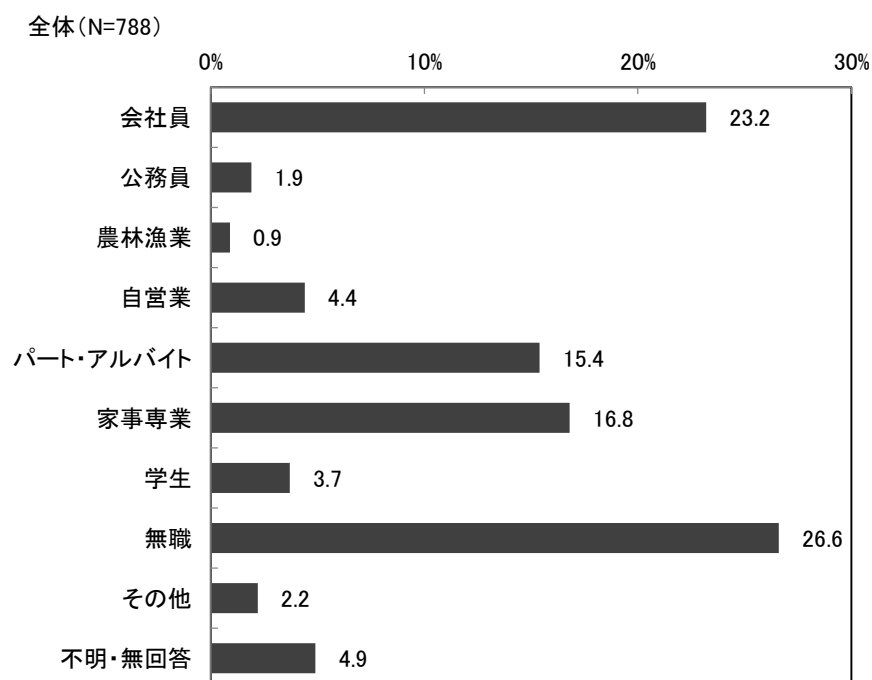
問2 あなたの平成31年1月1日現在の年齢を教えてください。（単数回答）

年齢については、「70代」が20.1%と最も高く、次いで「60代」が17.4%、「50代」が16.5%となっています。



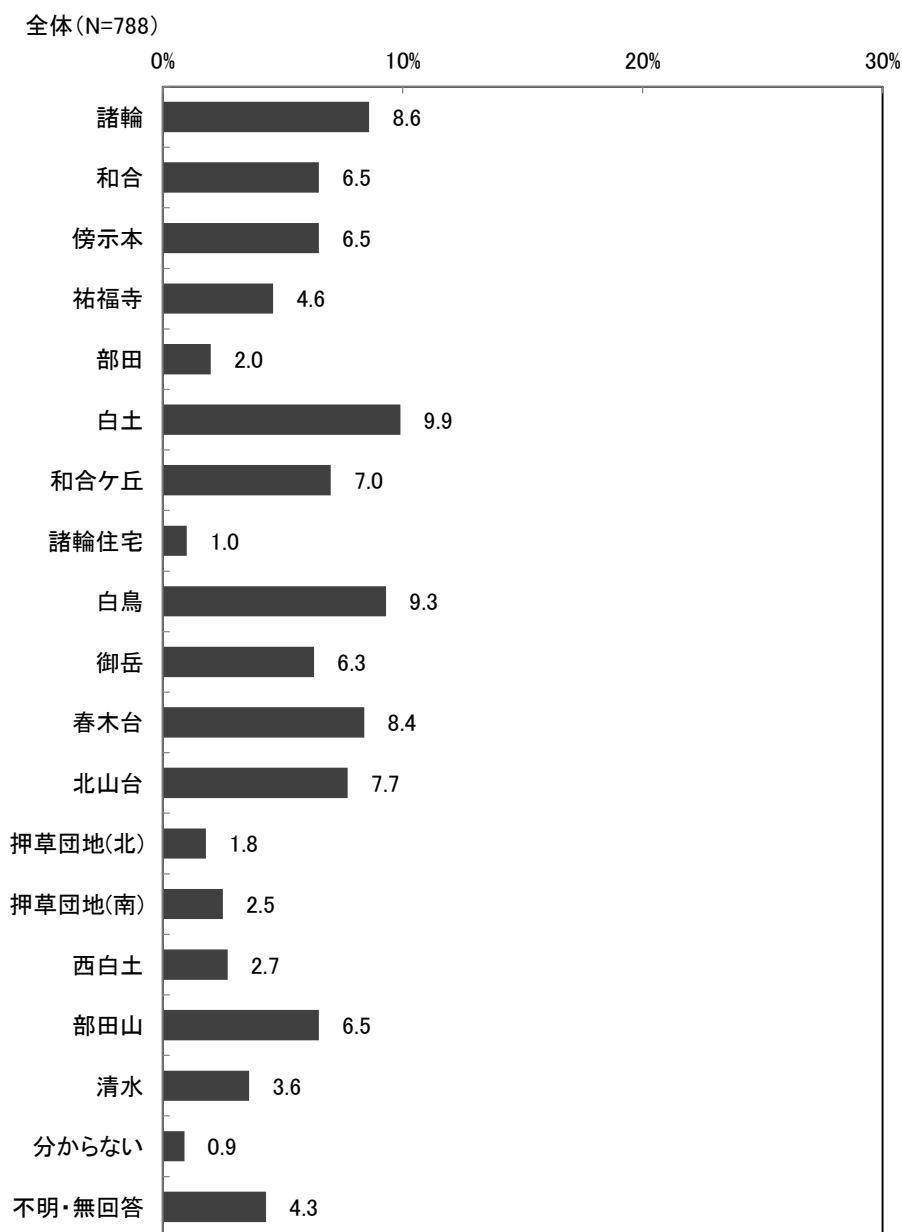
問3 あなたの職業を教えてください。(単数回答)

職業については、「無職」が26.6%と最も高く、次いで「会社員」が23.2%、「家事専業」が16.8%となっています。



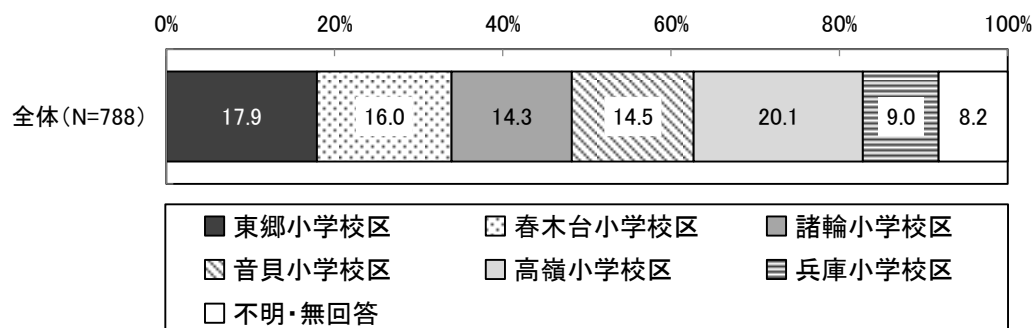
問4 あなたのお住まいは、どの地区にありますか。(単数回答)

居住地区については、「白土」が9.9%と最も高く、次いで「白鳥」が9.3%、「諸輪」が8.6%となっています。



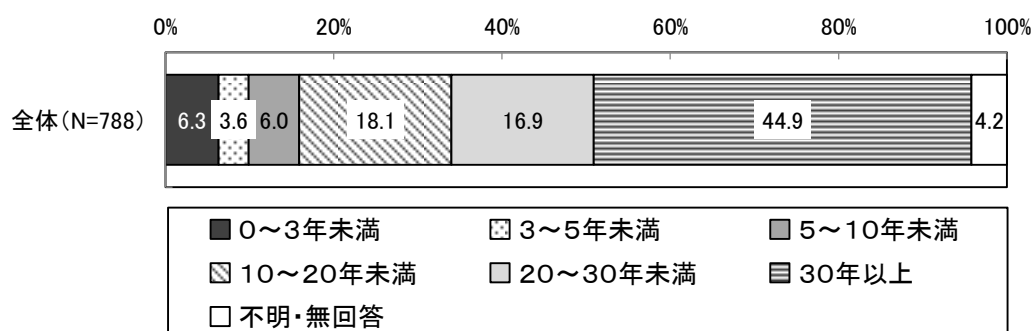
問5 あなたのお住まいは、どの小学校区にありますか。(単数回答)

小学校区については、「高嶺小学校区」が20.1%と最も高く、次いで「東郷小学校区」が17.9%、「春木台小学校区」が16.0%となっています。



問6 お住まいの地区の居住年数を教えてください。(単数回答)

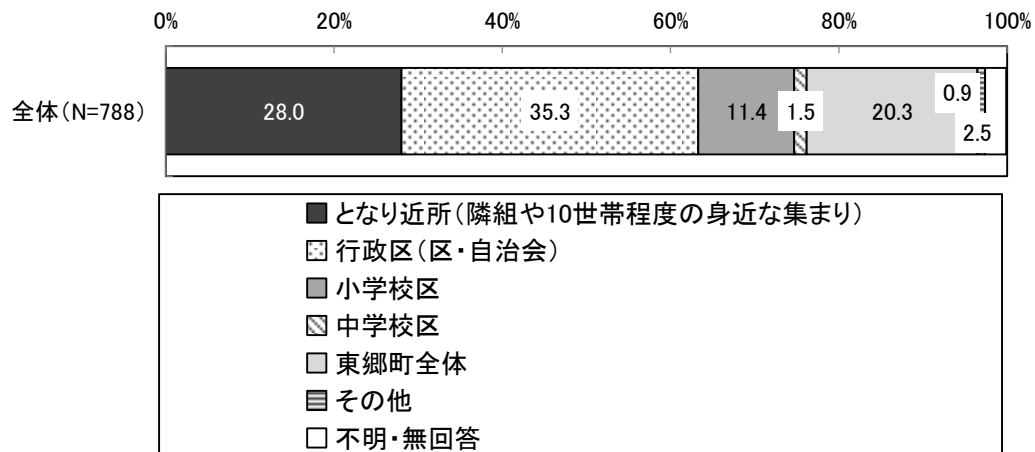
居住年数については、「30年以上」が44.9%と最も高く、次いで「10～20年未満」が18.1%、「20～30年未満」が16.9%となっています。



（２）地域福祉や手助けについて

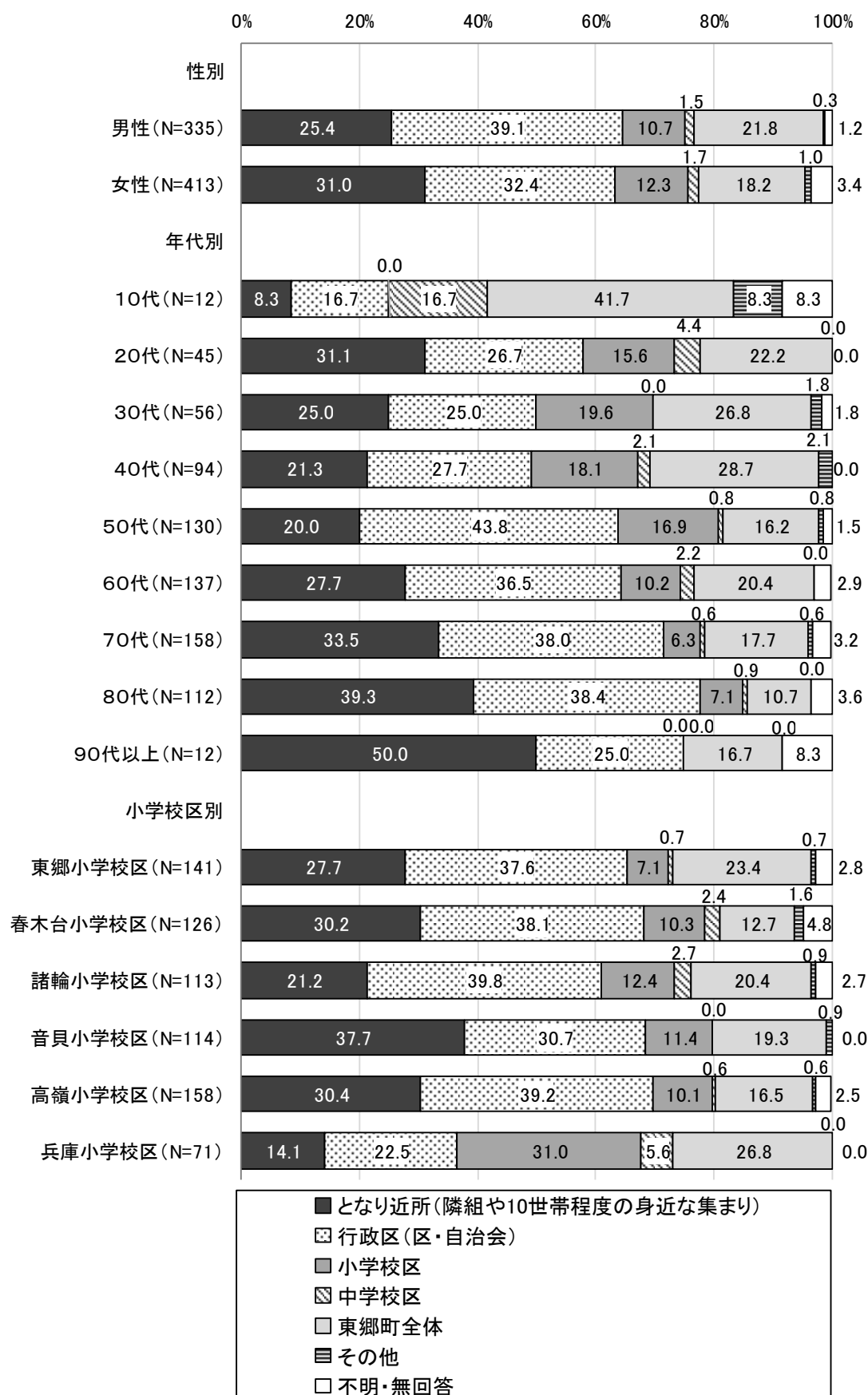
問７ 「地域での支え合い」というときに、あなたが考える「地域」とは概ねどの程度の範囲ですか。（単数回答）

地域の範囲については、「行政区（区・自治会）」が 35.3%と最も高く、次いで「となり近所（隣組や 10 世帯程度の身近な集まり）」が 28.0%、「東郷町全体」が 20.3%となっています。



年代別に見ると、20代と70代以降で「となり近所」への回答割合が3割を超えています。

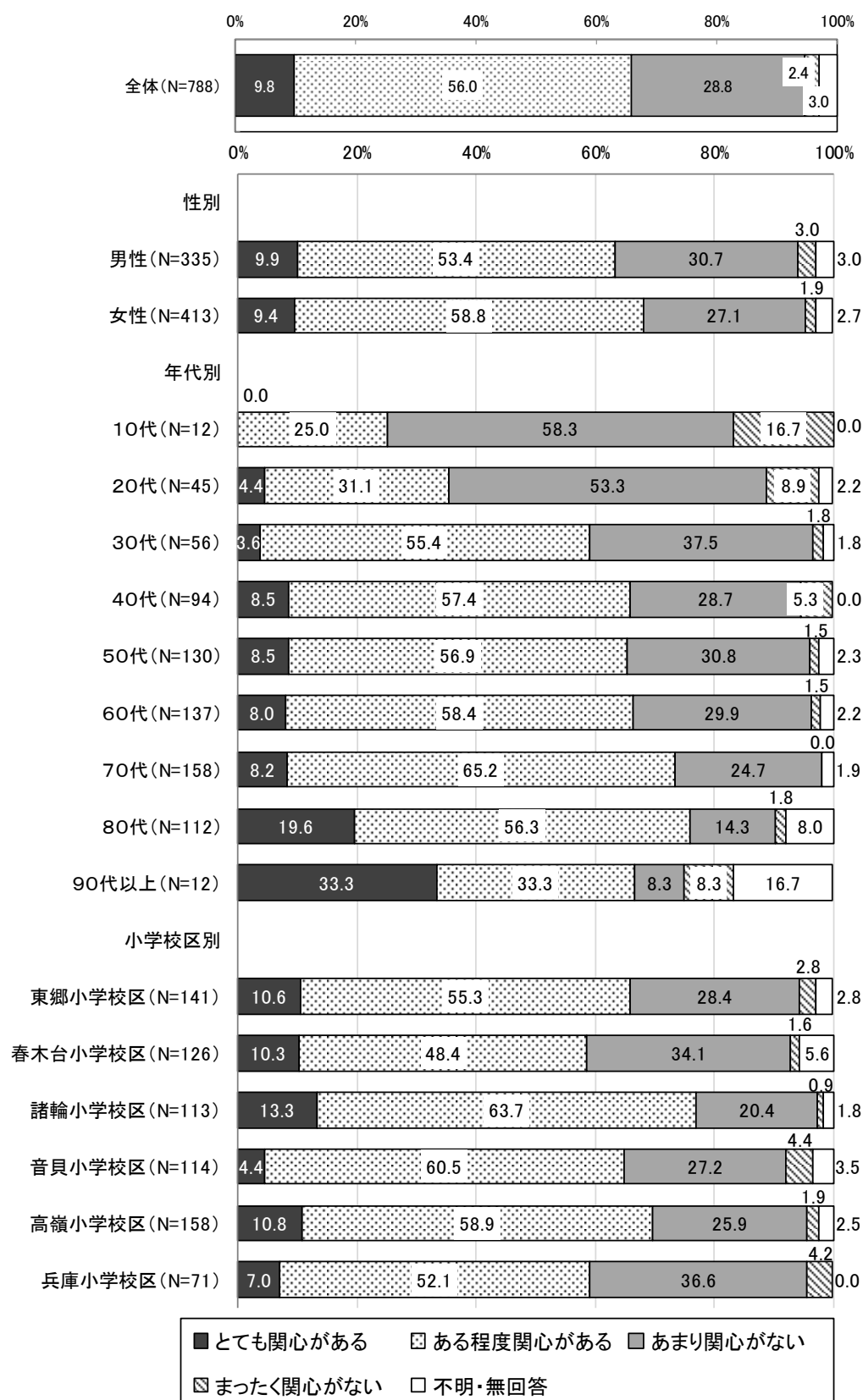
小学校区別では、音貝小学校区では「となり近所」への回答が最も高く、兵庫小学校区では「小学校区」への回答が最も高くなっています。



問8 あなたは、地域の福祉について関心はありますか。(単数回答)

地域の福祉への関心については、「ある程度関心がある」が56%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が28.8%、「とても関心がある」が9.8%となっています。

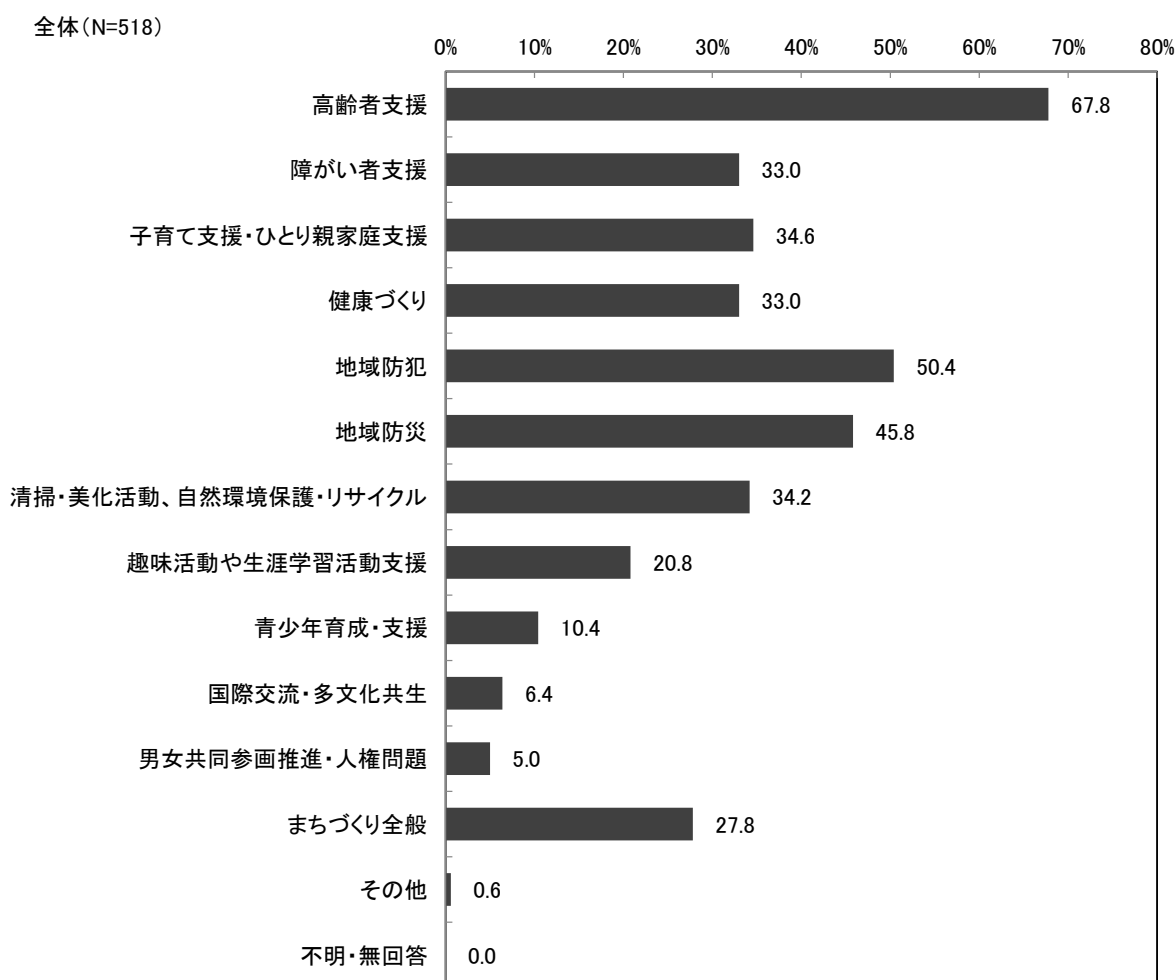
年代別では、80代まで年代が高いほど福祉への関心が高い傾向となっています。



問8で「1 とても関心がある」または「2 ある程度関心がある」を選んだ方

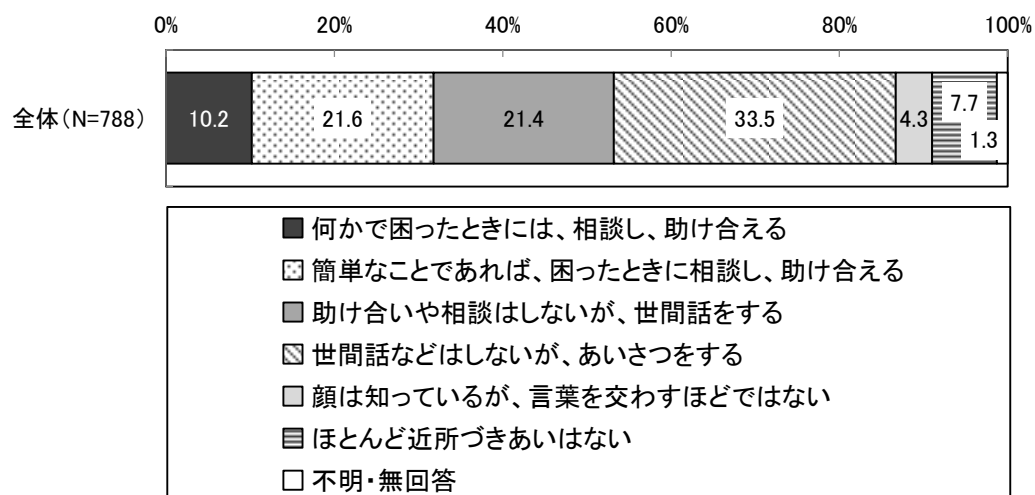
問8-1 特に関心のある内容は、次のうちどれですか。(複数回答)

特に関心のある内容については、「高齢者支援」が67.8%と最も高く、次いで「地域防犯」が50.4%、「地域防災」が45.8%となっています。

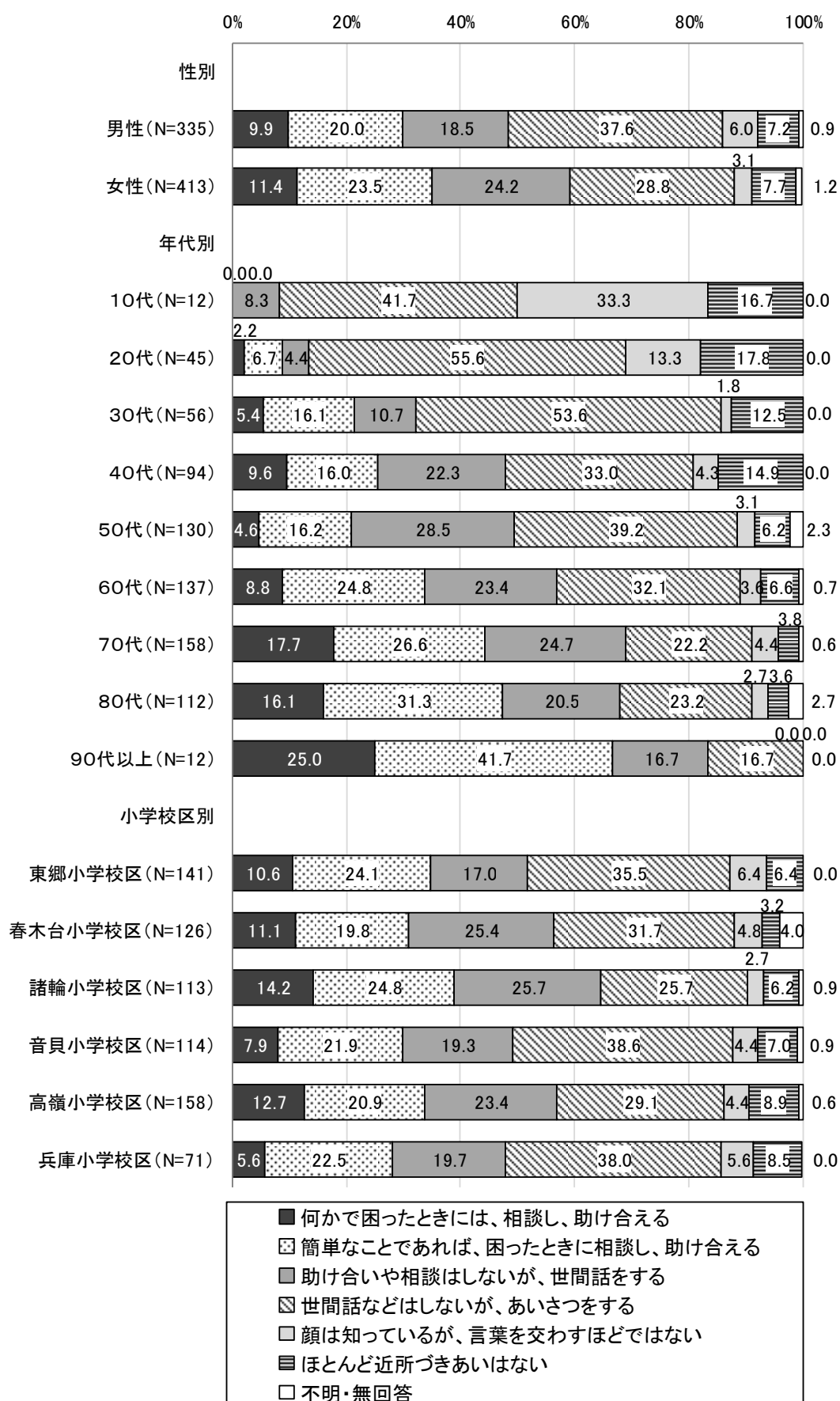


問9 あなたは、現在、どの程度「ご近所づきあい」をしていますか。(単数回答)

ご近所づきあいについては、「世間話などはしないが、あいさつをする」が33.5%と最も高く、次いで「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」が21.6%、「助け合いや相談はしないが、世間話をする」が21.4%となっています。

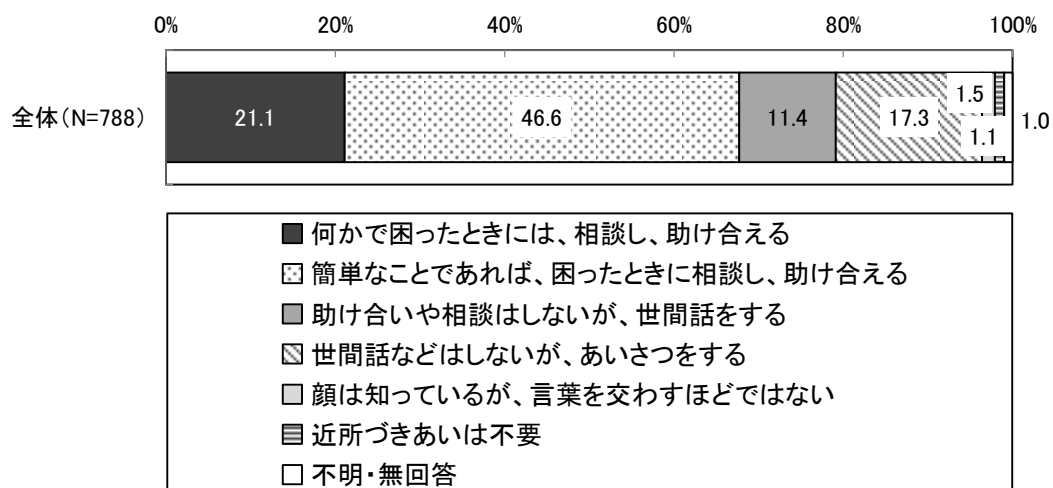


性別では、「世間話などはしないが、あいさつをする」への回答が男女で差がみられます。
 年代別では、概ね年代が高いほど「何かで困ったときには、相談し、助け合える」への回答が高くなっています。

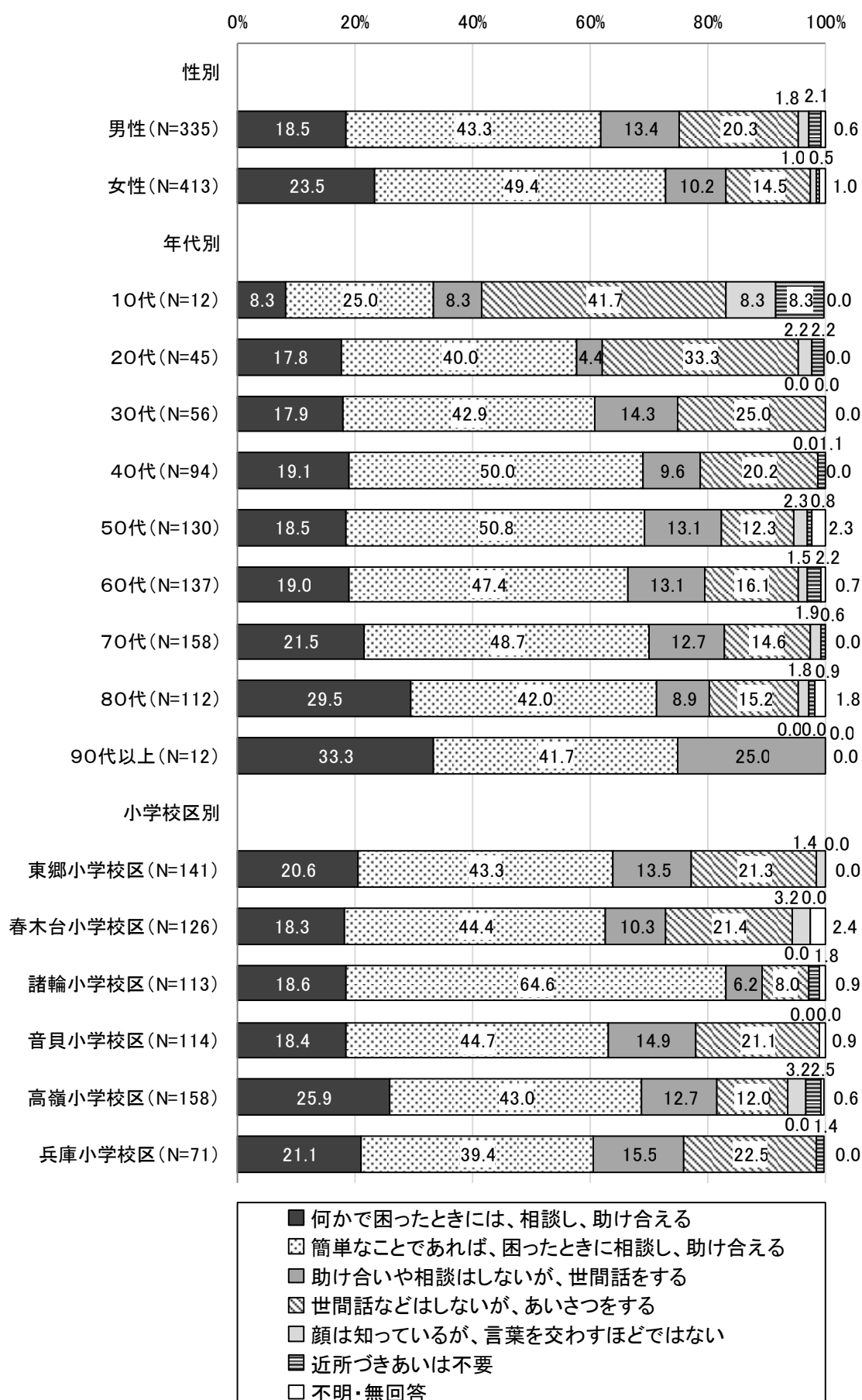


問 10 あなたは、今後、どの程度の「ご近所づきあい」を理想としますか。(単数回答)

理想のご近所づきあいについては、「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」が46.6%と最も高く、次いで「何かで困ったときには、相談し、助け合える」が21.1%、「世間話などはしないが、あいさつをする」が17.3%となっています。



小学校区別では、諸輪小学校区のみ「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」への回答が6割を超えています。

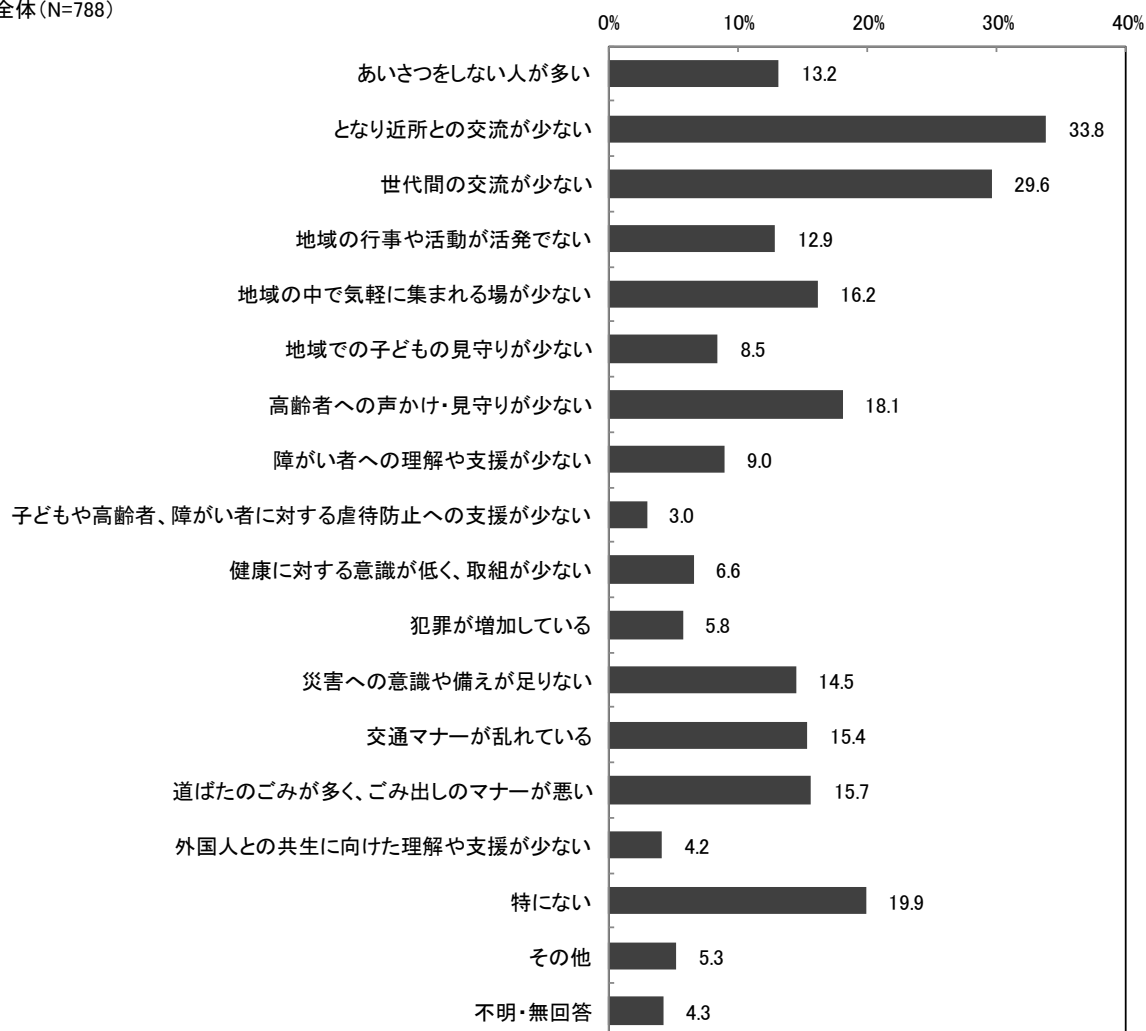


問 11 あなたの住む地域の状況や課題は、次のうちどれですか。(複数回答)

自分が住む地域の状況や課題については、「となり近所との交流が少ない」が33.8%と最も高く、次いで「世代間の交流が少ない」が29.6%、「特にない」が19.9%となっています。

年代別では、10代では「特にない」が最も高く、30代では「交通マナーが乱れている」が最も高くなっています。

全体(N=788)



		あいさつをしない人が多い	となり近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の行事や活動が活発でない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	地域での子どもの見守りが少ない	高齢者への声かけ・見守りが少ない	障がい者への理解や支援が少ない	子どもや高齢者、障がい者に対する虐待防止への支援が少ない	健康に対する意識が低く、取組が少ない	犯罪が増加している	災害への意識や備えが足りない	交通マナーが乱れている	道ばたのごみが多く、ごみ出しのマナーが悪い	外国人との共生に向けた理解や支援が少ない	特になし	その他	不明・無回答
性別	男性(N=355)	12.8	31.9	29.3	14.6	16.1	9.0	17.3	9.6	2.7	8.1	5.4	15.5	17.0	14.9	4.2	18.8	5.1	3.9
	女性(N=413)	12.6	33.7	29.1	11.9	16.0	7.3	17.7	8.5	3.4	5.1	6.1	14.0	14.0	15.5	3.6	21.1	5.8	3.9
年代別	10代(N=12)	16.7	8.3	16.7	25.0	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	8.3	16.7	25.0	8.3	41.7	8.3	-
	20代(N=45)	4.4	35.6	33.3	11.1	15.6	4.4	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	15.6	11.1	17.8	4.4	28.9	6.7	-
	30代(N=56)	12.5	23.2	23.2	12.5	10.7	14.3	12.5	10.7	7.1	3.6	3.6	5.4	25.0	19.6	8.9	21.4	12.5	-
	40代(N=94)	14.9	34.0	22.3	5.3	10.6	12.8	16.0	12.8	5.3	5.3	7.4	20.2	23.4	24.5	2.1	20.2	10.6	2.1
	50代(N=130)	12.3	35.4	33.8	13.8	15.4	11.5	11.5	7.7	2.3	6.2	9.2	20.0	17.7	16.9	6.2	18.5	6.9	3.1
	60代(N=137)	10.2	35.0	33.6	15.3	18.2	8.8	16.1	8.8	1.5	2.9	7.3	13.1	15.3	15.3	4.4	13.1	2.9	8.0
	70代(N=158)	13.3	29.7	21.5	13.3	17.1	3.2	21.5	5.7	1.9	6.3	3.8	10.8	11.4	10.1	1.3	24.1	2.5	3.8
	80代(N=112)	17.9	37.5	38.4	16.1	19.6	4.5	27.7	10.7	2.7	13.4	3.6	15.2	8.0	7.1	2.7	20.5	1.8	5.4
	90代以上(N=12)	16.7	25.0	33.3	8.3	16.7	8.3	33.3	33.3	-	8.3	-	8.3	16.7	25.0	-	8.3	8.3	8.3
	東郷小学校区(N=141)	14.9	35.5	32.6	19.1	19.1	12.1	19.9	10.6	1.4	7.1	4.3	14.2	18.4	14.2	4.3	17.7	2.1	2.8
小学校別	春木台小学校区(N=126)	9.5	25.4	28.6	7.9	12.7	11.9	16.7	11.1	1.6	4.8	5.6	13.5	16.7	23.0	4.8	19.8	5.6	5.6
	諸輪小学校区(N=113)	11.5	28.3	25.7	15.0	19.5	7.1	17.7	8.8	4.4	5.3	0.9	18.6	13.3	13.3	3.5	23.0	5.3	4.4
	音貝小学校区(N=114)	12.3	36.8	29.8	14.0	12.3	3.5	11.4	6.1	2.6	5.3	7.9	8.8	19.3	14.9	0.9	21.1	9.6	4.4
	高嶺小学校区(N=158)	15.2	34.8	31.6	11.4	16.5	4.4	20.9	8.2	3.8	7.0	10.8	13.9	12.7	9.5	7.0	17.7	3.8	2.5
	兵庫小学校区(N=71)	15.5	36.6	31.0	9.9	14.1	12.7	14.1	8.5	5.6	9.9	4.2	19.7	12.7	19.7	-	23.9	7.0	2.8

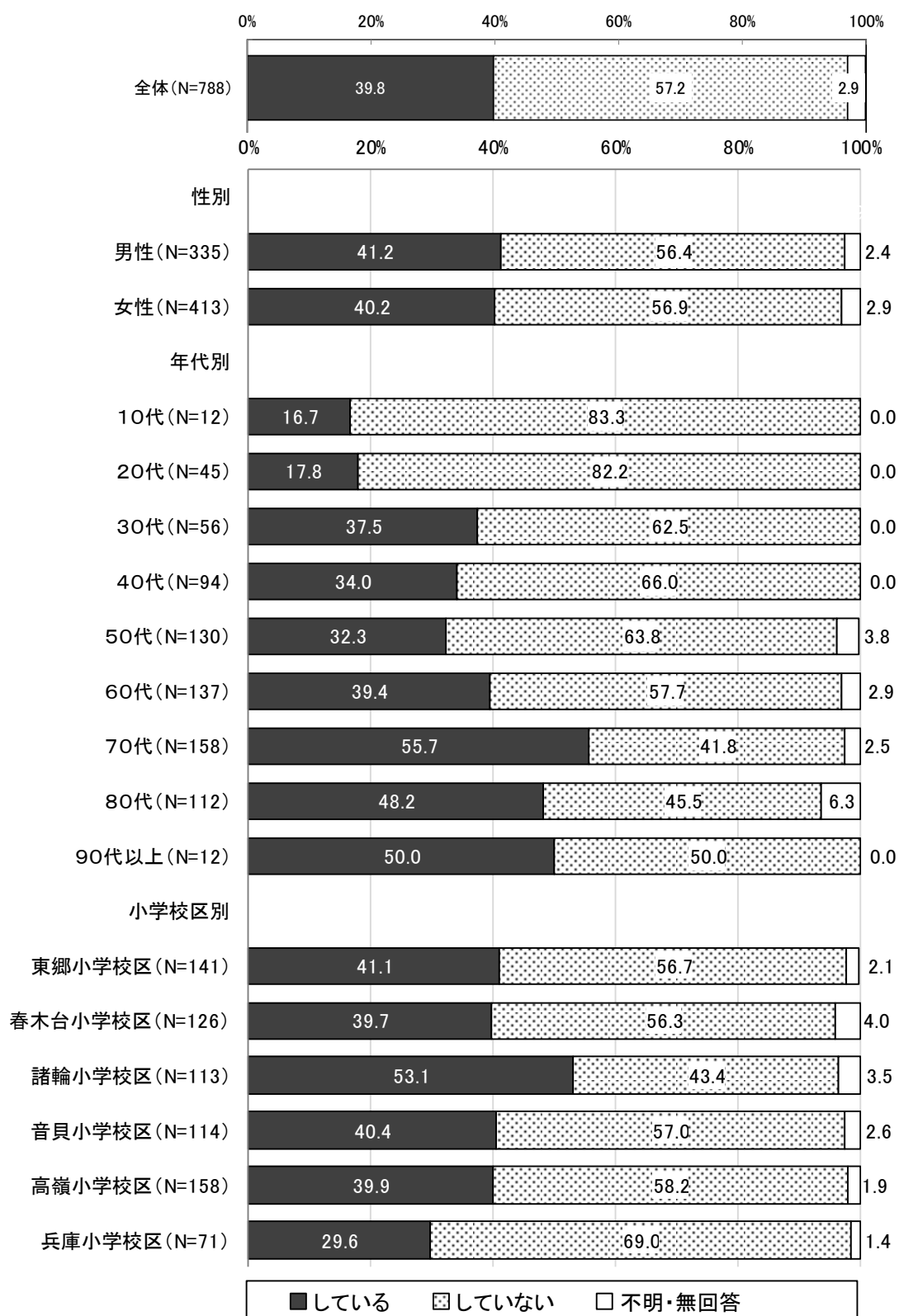
(3) 地域での助け合いについて

問 12 あなたは、日頃、お住まいの地域で、となり近所の人と生活上のちょっとした手助けや協力などの助け合いをしていますか。(単数回答)

日頃の助け合いについては、「している」が39.8%、「していない」が57.2%となっています。

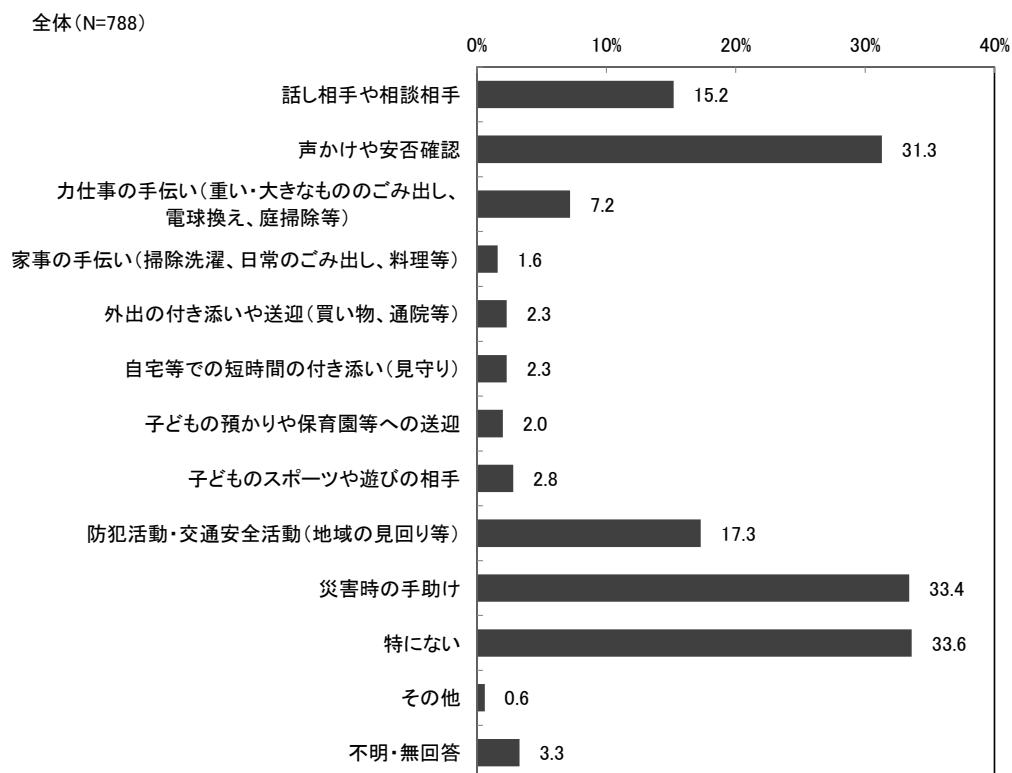
年代別では、70代以上で「している」が4割を超えています。

小学校区別では、諸輪小学校区で「している」が5割を超えています。



問 13 あなたは、生活の中で、となり近所の人にどのような手助けや協力をしてほしいと思いますか。(複数回答)

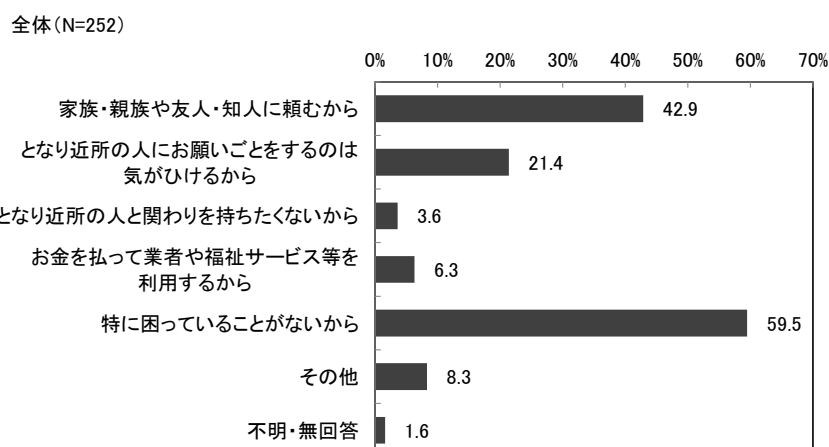
となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことについては、「特にない」が33.6%と最も高く、次いで「災害時の手助け」が33.4%、「声かけや安否確認」が31.3%となっています。



問 13 で「11 特にない」を選んだ方

問 13-1 となり近所の人に手助けや協力してほしいことがない理由は何ですか。(複数回答)

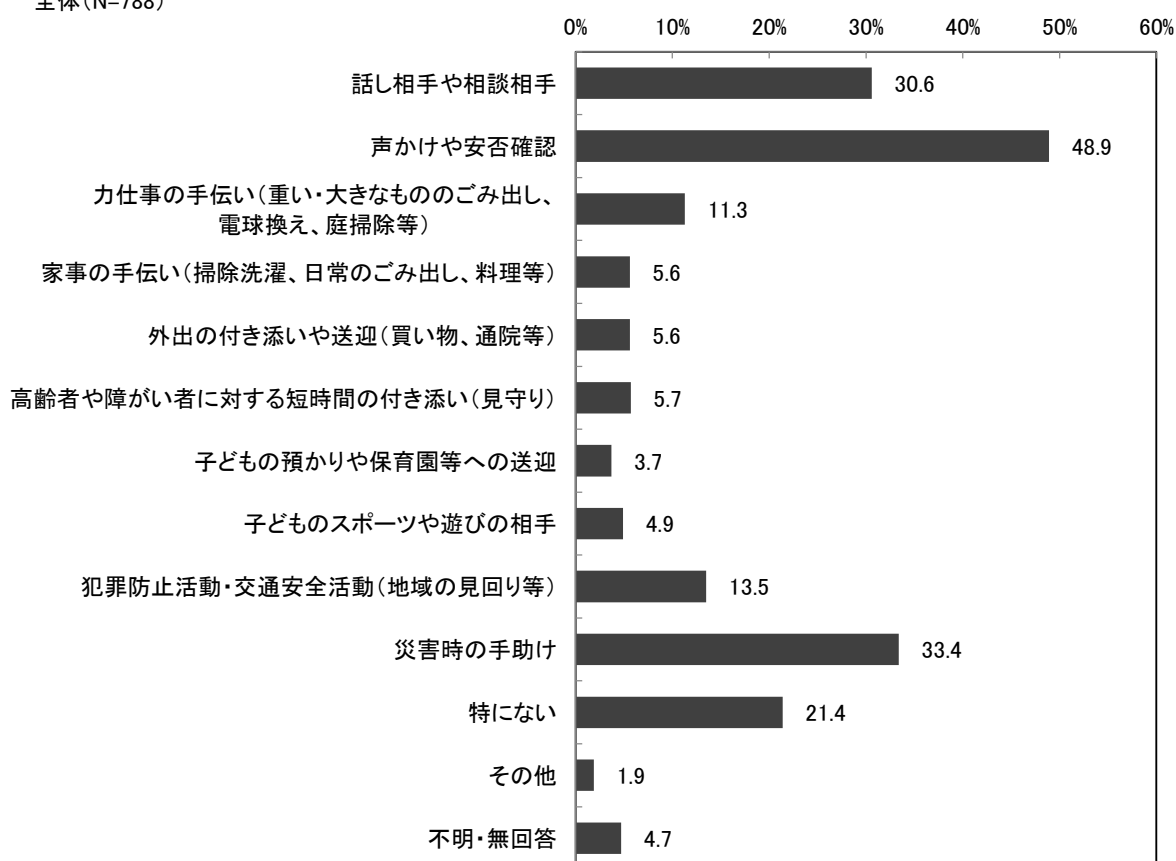
となり近所の人に手助けや協力してほしいことがない理由については、「特に困っていることがないから」が59.5%と最も高く、次いで「家族・親族や友人・知人に頼むから」が42.9%、「となり近所の人をお願いごとをするのは気がひけるから」が21.4%となっています。



問 14 あなた自身が、となり近所の人に対して手助けしたり、協力したりできることはありますか。(複数回答)

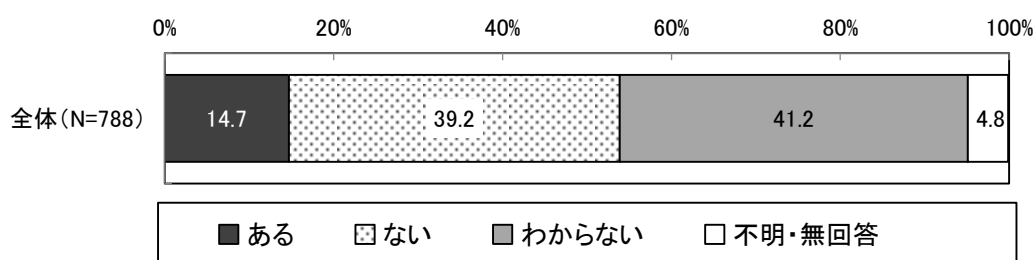
自分が、となり近所の人に対して手助けしたり、協力したりできることについては、「声かけや安否確認」が48.9%と最も高く、次いで「災害時の手助け」が33.4%、「話し相手や相談相手」が30.6%となっています。

全体(N=788)



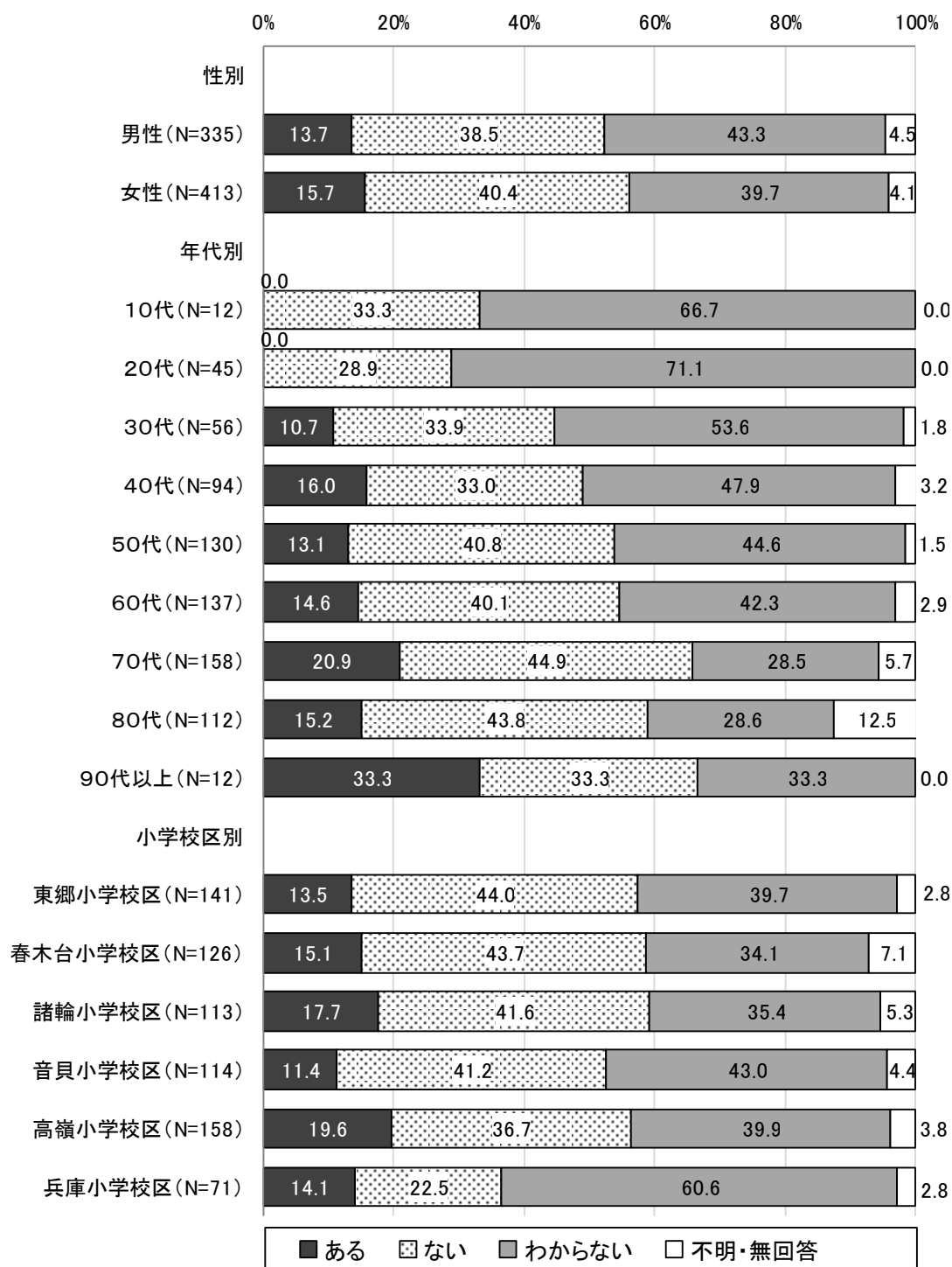
問 15 とおり近所に、周囲の人の手助けや協力・支援が必要だと思われるご家庭がありますか。(単数回答)

手助けや協力・支援が必要だと思われる家庭があるかについては、14.7%が「ある」と回答しています。



年代別では70代と90代以上で「ある」が2割を超えています。

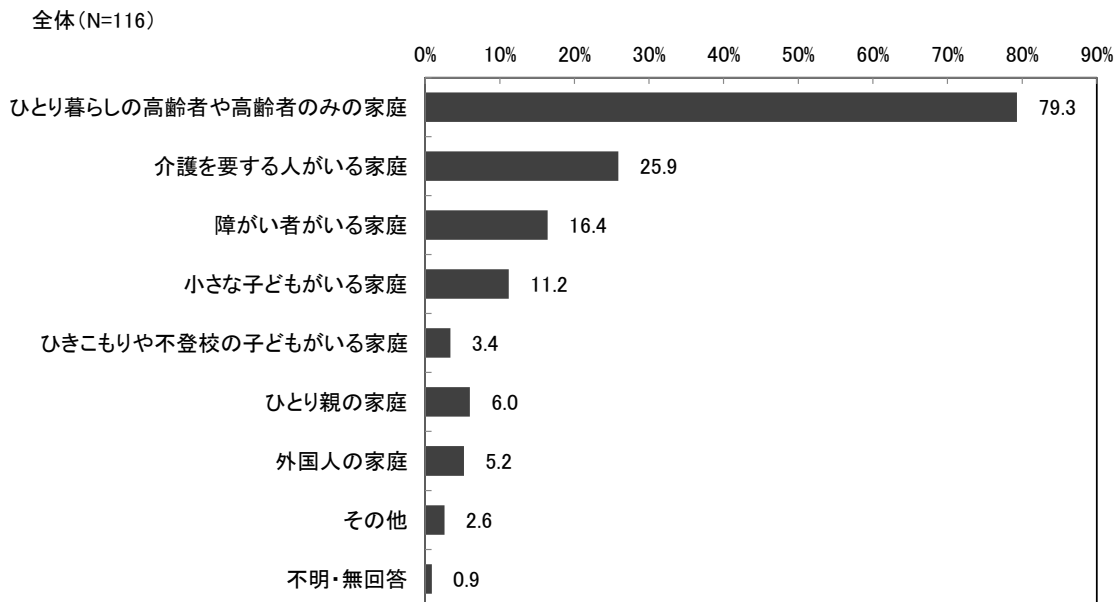
小学校区別では兵庫小学校区で「わからない」が6割を超えています。



問 15 で「1 ある」を選んだ方

問 15-1 それはどのようなご家庭ですか。(複数回答)

手助けや協力・支援が必要だと思われる家庭については、「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭」が 79.3%と群を抜いて最も高く、次いで「介護を要する人がいる家庭」が 25.9%、「障がい者がいる家庭」が 16.4%となっています。

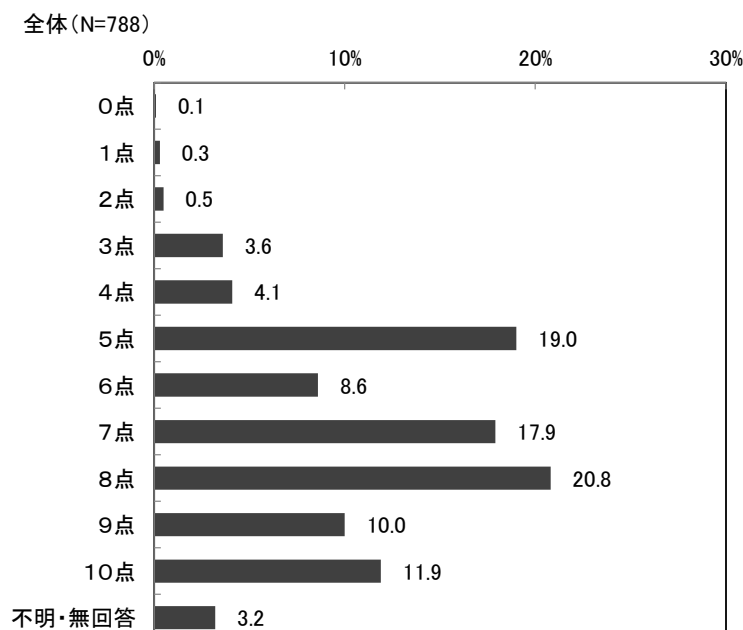


(4) 日常生活や地域活動について

問 16 現在、あなたはどの程度幸せですか。「すごく不幸せ(0点)」から「すごく幸せ(10点)」の間で表すと、何点だと思いますか。数字に○を付けてください。(単数回答)

ご自身が感じる幸せの度合いについては、9割近くが5点以上となっています。その中でも「8点」が 20.8%、「5点」が 19.0%、「7点」が 17.9%となっています。

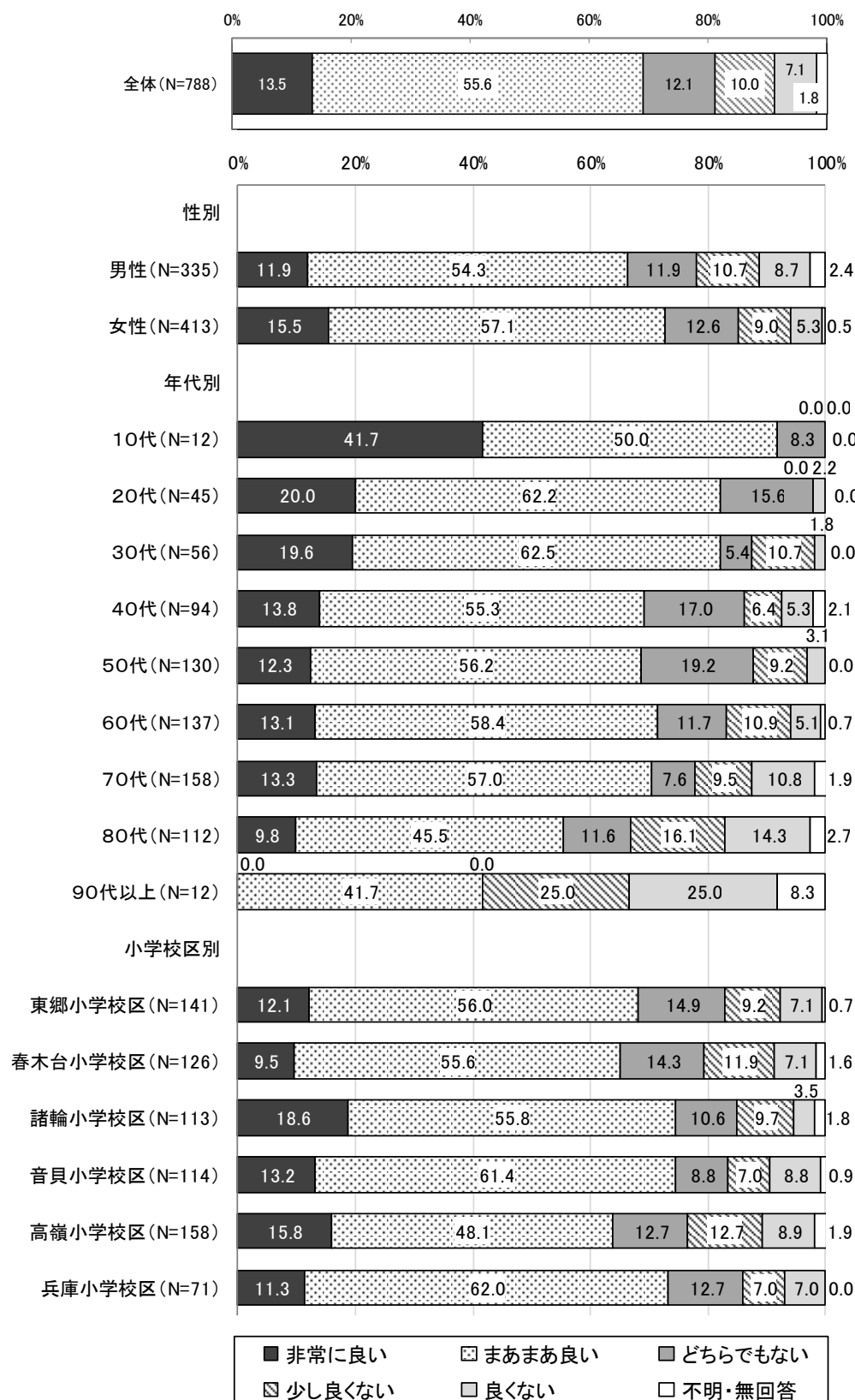
なお、今回の調査から得た点数の平均点は、6.99 点となっています。



問 17 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(単数回答)

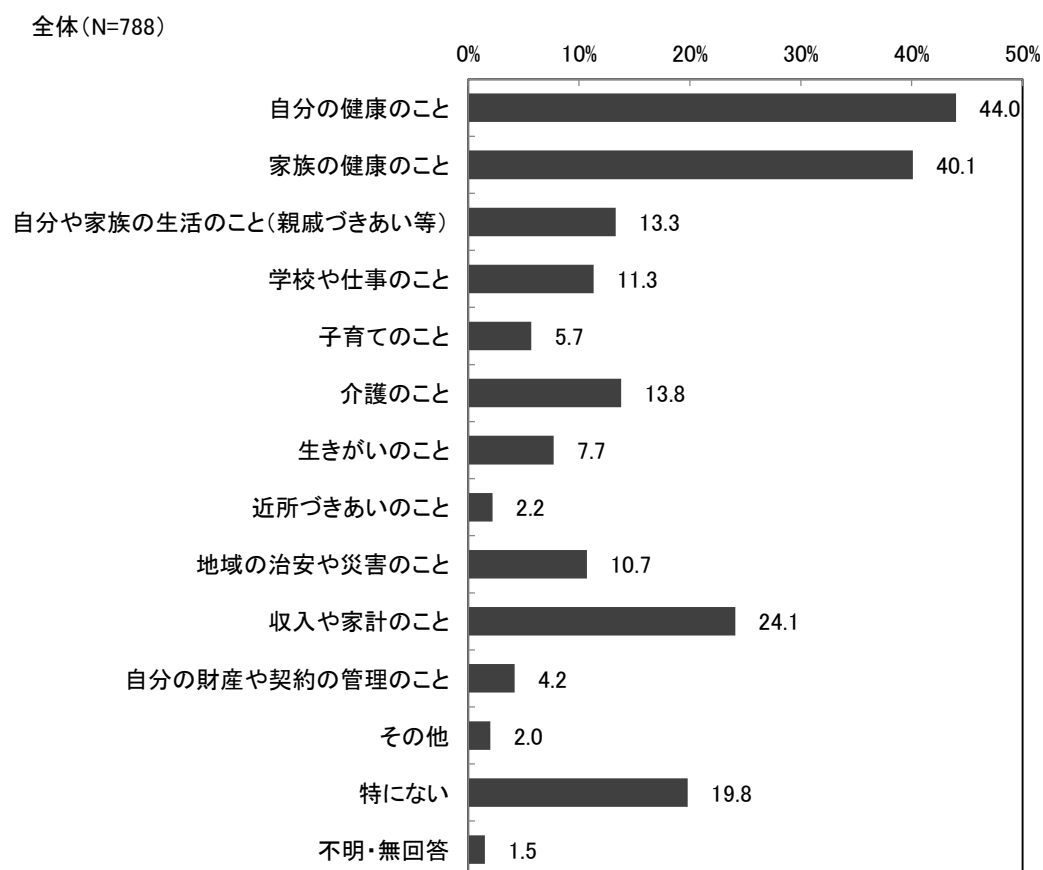
現在の健康状態については、「まあまあ良い」が55.6%と最も高く、次いで「非常に良い」が13.5%、「どちらでもない」が12.1%となっています。

年代別では、「非常に良い」への回答は10代から30代までが2割を超えており、40代以降は2割未満となっています。



問 18 あなたは、現在、日々の生活の中で、主にどのような悩みや不安がありますか。
(複数回答)

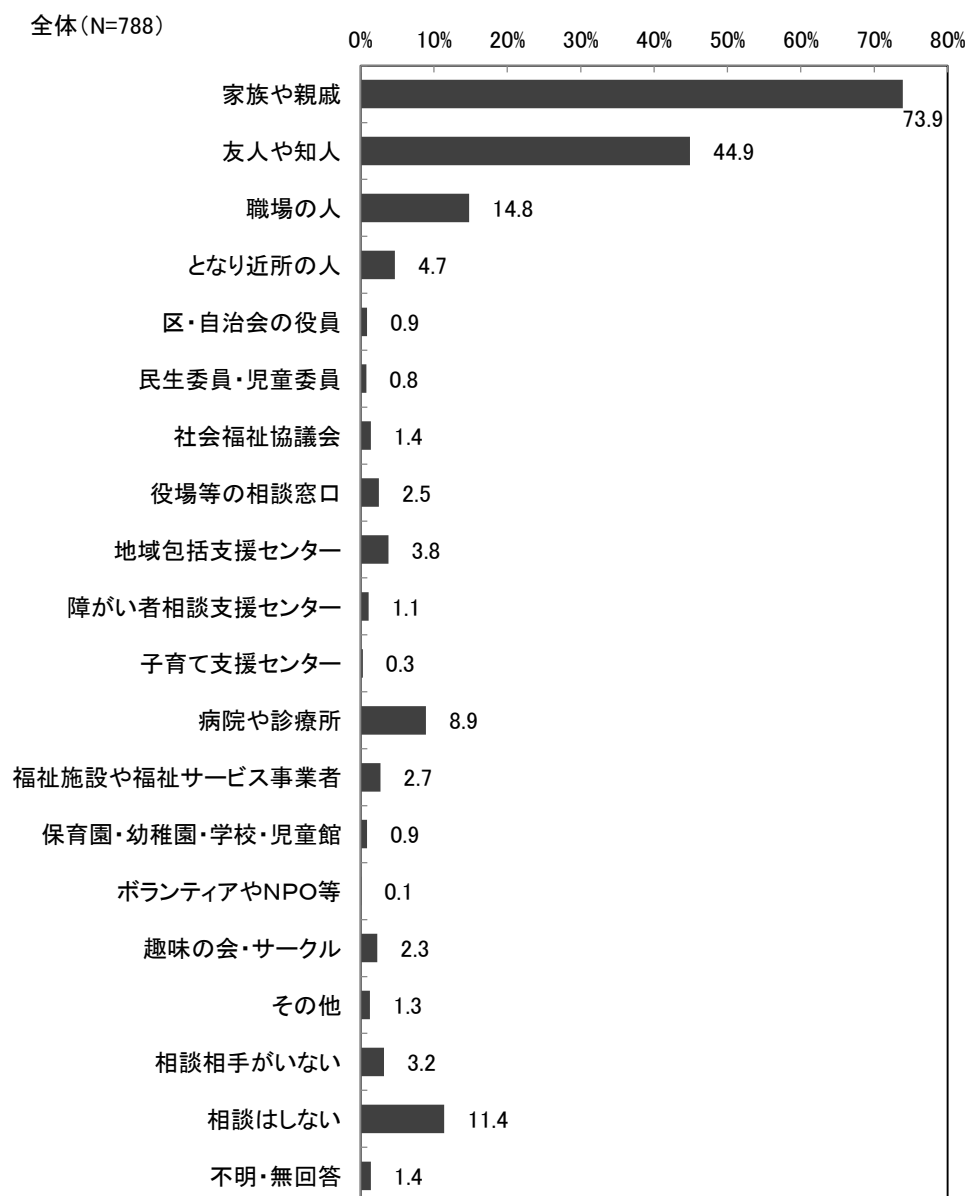
現在、日々の生活の中で、主にどのような悩みや不安があるかについては、「自分の健康のこと」が44.0%と最も高く、次いで「家族の健康のこと」が40.1%、「収入や家計のこと」が24.1%となっています。



問 19 あなたは、生活上の悩みや不安を、主に誰(どこ)に相談していますか。(複数回答)

生活上の悩みや不安の相談先については、「家族や親戚」が73.9%と最も高く、次いで「友人や知人」が44.9%、「職場の人」が14.8%となっています。

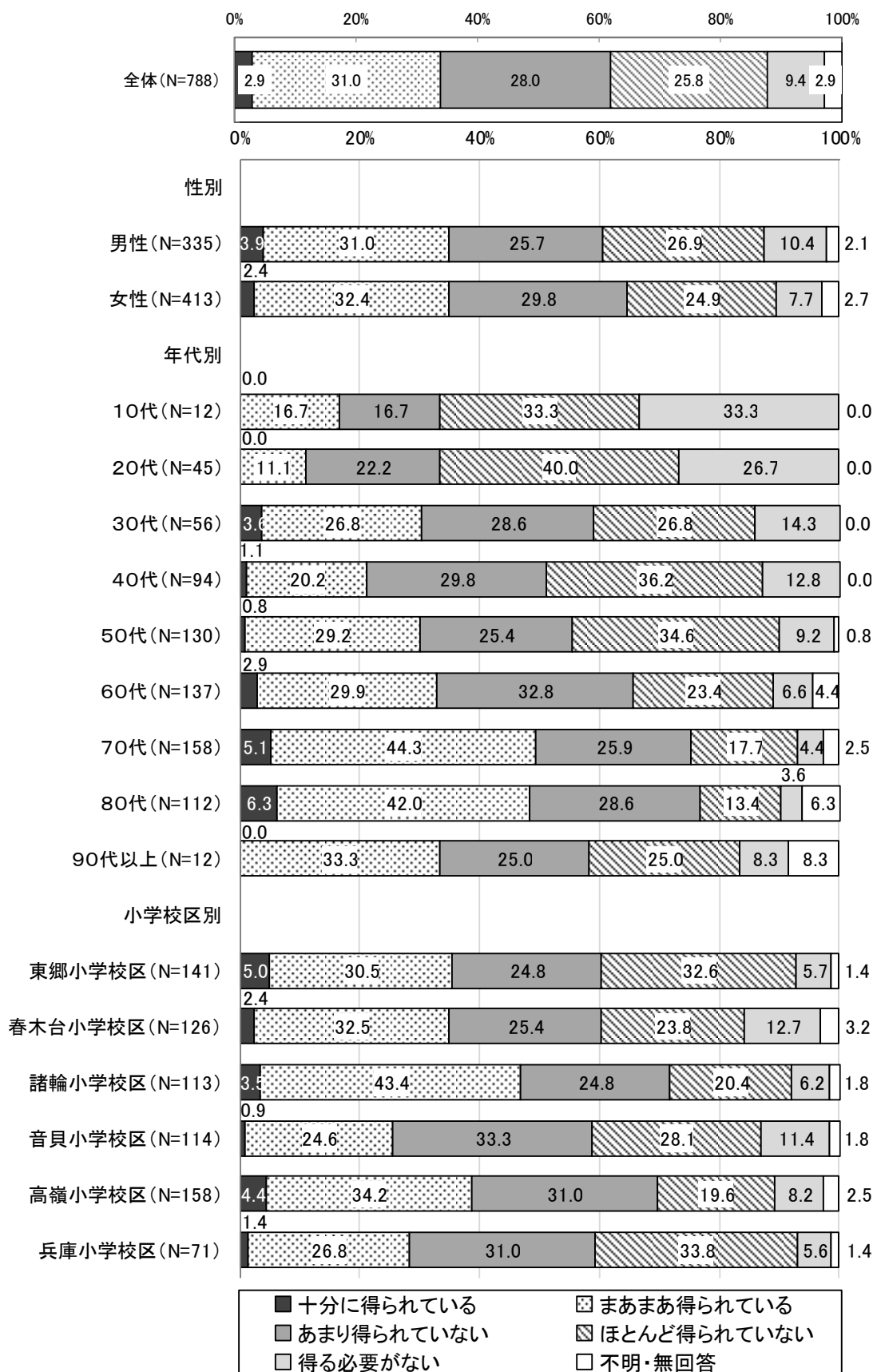
また、「相談はしない」も11.4%となっています。



問 20 あなたは、日々の生活に必要な福祉の情報が得られていますか。(単数回答)

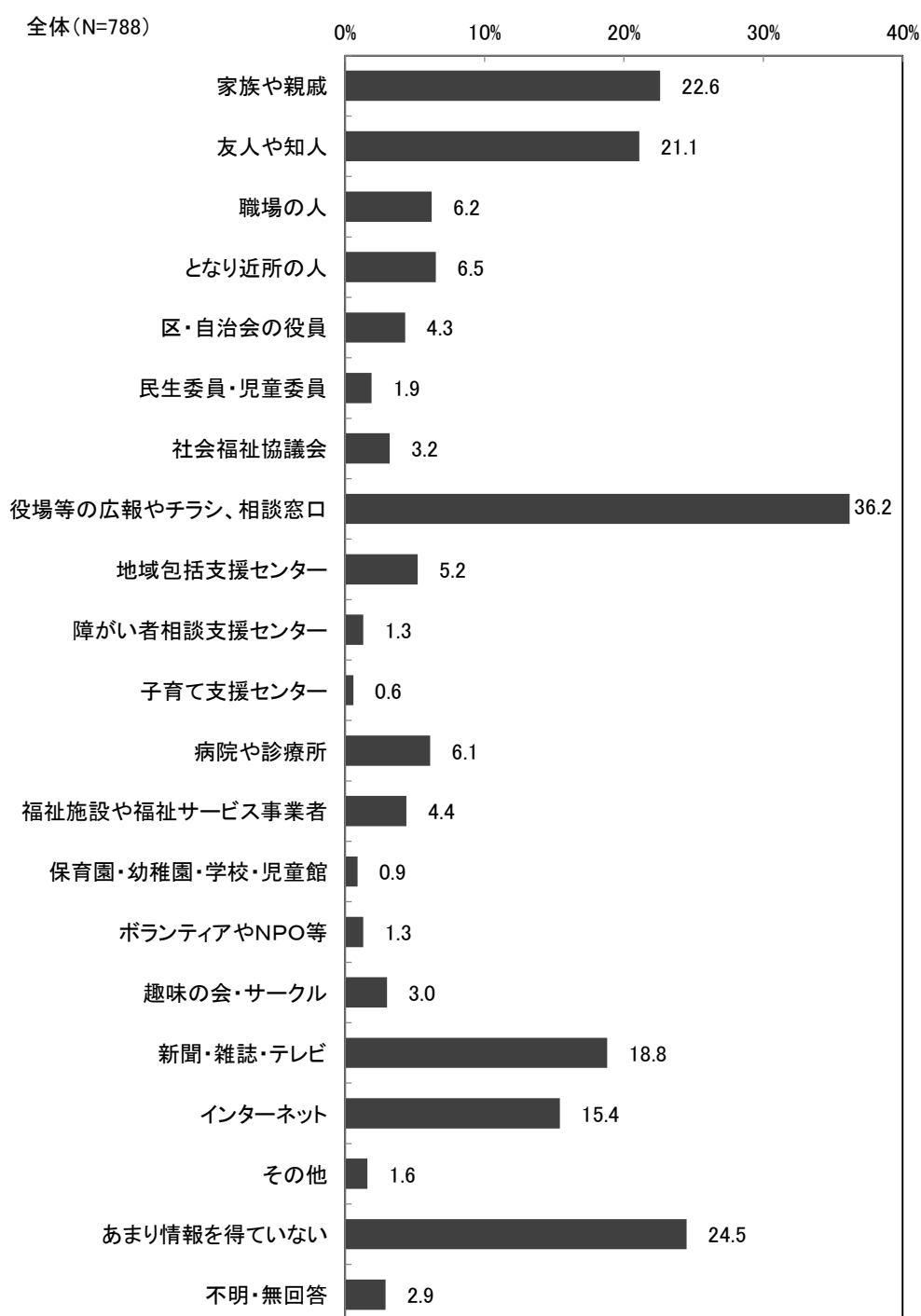
福祉の情報については、「まあまあ得られている」が31.0%と最も高く、次いで「あまり得られていない」が28.0%、「ほとんど得られていない」が25.8%となっています。

小学校区別では、諸輪小学校区で「まあまあ得られている」が4割を超えています。



問 21 あなたは、日々の生活に必要な福祉の情報を誰(どこ)から入手していますか。
(複数回答)

日々の生活に必要な福祉の情報の入手先については、「役場等の広報やチラシ、相談窓口」が36.2%と最も高く、次いで「あまり情報を得ていない」が24.5%、「家族や親戚」が22.6%となっています。

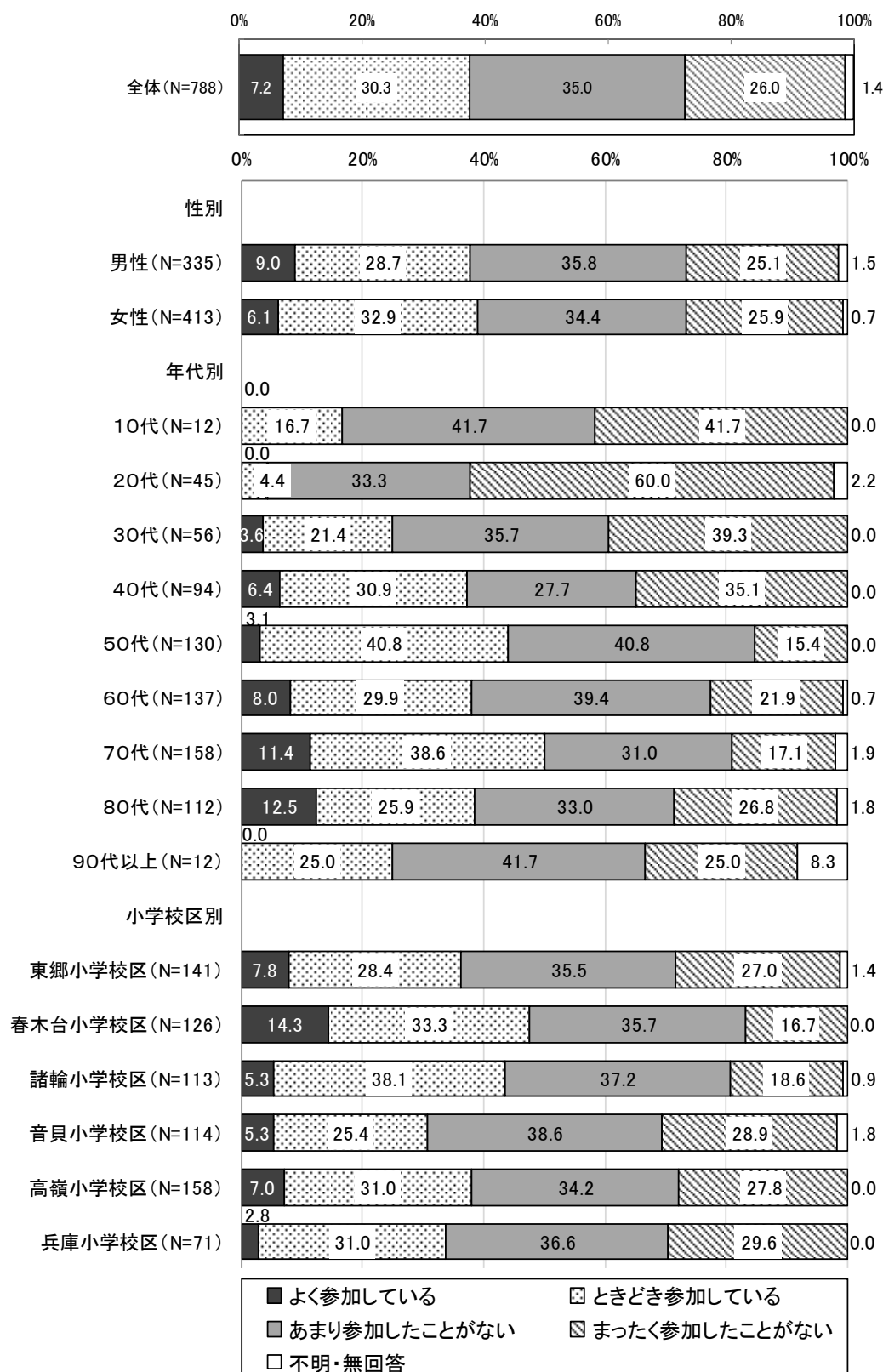


問 22 あなたは、区・自治会などのご近所の地域活動に参加していますか。(単数回答)

近所の地域活動への参加については、「あまり参加したことがない」が35.0%と最も高く、次いで「ときどき参加している」が30.3%、「まったく参加したことがない」が26.0%となっています。

年代別では、40代、50代、70代で「ときどき参加している」が3割を超えています。

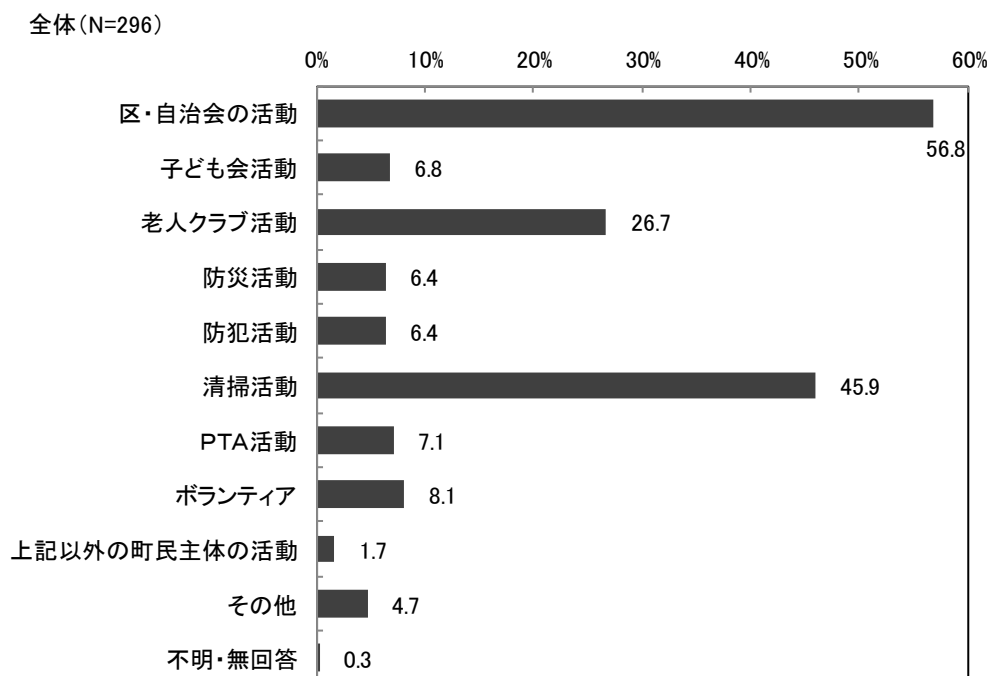
小学校区別では、春木台小学校区で「よく参加している」が1割を超えています。



問 22 で「1 よく参加している」または「2 ときどき参加している」を選んだ方

問 22-1 どんな地域活動をしていますか。(複数回答)

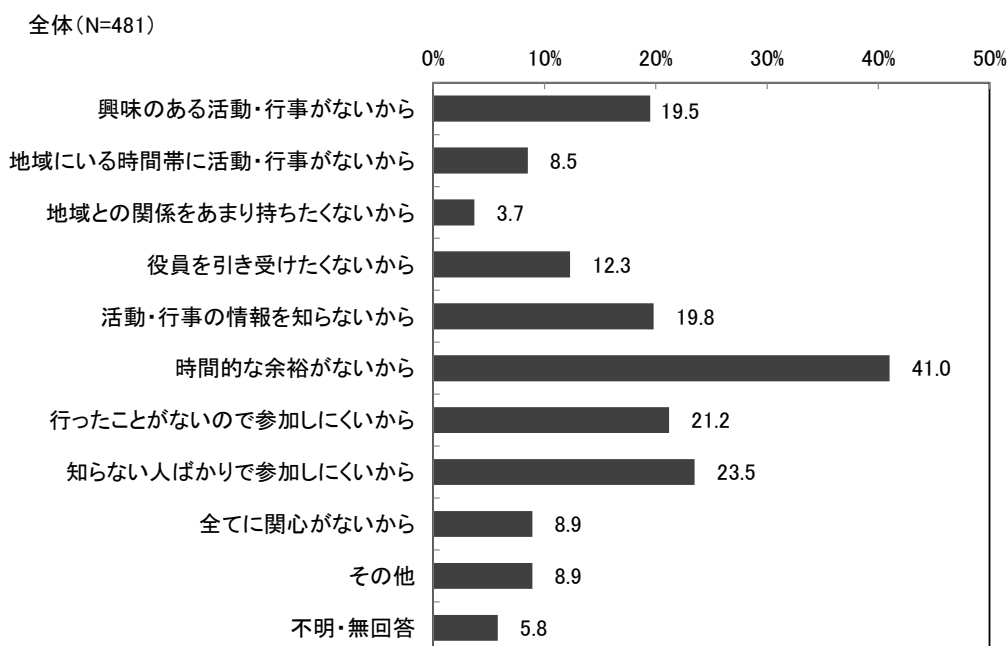
参加している地域活動の内容については、「区・自治会の活動」が 56.8%と最も高く、次いで「清掃活動」が 45.9%、「老人クラブ活動」が 26.7%となっています。



問 22 で「3 あまり参加したことがない」または「4 まったく参加したことがない」を選んだ方

問 22-2 参加しない理由は何ですか。(複数回答)

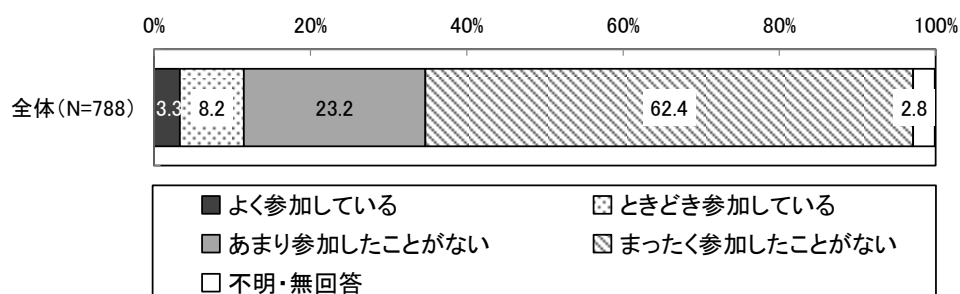
参加しない理由については、「時間的な余裕がないから」が 41.0%と最も高く、次いで「知らない人ばかりで参加しにくいから」が 23.5%、「行ったことがないので参加しにくいから」が 21.2%となっています。



問 23 あなたは、ボランティア・町民主体の活動やNPO活動に参加していますか。

(単数回答)

ボランティア・町民主体の活動やNPO活動への参加については、「まったく参加したことがない」が62.4%と最も高く、次いで「あまり参加したことがない」が23.2%、「ときどき参加している」が8.2%となっています。

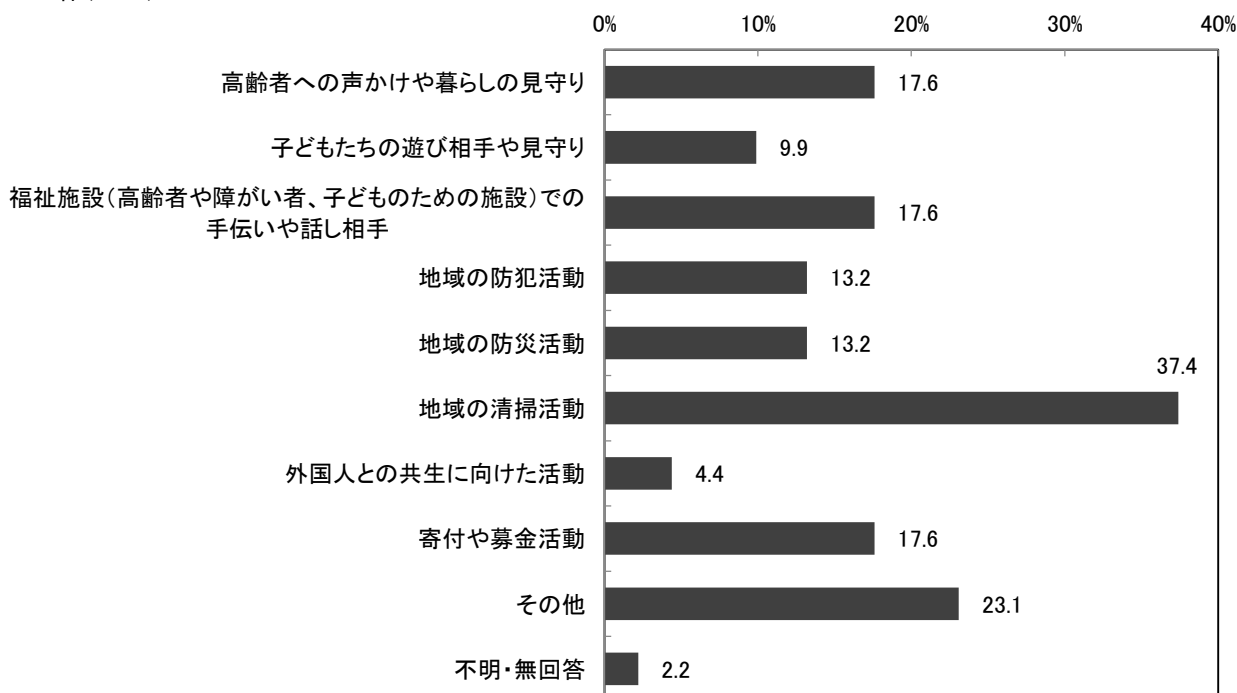


問 23 で「1 よく参加している」または「2 ときどき参加している」を選んだ方

問 23-1 どのようなボランティア・町民主体の活動やNPO活動に参加したことがありますか。(複数回答)

参加したことがあるボランティア・町民主体の活動やNPO活動については、「地域の清掃活動」が37.4%と最も高く、次いで「その他」が23.1%、「高齢者への声かけや暮らしの見守り」「福祉施設(高齢者や障がい者、子どものための施設)での手伝いや話し相手」「寄付や募金活動」が17.6%となっています。

全体(N=91)

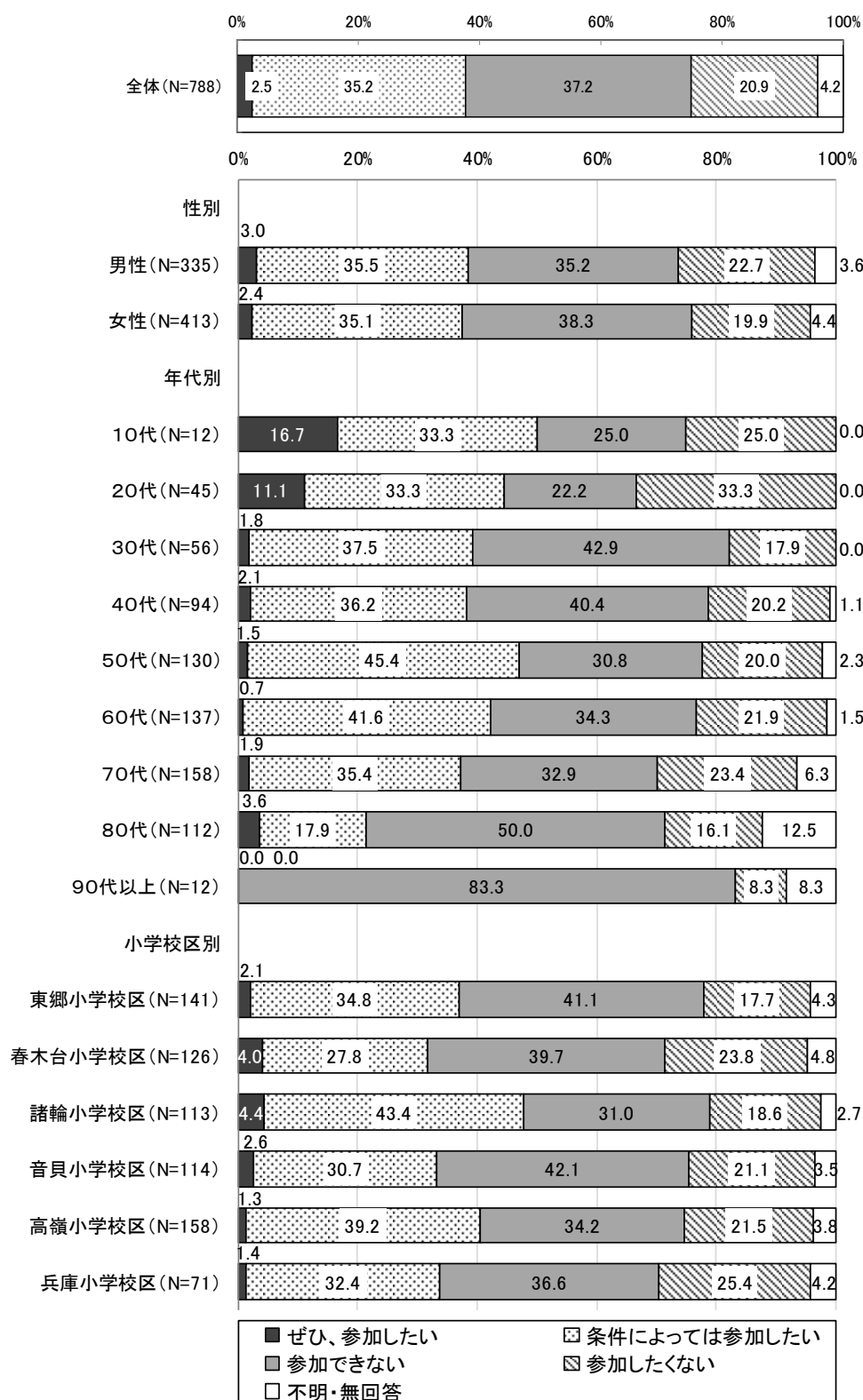


問 24 あなたは、今後、ボランティア・町民主体の活動やNPO活動に参加してみたいと思いますか。(単数回答)

今後、参加してみたいと思うボランティア・町民主体の活動やNPO活動については、「参加できない」が37.2%と最も高く、次いで「条件によっては参加したい」が35.2%、「参加したくない」が20.9%となっています。

年代別では、50代と60代で「条件によっては参加したい」への回答が4割を超えています。

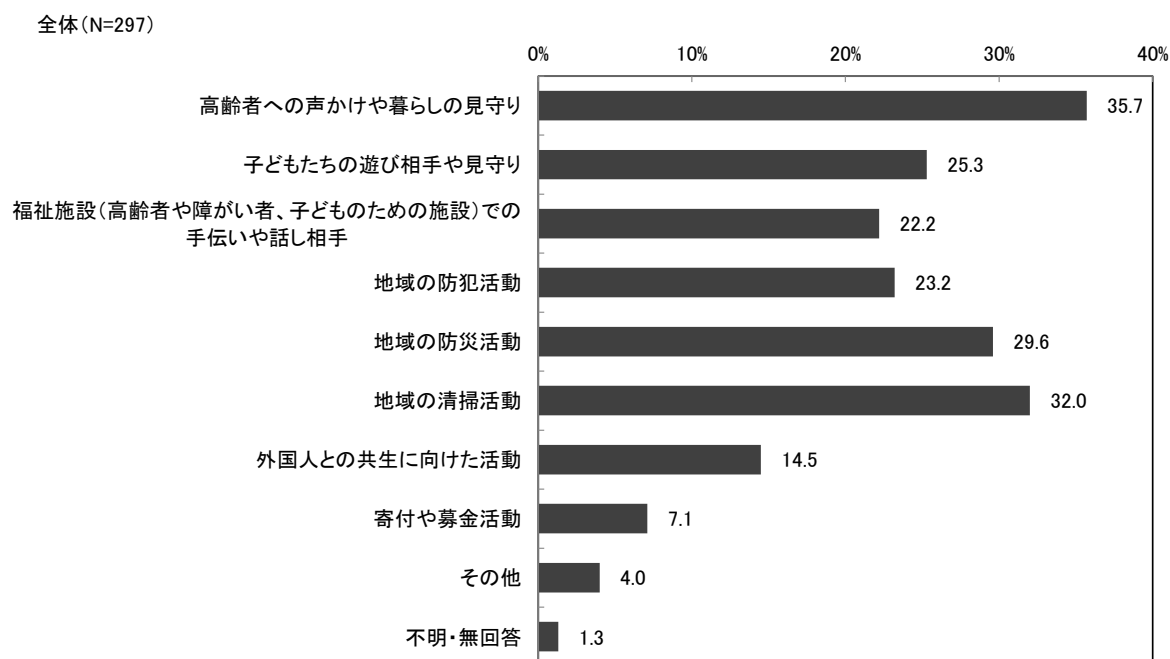
小学校区別では、諸輪小学校区で「条件によっては参加したい」への回答が4割を超えています。



問 24 で「1 ぜひ、参加したい」または「2 条件によっては参加したい」を選んだ方

問 24-1 あなたが参加してみたいボランティア・町民主体の活動やNPO活動は、次のうちどれですか。（現在参加しているものを含む。）（複数回答）

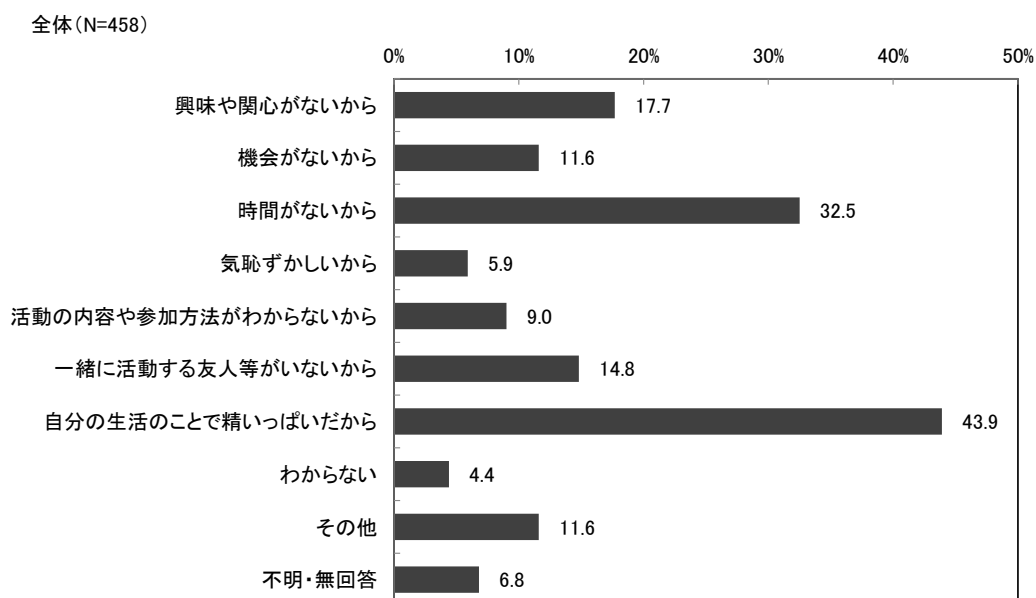
自分が参加してみたいボランティア・町民主体の活動やNPO活動については、「高齢者への声かけや暮らしの見守り」が35.7%と最も高く、次いで「地域の清掃活動」が32.0%、「地域の防災活動」が29.6%となっています。



問 24 で「3 参加できない」または「4 参加したくない」を選んだ方

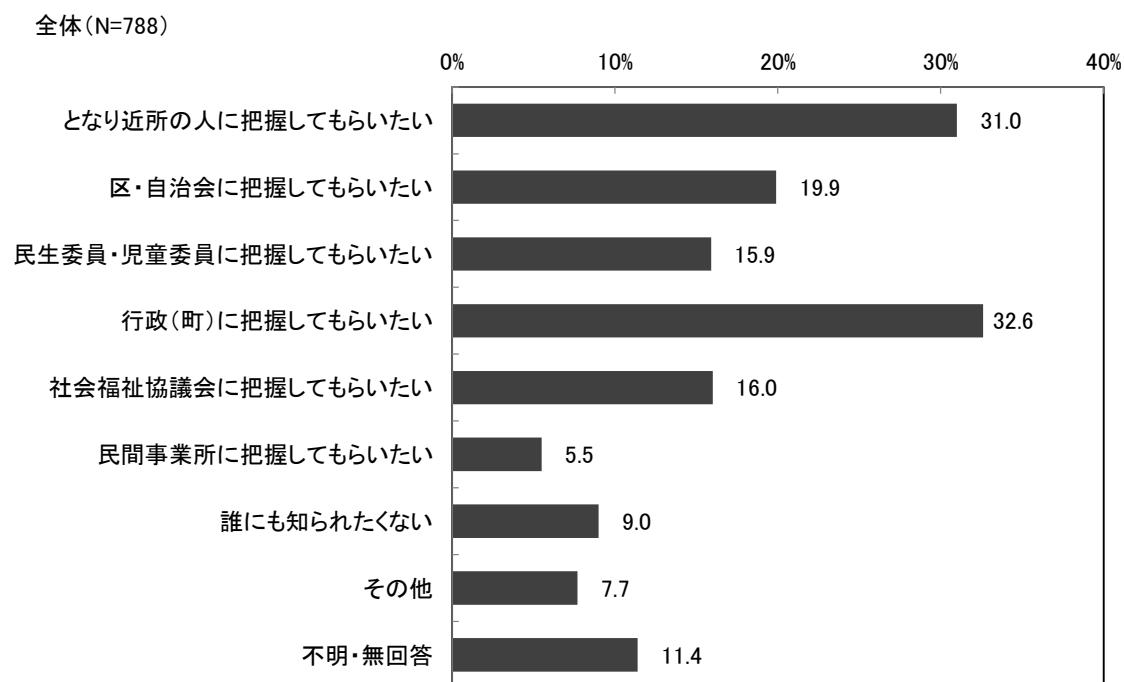
問 24-2 参加できない、または参加したくない理由は何ですか。（複数回答）

参加できない、または参加したくない理由については、「自分の生活のことで精いっぱいだから」が43.9%と最も高く、次いで「時間がないから」が32.5%、「興味や関心がないから」が17.7%となっています。



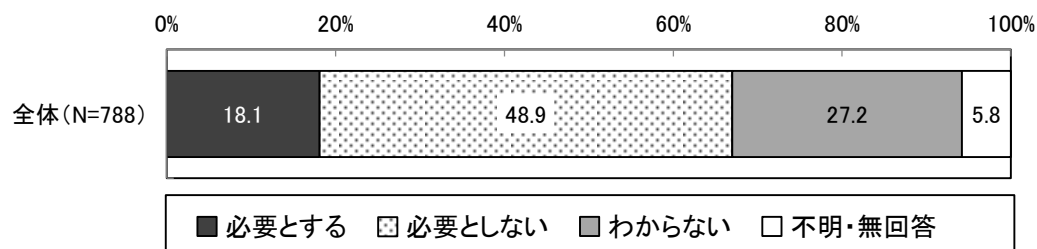
問 25 自分が支援を必要とするとき、自分の情報を把握しておいてもらいたいと考える相手は誰ですか。(複数回答)

自分が支援を必要とするとき、自分の情報を把握しておいてもらいたいと考える相手については、「行政（町）に把握してもらいたい」が32.6%と最も高く、次いで「となり近所の人に把握してもらいたい」が31.0%、「区・自治会に把握してもらいたい」が19.9%となっています。



問 26 あなたは、地震などの災害発生時に、避難場所までの移動や情報入手等について、誰かの助けを必要としますか。(単数回答)

避難場所までの移動や情報入手等について、誰かの助けを必要とするかについては、「必要としない」が48.9%と最も高く、次いで「わからない」が27.2%、「必要とする」が18.1%となっています。

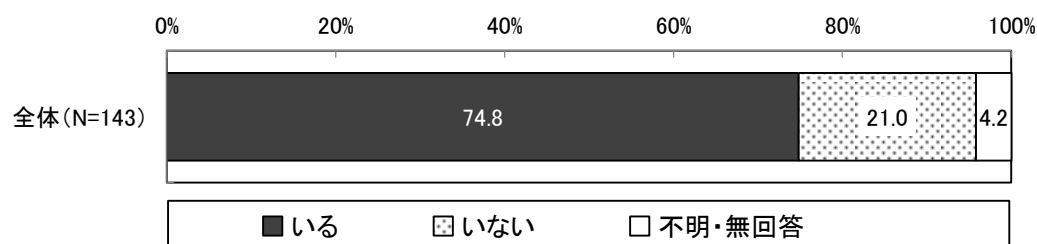


問 26 で「1 必要とする」を選んだ方

問 26-1 あなたには、災害発生時に助けてもらえる人がいますか。(単数回答)

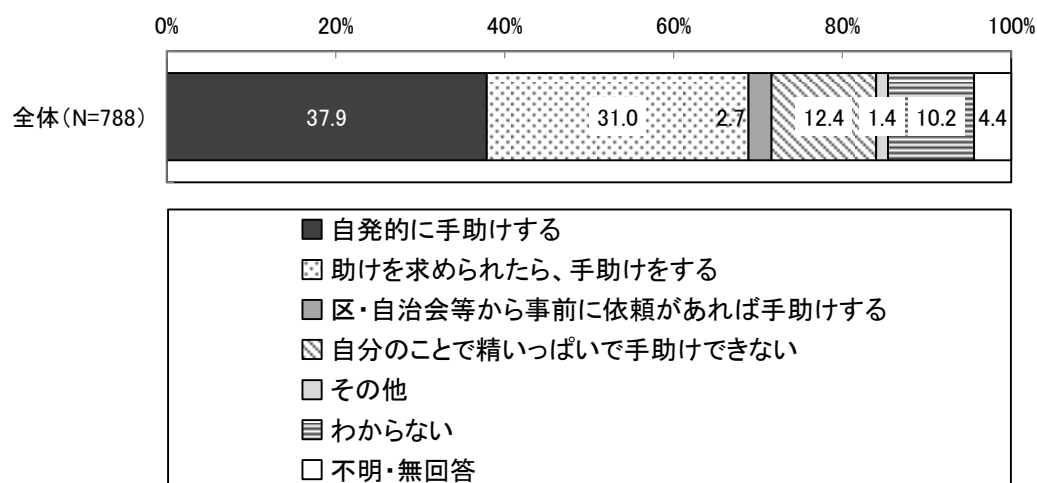
災害発生時に助けてもらえる人の有無については、「いる」が 74.8%、「いない」が 21.0%、となっています。

助けてくれる人との関係性については、家族、隣近所の人、子どもの同級生の親、などとなっています。



問 27 災害等の緊急事態が発生したときに、となり近所に自力で避難できない人や安否の不明な人がいたら、どう対応しますか。(単数回答)

となり近所の自力で避難できない人や安否の不明な人への対応については、「自発的に手助けする」が 37.9%と最も高く、次いで「助けを求められたら、手助けをする」が 31.0%、「自分のことで精いっぱいでは手助けできない」が 12.4%となっています。

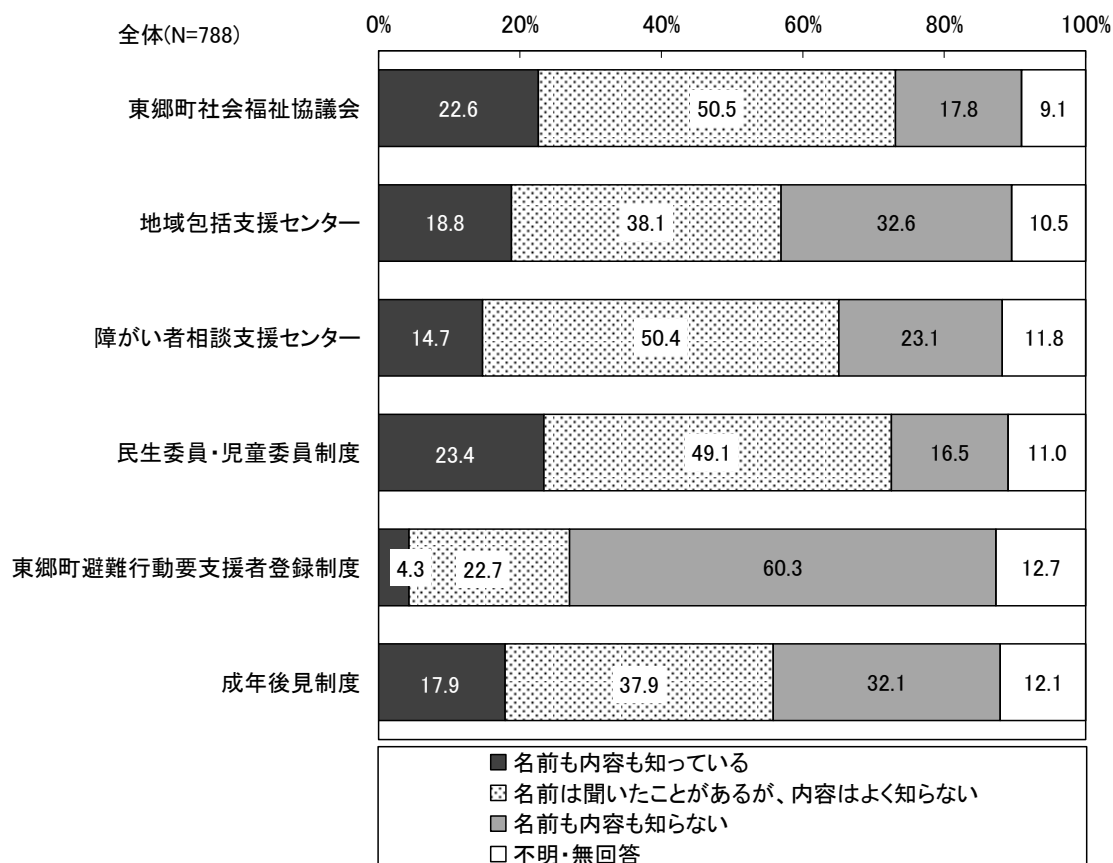


(5) 地域福祉全般について

問 28 あなたは、以下の組織・制度を知っていますか。(単数回答)

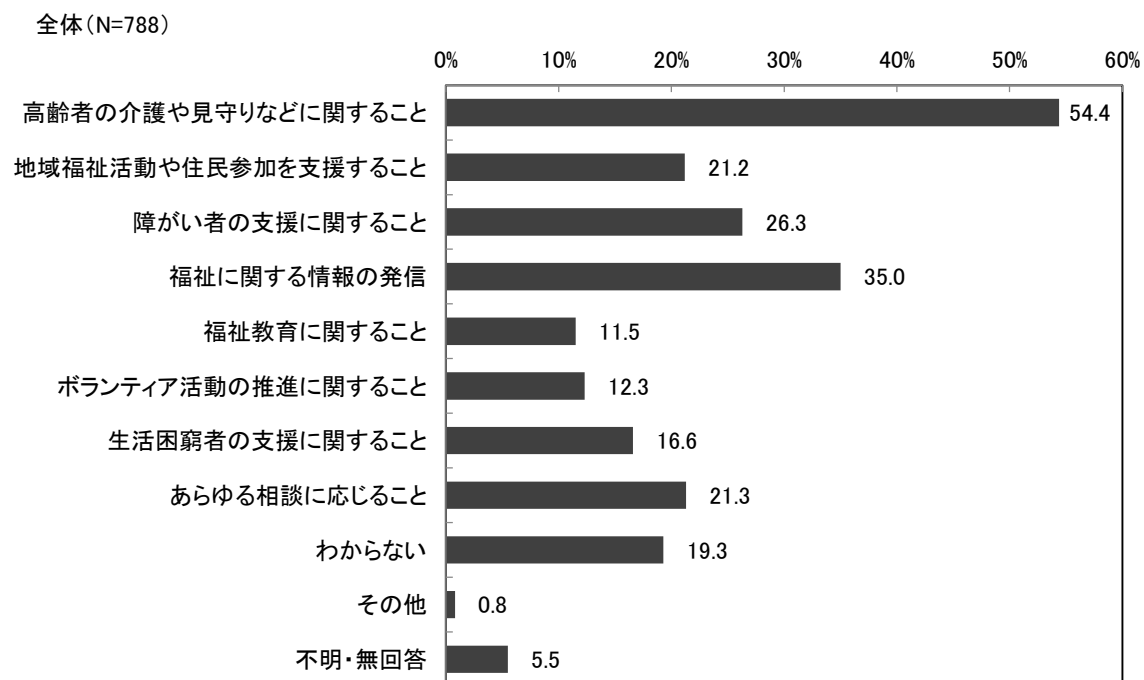
組織・制度の認知度については、東郷町社会福祉協議会、地域包括支援センター、障がい者相談支援センター、民生委員・児童委員制度で「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が最も高くなっています。

東郷町避難行動要支援者登録制度では「名前も内容も知らない」が最も高く、成年後見制度では「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が最も高くなっています。



問 29 あなたは、今後、社会福祉協議会にどのような分野での役割を期待しますか。
(複数回答)

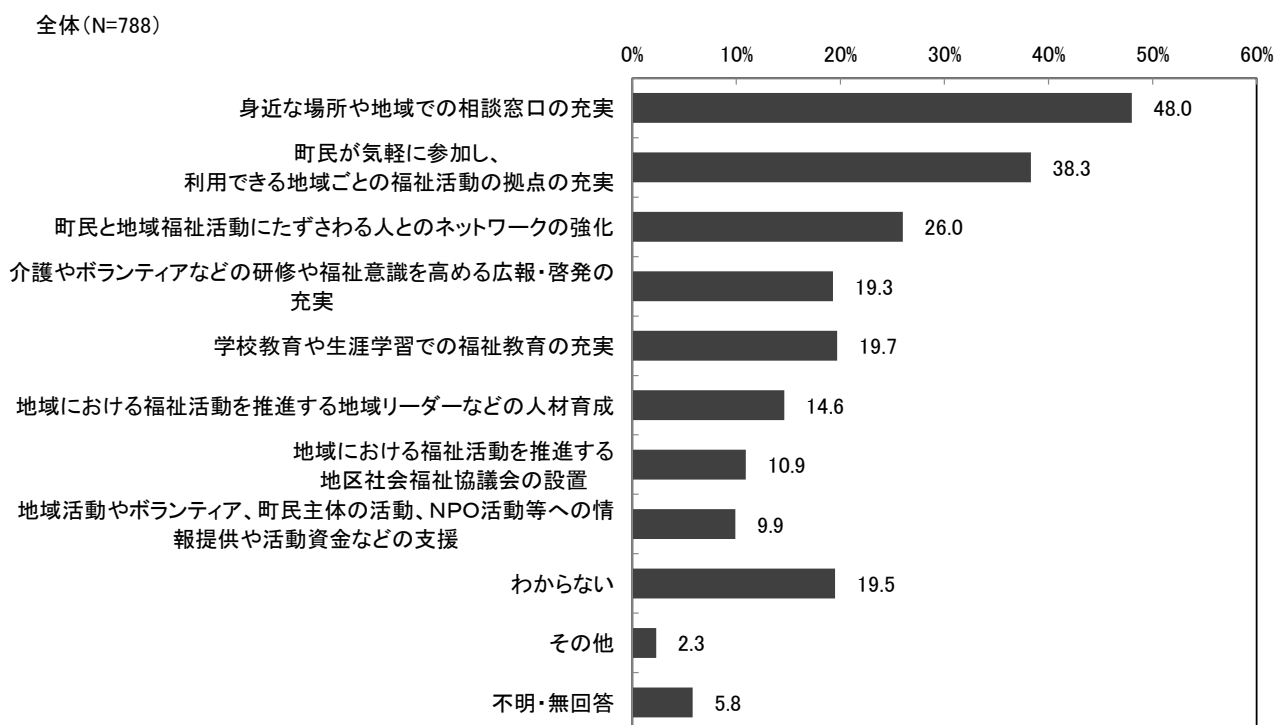
今後、社会福祉協議会に期待する役割については、「高齢者の介護や見守りなどに関すること」が 54.4%と最も高く、次いで「福祉に関する情報の発信」が 35.0%、「障がい者の支援に関すること」が 26.3%となっています。



問 30 地域福祉を推進するために、何が必要だと思いますか。(複数回答)

地域福祉を推進するために、必要だと思うことについては、「身近な場所や地域での相談窓口の充実」が48.0%と最も高く、次いで「町民が気軽に参加し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点の充実」が38.3%、「町民と地域福祉活動にたずさわる人とのネットワークの強化」が26.0%となっています。

年代別では、30代で「学校教育や生涯学習での福祉教育の充実」が2番目に高い回答となっているほか、20代、50代で「町民と地域福祉活動にたずさわる人とのネットワークの強化」が2番目に高い回答となっています。



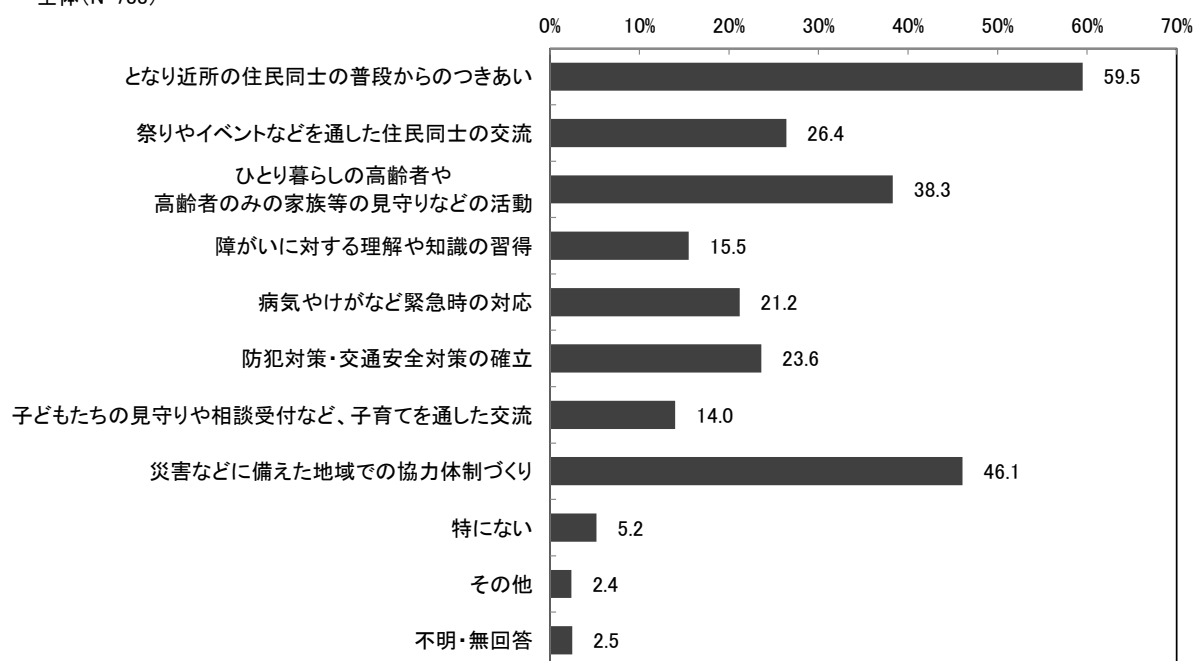
		身近な場所や地域での相談窓口の充実	市民が気軽に参加し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点の充実	市民と地域福祉活動にたずさわる人とのネットワークの強化	介護やボランティアなどの研修や福祉意識を高める広報・啓発の充実	学校教育や生涯学習での福祉教育の充実	地域における福祉活動を推進する地域リーダーなどの人材育成	地域における福祉活動を推進する地区社会福祉協議会の設置	地域活動やボランティア、町民主体の活動、NPO活動等への情報提供や活動資金などの支援	わからない	その他	不明・無回答
性別	男性(N=355)	46.0	37.9	29.0	17.3	18.2	17.9	12.5	10.4	20.3	3.3	4.2
	女性(N=413)	50.1	38.7	24.0	21.1	20.8	12.3	9.7	9.9	18.6	1.7	6.1
年代別	10代(N=12)	16.7	33.3	-	16.7	25.0	-	-	-	41.7	8.3	-
	20代(N=45)	37.8	24.4	31.1	6.7	15.6	6.7	4.4	8.9	28.9	4.4	2.2
	30代(N=56)	46.4	37.5	30.4	23.2	39.3	12.5	12.5	19.6	19.6	7.1	-
	40代(N=94)	48.9	33.0	22.3	18.1	27.7	12.8	6.4	7.4	18.1	2.1	4.3
	50代(N=130)	48.5	33.1	33.1	20.0	26.2	15.4	11.5	10.0	16.9	0.8	5.4
	60代(N=137)	46.0	43.8	24.1	21.2	19.0	14.6	13.1	12.4	21.2	1.5	4.4
	70代(N=158)	53.2	41.8	25.9	20.3	11.4	17.1	9.5	8.2	19.6	2.5	2.5
	80代(N=112)	50.0	42.9	22.3	19.6	13.4	18.8	15.2	9.8	16.1	1.8	14.3
	90代以上(N=12)	41.7	41.7	25.0	8.3	-	8.3	16.7	-	8.3	-	16.7
小学校別	東郷小学校区(N=141)	41.8	37.6	27.7	19.1	21.3	18.4	13.5	10.6	20.6	0.7	7.1
	春木台小学校区(N=126)	43.7	38.9	21.4	17.5	15.1	11.9	9.5	9.5	24.6	4.0	3.2
	諸輪小学校区(N=113)	46.9	41.6	24.8	20.4	16.8	15.0	8.8	8.8	19.5	0.9	7.1
	音貝小学校区(N=114)	53.5	40.4	30.7	18.4	21.9	14.0	12.3	7.0	15.8	2.6	5.3
	高嶺小学校区(N=158)	55.1	38.6	28.5	16.5	23.4	15.8	10.1	7.6	14.6	3.8	5.1
	兵庫小学校区(N=71)	53.5	35.2	22.5	29.6	23.9	12.7	8.5	18.3	16.9	1.4	4.2

問 31 地域に住む人同士が、生活上の問題を共有し、解決に向けて考え、行動できるような「支え合う地域づくり」のために、地域としてどのようなことに取り組む必要があると思いますか。(複数回答)

「支え合う地域づくり」のために、地域として取り組む必要があることについては、「となり近所の住民同士の普段からのつきあい」が59.5%と最も高く、次いで「災害などに備えた地域での協力体制づくり」が46.1%、「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家族等の見守りなどの活動」が38.3%となっています。

年代別にみると、20代では「祭りやイベントなどを通じた住民同士の交流」「災害などに備えた地域での協力体制づくり」、30代では「災害などに備えた地域での協力体制づくり」、90代以上では「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家族等の見守りなどの活動」それぞれが最も高くなっています。

全体(N=788)



		の つ き あ い	と な り 近 所 の 住 民 同 士 の 普 段 か ら	祭 り や イ ベ ン ト な ど を 通 し た 住 民 同 士 の 交 流	み の 家 族 等 の 見 守 り な ど の 活 動	ひ と り 暮 ら し の 高 齢 者 や 高 齢 者 の	障 が い に 対 す る 理 解 や 知 識 の 習 得	病 気 や け が な ど 緊 急 時 の 対 応	防 犯 対 策 ・ 交 通 安 全 対 策 の 確 立	子 ど も た ち の 見 守 り や 相 談 受 付 な ど、 子 育 て を 通 し た 交 流	災 害 な ど に 備 え た 地 域 で の 協 力 体 制 づ く り	特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
性別	男性(N=355)	57.0	30.7	36.1	13.7	21.8	26.6	11.0	45.1	6.9	2.4	1.2		
	女性(N=413)	62.0	23.7	40.0	17.4	20.6	21.5	16.7	46.7	3.6	2.7	2.9		
年代別	10代(N=12)	41.7	33.3	8.3	25.0	33.3	16.7	16.7	25.0	16.7	8.3	-		
	20代(N=45)	37.8	46.7	24.4	8.9	20.0	35.6	26.7	46.7	6.7	4.4	-		
	30代(N=56)	46.4	32.1	26.8	12.5	21.4	28.6	32.1	51.8	5.4	5.4	-		
	40代(N=94)	59.6	29.8	36.2	20.2	17.0	34.0	27.7	47.9	3.2	1.1	1.1		
	50代(N=130)	56.9	20.8	39.2	20.8	16.2	25.4	13.1	50.8	4.6	4.6	-		
	60代(N=137)	63.5	24.1	41.6	19.7	21.2	23.4	12.4	49.6	6.6	1.5	-		
	70代(N=158)	64.6	32.9	40.5	11.4	20.3	20.9	5.7	41.8	4.4	0.6	3.2		
	80代(N=112)	71.4	15.2	44.6	12.5	30.4	10.7	4.5	42.0	4.5	1.8	8.0		
	90代以上(N=12)	33.3	16.7	41.7	16.7	16.7	33.3	-	33.3	-	8.3	16.7		
小学校別	東郷小学校区(N=141)	56.7	27.0	36.2	15.6	21.3	22.7	14.2	51.8	7.8	-	2.1		
	春木台小学校区(N=126)	56.3	27.8	37.3	21.4	19.0	21.4	7.9	40.5	5.6	4.0	2.4		
	諸輪小学校区(N=113)	63.7	31.0	42.5	12.4	20.4	21.2	15.9	46.9	2.7	1.8	2.7		
	音貝小学校区(N=114)	58.8	21.9	38.6	12.3	26.3	33.3	14.9	49.1	1.8	3.5	1.8		
	高嶺小学校区(N=158)	63.3	24.7	41.8	17.1	22.2	20.3	16.5	45.6	5.1	2.5	2.5		
	兵庫小学校区(N=71)	64.8	33.8	29.6	22.5	14.1	28.2	16.9	46.5	1.4	4.2	-		

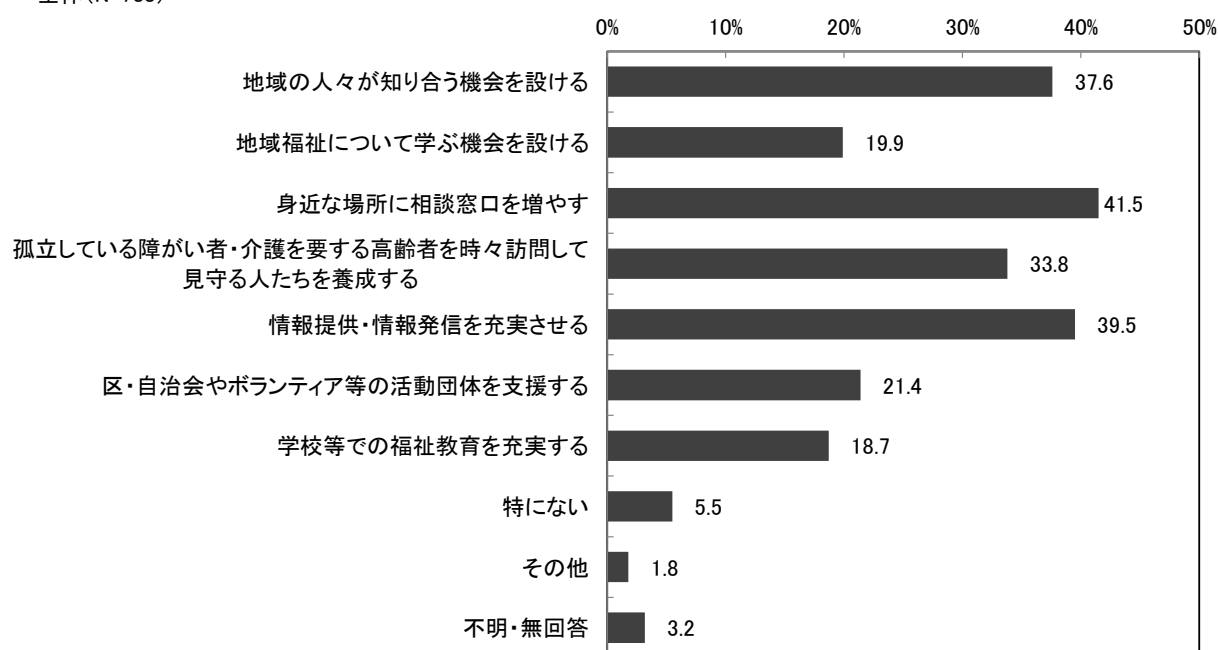
問 32 「支え合う地域づくり」を進めるために、行政(町)はどのような支援を行う必要がある
 と思いますか。(複数回答)

「支え合う地域づくり」を進めるために、行政(町)が行う必要があると思う支援については、
 「身近な場所に相談窓口を増やす」が41.5%と最も高く、次いで「情報提供・情報発信を充実さ
 せる」が39.5%、「地域の人々が知り合う機会を設ける」が37.6%となっています。

性別では、男性は「地域の人々が知り合う機会を設ける」が最も高くなっています。

年代別では、10代・20代・80代・90代以上で「地域の人々が知り合う機会を設ける」が最も
 高い回答となっています。

全体(N=788)



		地域の人々が知り合う機会を設ける	地域福祉について学ぶ機会を設ける	身近な場所に相談窓口を増やす	孤立している障がい者・介護を要する高齢者を時々訪問して見守る人たちの養成する高齢	情報提供・情報発信を充実させる	区・自治会やボランティア等の活動団体を支援する	学校等での福祉教育を充実する	特にな	その他	不明・無回答
性別	男性(N=355)	40.9	21.8	38.5	31.9	37.9	23.3	18.8	7.2	2.4	1.5
	女性(N=413)	35.1	18.6	43.1	35.6	41.6	20.1	18.6	4.1	1.0	4.1
年代別	10代(N=12)	33.3	33.3	25.0	8.3	33.3	-	25.0	8.3	8.3	-
	20代(N=45)	44.4	11.1	26.7	22.2	37.8	26.7	22.2	11.1	2.2	4.4
	30代(N=56)	30.4	17.9	41.1	32.1	48.2	12.5	32.1	7.1	1.8	-
	40代(N=94)	33.0	11.7	47.9	38.3	45.7	23.4	27.7	3.2	-	2.1
	50代(N=130)	32.3	16.2	43.8	37.7	45.4	27.7	22.3	2.3	2.3	0.8
	60代(N=137)	36.5	24.8	38.0	37.2	43.8	21.9	19.7	5.1	1.5	-
	70代(N=158)	40.5	23.4	43.7	33.5	38.0	20.3	11.4	6.3	1.3	2.5
	80代(N=112)	43.8	22.3	38.4	32.1	25.0	17.0	10.7	7.1	1.8	10.7
	90代以上(N=12)	50.0	33.3	41.7	25.0	25.0	16.7	8.3	-	-	16.7
小学校別	東郷小学校区(N=141)	36.2	17.7	39.0	36.2	44.7	21.3	19.1	5.7	-	2.8
	春木台小学校区(N=126)	34.1	27.0	34.9	29.4	32.5	24.6	21.4	8.7	2.4	2.4
	諸輪小学校区(N=113)	37.2	17.7	39.8	38.1	42.5	20.4	18.6	1.8	0.9	2.7
	音貝小学校区(N=114)	33.3	14.9	42.1	33.3	45.6	17.5	21.9	4.4	-	3.5
	高嶺小学校区(N=158)	43.0	23.4	44.9	34.8	35.4	22.2	17.1	6.3	3.2	2.5
	兵庫小学校区(N=71)	43.7	15.5	53.5	36.6	39.4	19.7	21.1	-	2.8	1.4

問 33 みんなで助け合い・支え合える地域をつくるために、必要だと思う取組や、見聞きしたことがある取組、今後あなたが取り組んでみたいことなどがあれば教えてください。
(記述回答)

■回答の分類

「地域の助け合い・地域活動」…挨拶と声掛け、世代間交流など

「地域での安全・安心・見守り」…独居高齢者の見守り、災害時の助け合いの体制づくりなど

「情報提供・相談」…福祉に関する情報発信の必要性、身近な場所での相談窓口の設置など

「福祉教育」…学校での助け合いについての教育、介護する側・される側の相互理解など

「まちづくり」…公園の活用や移動手段の充実など

・地域の助け合い・地域活動

1	みんなが支えあって、老後を楽しく過ごせる地域づくり。
2	隣近所であっても、それぞれ家庭の事情があり、ゴミ出しやポイ捨て等のマナー違反や生活音に関する小さなトラブルも多い。そんな中で「助け合う」といってもなかなか難しい。支援する側も個人の事情に立ち入りすぎない配慮や、守秘義務を徹底する必要がある。
3	私は介護の仕事に携わっていますが、高齢者の一人暮らし（認知症のある方）を身近に見ています。買い物に行きたくても行けない、話し相手がいず何をしてよいかわからない、生活の中で危険なこと（火を使う、転倒リスクがある）など、家族（遠くに離れている）ではどうすることもできない方が何人もみえます。現状私は仕事がある為ボランティアなどできませんが、そういう方達に少しでも協力できるサポートの力に期待したいです。介護サービスだけでは、生活に支障が出ています。
4	まず、となりの家族などのつき合いを深める。新しい転居者の交流の強化の方法を考える。
5	まずは挨拶と声かけ。
6	地域的に深く干渉しない体質があるので、助けを求められたら手助けすると思う。
7	子供食堂や、高齢の方が気軽に食事ができる場所があれば良いと思う！
8	地域の住民が、世代を越えて団結できる機会、町民運動会等を行ってほしいと思います。
9	自分たちの町内でのつきあいが全然ないので、もっと町内でのイベントを増やして交流ができると友達も増えていいと思う。（公園掃除、もちつき大会、ラジオ体操、ハロウィン、クリスマス会など。）
10	地域で行う行事に参加したいと思っています。
11	自分のできる少しの手助けをしてみたいと思います。
12	一番小さな組の中で「組会」の場を2ヶ月に1回くらい開いては。私の住む地区では入居者が多く良く分からない人たちが増えている。また近くに独居の一人暮らしの方もおり、交流の場をもつことで、皆で安否確認などを協力して行えるのでは。
13	支えのある地域にしたい。ゴミの問題も…リサイクル活動も必要。人に優しく、地球に優しくしたい。
14	私は車の運転が出来ません。もし、何かに参加するのだったら自転車になります。自転車で5分圏内でしたら手助けしたり、協力しようと思えば出来ると思う。
15	小さい子から高齢者まで全ての人が楽しめる行事があれば、地域は活性化して楽しい街になると思います。

16	地区の作品展、シニアハウス、盆踊り大会など色々な人と交流ができ、雰囲気的に助け合い、支え合いの入口となる気がします。今後も人と人の繋がりの方に積極的に参加していきたいと思います。
17	一部の人のみが活動努力をしていると思う。多くの人を巻き込む仕組み作りが必要。（興味がない人にいかに向いてもらうか）
18	ボランティアをするのに登録が必要である為、登録をしなくても気軽に参加出来るようにすれば良いと考えます。発信が少なく耳に入ってくる事がない。もっと興味をもてるような情報発信を求む。
19	自治会活動地域の行事などに参加することが大切。お互いに知り合うこと。
20	まずは同世代同士の交流が必要だと思います。
21	福祉について考える機会がありませんでしたが近所の人と関わる事からでも福祉の一步になるんだと感じました。
22	ボランティア活動や若い方が高齢者の方たちの力なれることをする機会などあるといいなと思います。子どもたちとの交流や高齢者の方たちも沢山の方との交流するようなのがあれば参加したいです。
23	昨年の台風の際、近所の方がサポートして下さり、大変助かった経験があります。この経験をふまえ、本当に地域の助け合いは大切だと感じました。ですから、これからも、近所、自治会のつながり、子供会活動、PTA 活動、子供を中心とした、近所や地域との関わり積極的に行いたいと思います。

・地域での安全・安心・見守り

24	障害者（聴覚、盲、ろう哑者）の生活支援、災害時の障害者の支援。
25	地域によって高齢化が進み、お年寄りの一人暮らしが増加していると思われるので、声かけや見守りを充実させてほしいです。
26	独居高齢者は孤独なので、気持ちがふさぐ時など気軽に訪問できる場所。夜をのぞき、いつでも訪問（話し合い等できる場所）。
27	健康で元気な高齢者（中・高年）がたくさんいられると思うので、その方たちが地域へ飛び出して、高齢者の手助けや見守りに参加していただけるといいのでは？
28	災害時の支援、助け合いの体制を具体的に分かるようにしてほしい。
29	緊急時の子供の預かり支援。

・情報提供・相談

30	地域の行事活動の情報発信を強化するといいいのかなと思います。
31	身近な場所（公民館、コミュニティーセンター）等に相談窓口が増やすことができると、車を利用できない人でも利用でき、情報が得られるようになるのでは。
32	福祉において、となり近所や住民同士はプライバシー問題やトラブルが発生する可能性があるため、深刻に困っている、悩んでいる人には難しい問題が多いと思います。まずは、情報提供、情報発信の充実と信頼できる窓口と体制づくりだと考えます。
33	福祉に関する事に興味を持たせるように町全体で取組む事が1人1人の福祉に対する認識及び理解を深める事になると思う。まずは情報共有する事で周知し、そこから広げていく事が必要だと思うので情報発信及び提供を充実させる必要が不可欠だと思います。

・福祉教育

34	介護する側される側の相互理解について、「私は、介護は関係ない」と、見て見ぬふりをしたり、理解されないことが多々あるので、相互理解の場を広げていくこと。
35	各個人の福祉に対する意識が皆無に等しい、意識改革を進める必要がある。
36	幼い時から自然と福祉について考える環境があれば大人になっても身がまえず、手を差し出せる心が育っていくと思うので園や学校活動の一部として関わる機会が増えると良いと思います。

・まちづくり

37	病院買い物等の移動手段の充実が必要。運転ができなくなったら生活に困る。
38	愛着の持てる地域づくり。
39	公園を活用して人々がいきかうことができるようにする。
40	私も年寄りですが、年寄りを大切にというよりも、若い人を大切に！年寄りも生活力のある人には頑張ってもらおう世の中に…。生活道路は車より歩く人、車イスにやさしい社会に！
41	外国人移住者受け入れの準備。

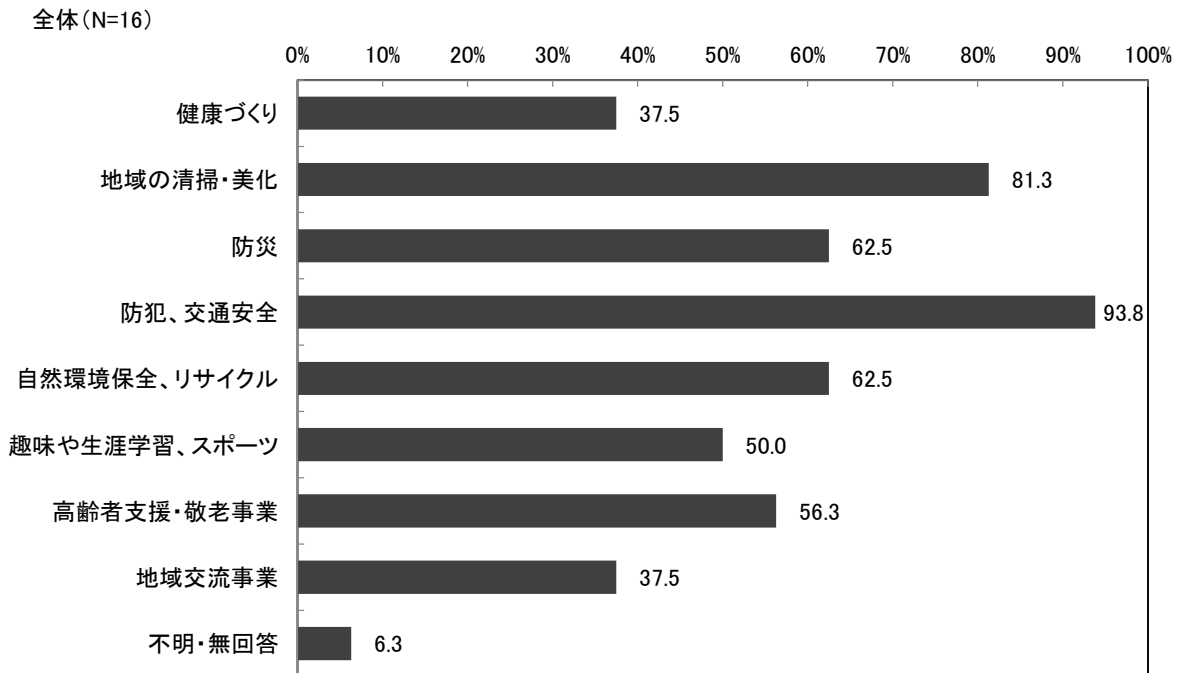
※ 自由意見については、主な意見のみ掲載しています。

3 アンケート調査結果【区長・自治会長】

(1) 活動の状況について

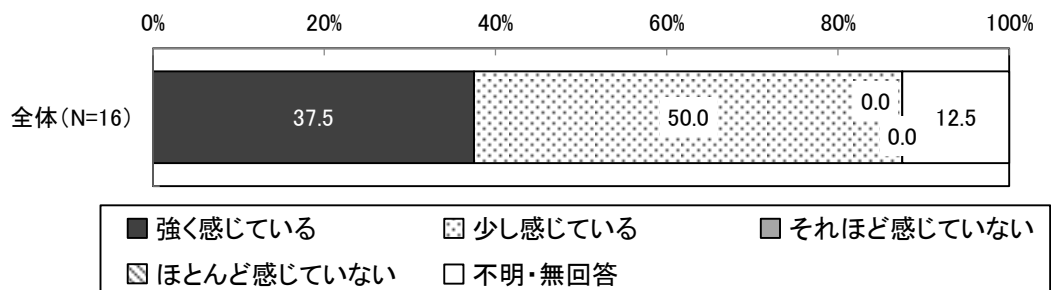
問1 現在の活動の内容は次のうちどれですか。(複数回答)

現在の活動の内容については、「防犯、交通安全」が93.8%と最も高く、次いで「地域の清掃・美化」が81.3%、「防災」「自然環境保全、リサイクル」が62.5%となっています。



問2 現在の活動にやりがいを感じられていますか。(単数回答)

現在の活動にやりがいを感じられているかについては、「少し感じている」が50.0%と最も高く、次いで「強く感じている」が37.5%となっています。



問3 地域活動の中で、他の組織・団体との連携はありますか。(単数回答)

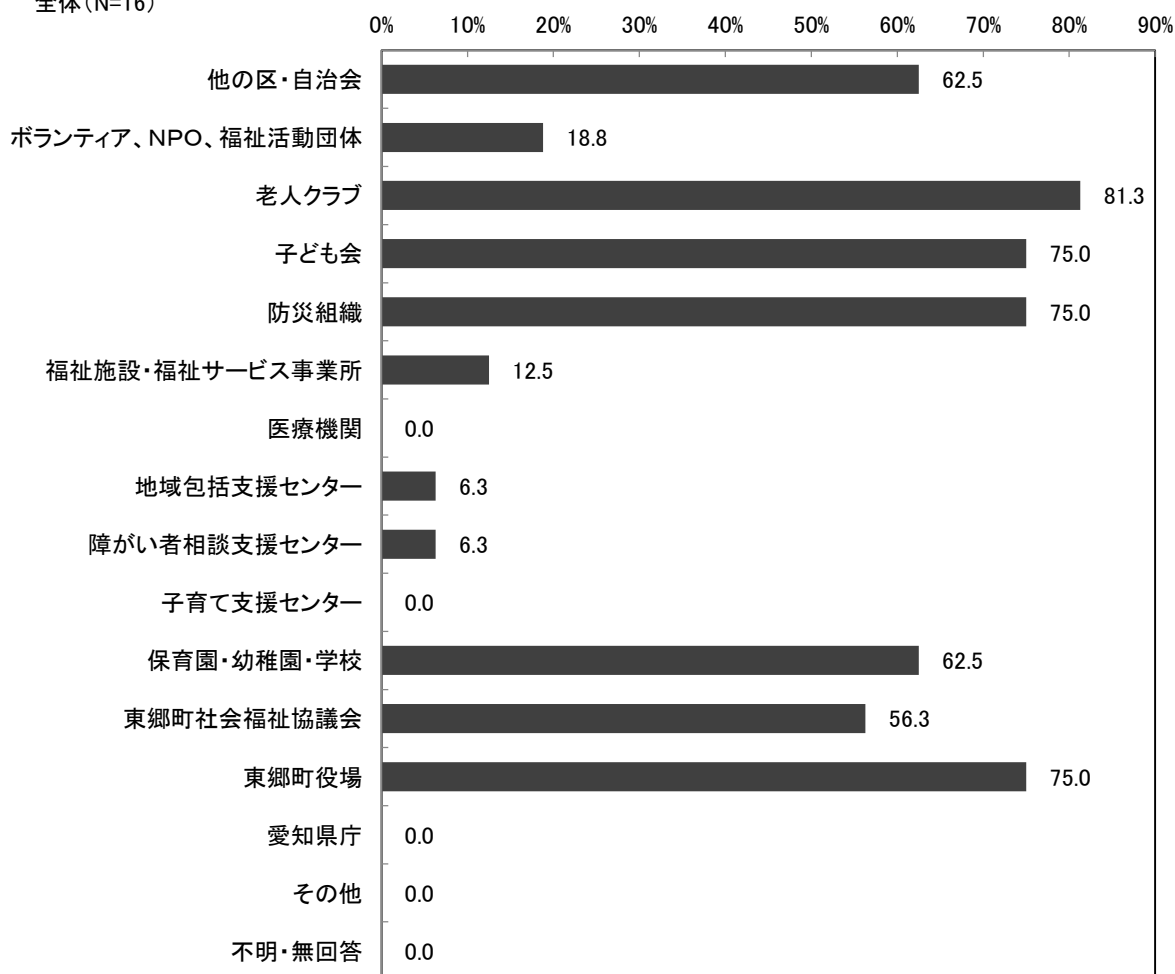
地域活動の中で、他の組織・団体との連携の有無については、「連携がある」のみの回答となっています。

問3で「1 連携がある」を選んだ方

問3-1 連携がある組織・団体は次のうちどれですか。(複数回答)

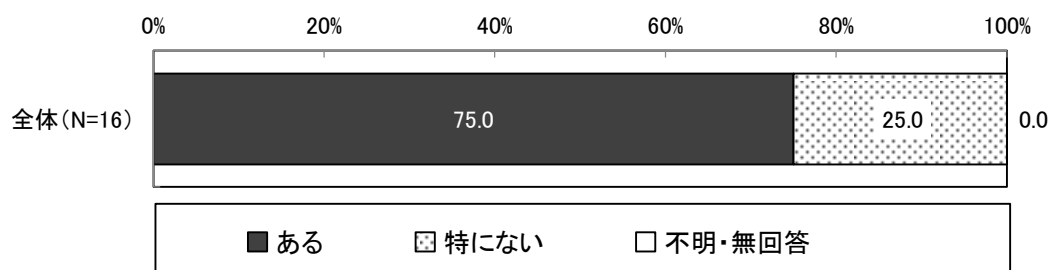
連携がある組織・団体については、「老人クラブ」が 81.3%と最も高く、次いで「子ども会」「防災組織」「東郷町役場」が 75.0%、「他の区・自治会」「保育園・幼稚園・学校」が 62.5%となっています。

全体(N=16)



問4 今後、地域活動の中で連携をとりたい組織・団体がありますか。(単数回答)

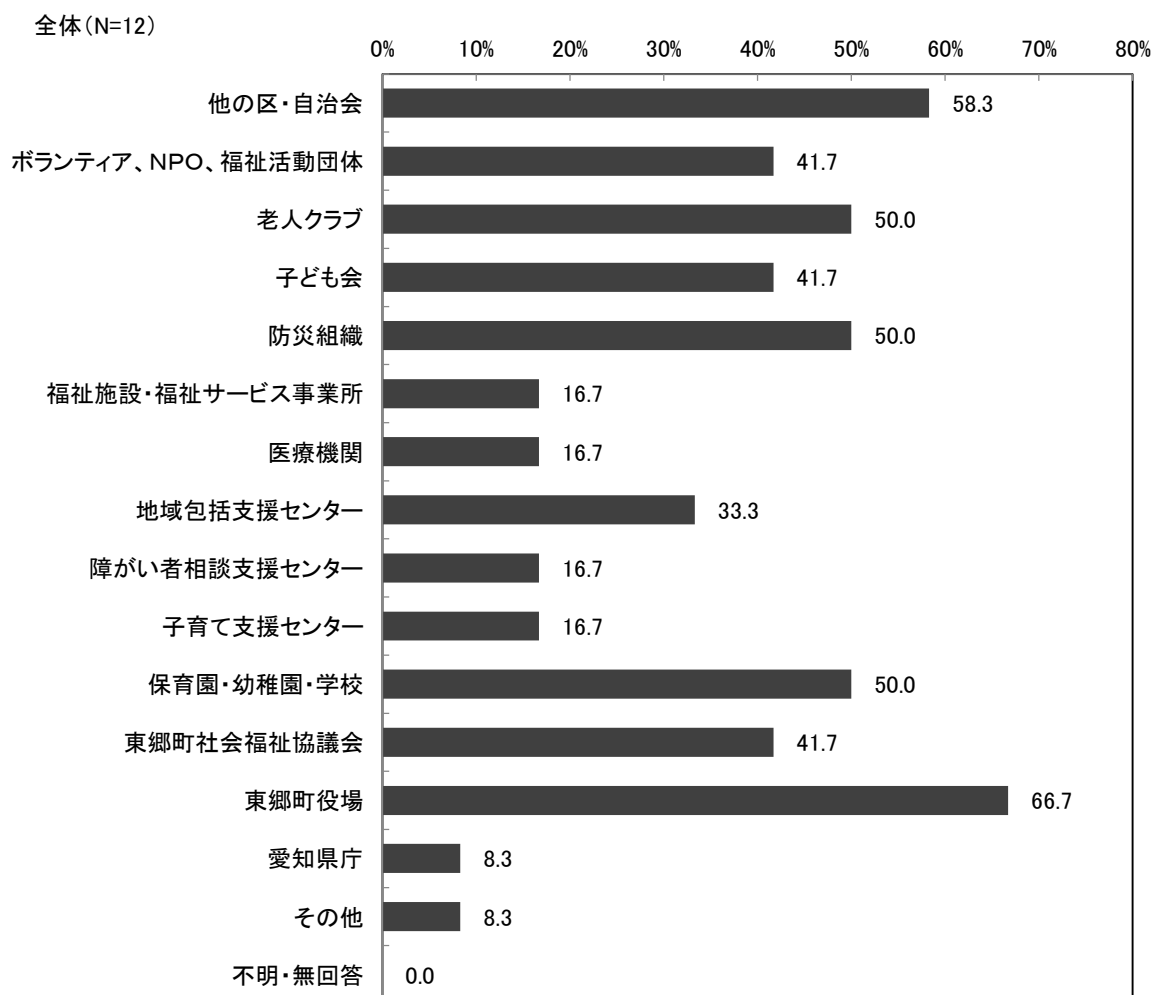
今後、地域活動の中で連携をとりたい組織・団体の有無については、「ある」が 75.0%、「特にない」が 25.0%となっています。



問4で「1 ある」を選んだ方

問4-1 これから連携していきたい組織・団体は次のうちどれですか。(複数回答)

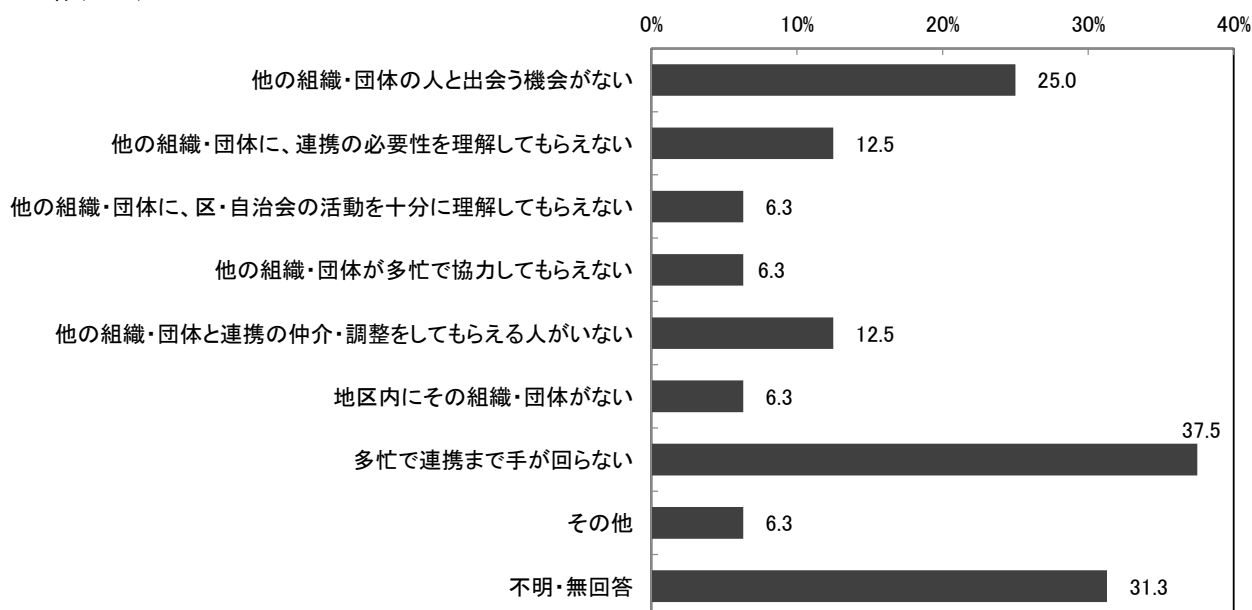
これから連携していきたい組織・団体については、「東郷町役場」が66.7%と最も高く、次いで「他の区・自治会」が58.3%、「老人クラブ」「防災組織」「保育園・幼稚園・学校」が50.0%となっています。



問5 他の組織・団体と連携しようとする上で困っていることはありますか。(複数回答)

他の組織・団体と連携しようとする上で困っていることについては、「多忙で連携まで手が回らない」が37.5%と最も高く、次いで「他の組織・団体の人と出会う機会がない」が25.0%、「他の組織・団体に、連携の必要性を理解してもらえない」「他の組織・団体と連携の仲介・調整をしてもらえる人がいない」が12.5%となっています。

全体(N=16)

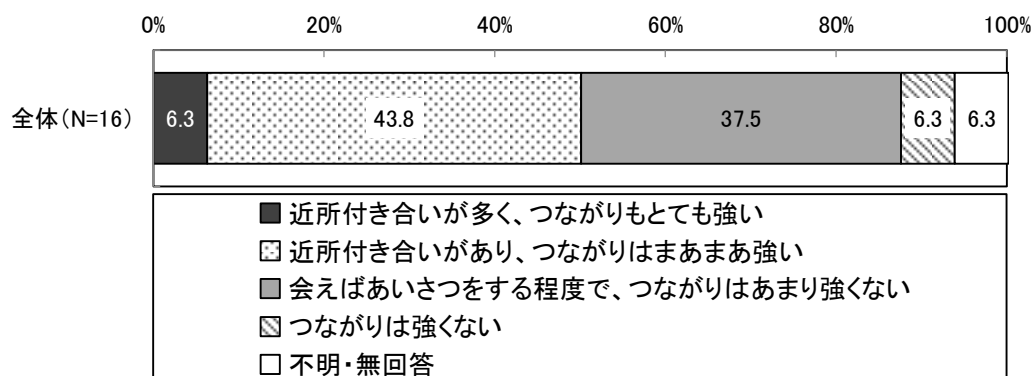


(2) 地域について

問6 あなたがお住まいの地域では、地域のつながりが強いですか。(単数回答)

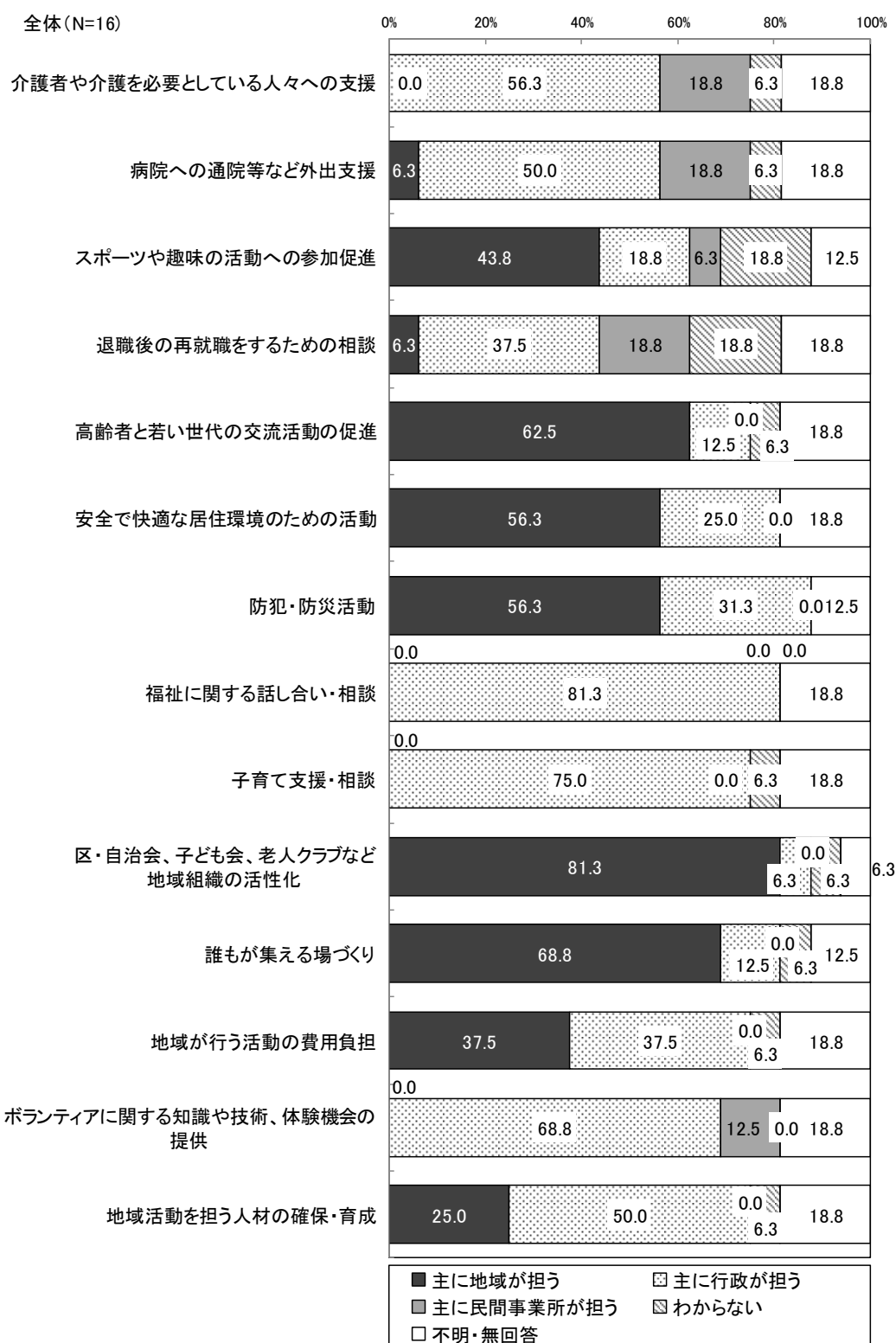
居住する地域のつながりの強さについては、「近所付き合いがあり、つながりはまあまあ強い」が43.8%と最も高く、次いで「会えばあいさつをする程度で、つながりはあまり強くない」が37.5%、「つながりは強くない」が6.3%となっています。

また、つながりが強いと回答した理由は、組の連帯が強い、月に1度の食事会などといった回答が、つながりが弱いと回答した理由は、新興住宅が多い、保守的な地域のため、などといった回答がありました。



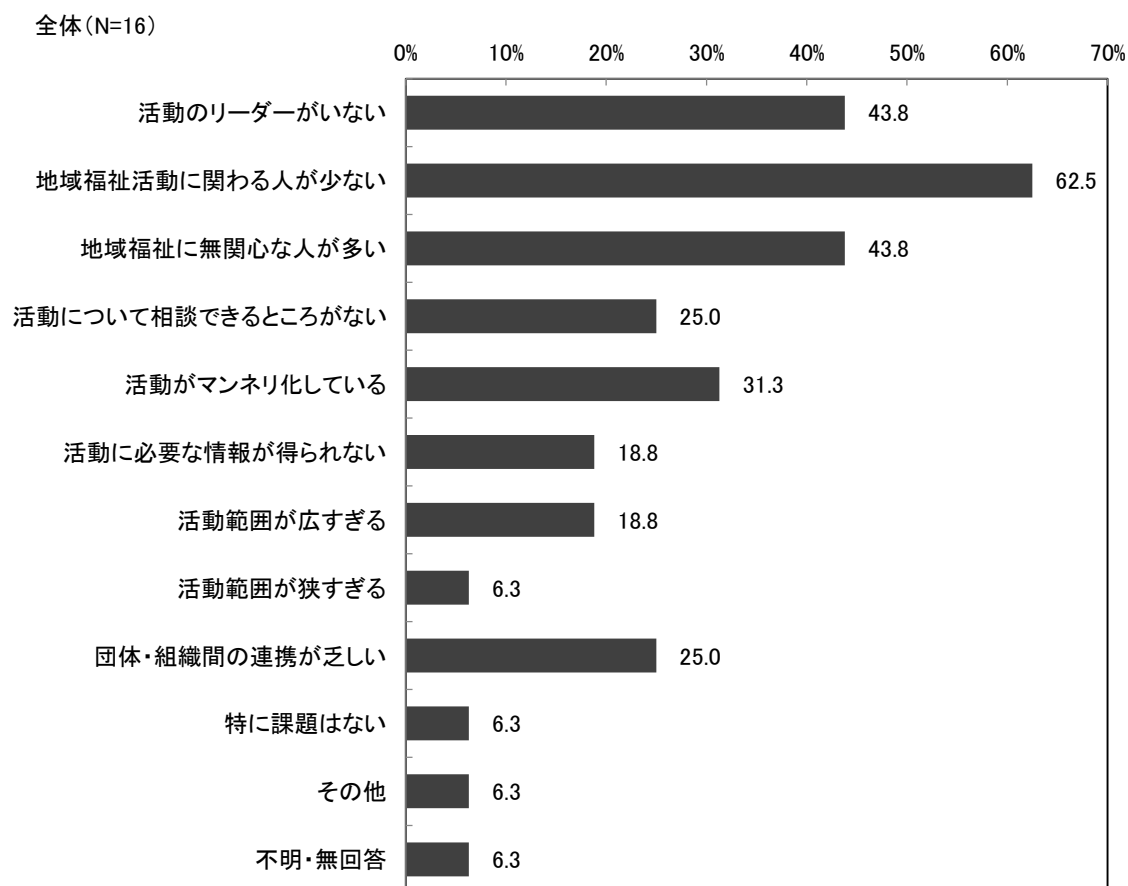
問7 地域での人とのつきあいや関わり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(単数回答)

地域での人とのつきあいや関わり方についての考えについては、「主に地域が担う」では、高齢者と若い世代の交流活動の促進、安全で快適な居住環境のための活動、防犯・防災活動、区・自治会、子ども会、老人クラブなど地域組織の活性化、誰もが集える場づくりで5割を超えています。



問8 あなたがお住まいの地域では、地域住民による地域の支え合い活動を進めるにあたっての課題はありますか。(複数回答)

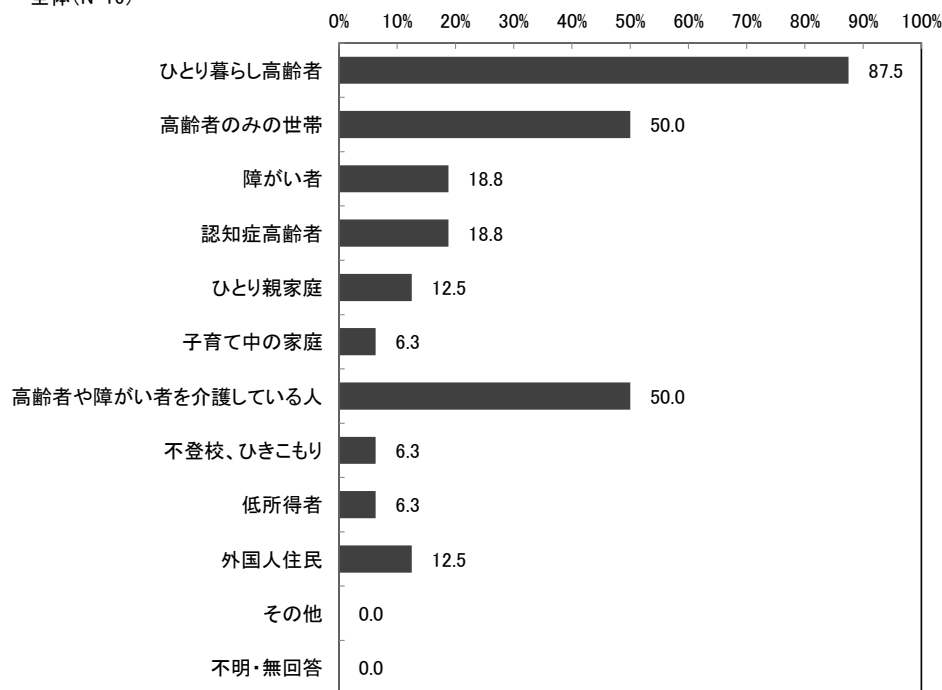
地域住民による地域の支え合い活動を進めるにあたっての課題については、「地域福祉活動に関わる人が少ない」が62.5%と最も高く、次いで「活動のリーダーがいない」「地域福祉に無関心な人が多い」が43.8%、「活動がマンネリ化している」が31.3%となっています。



問9 あなたがお住まいの地域において、これから特に支援が必要だと思う対象は誰ですか。(複数回答)

居住する地域において、これから特に支援が必要だと思う対象については、「ひとり暮らし高齢者」が87.5%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」「高齢者や障がい者を介護している人」が50.0%、「障がい者」「認知症高齢者」が18.8%となっています。

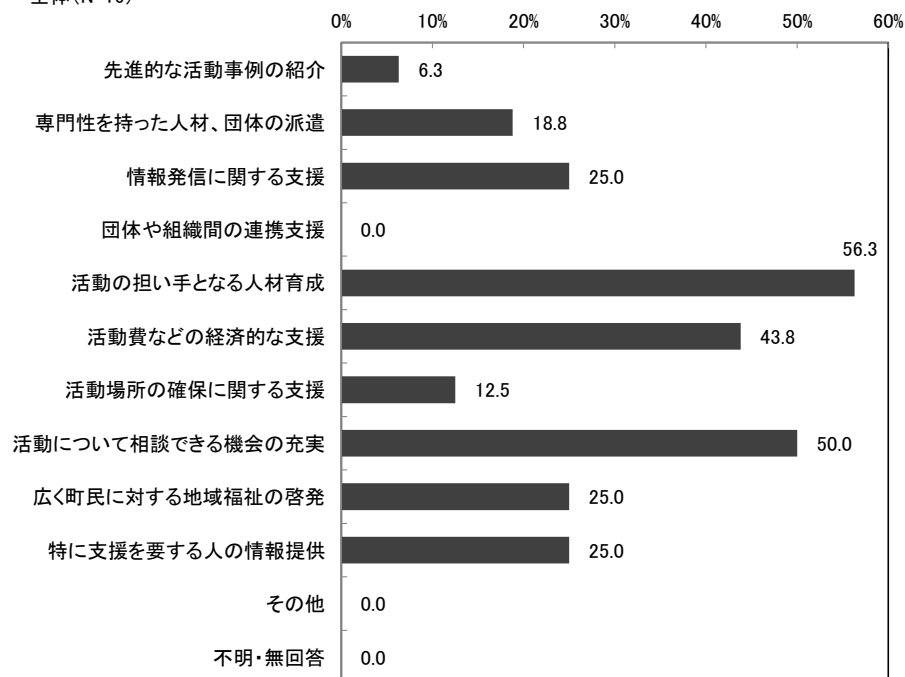
全体(N=16)



問10 問9で回答した対象者の支援に向けた地域の支え合いを推進するために必要なことは何ですか。(複数回答)

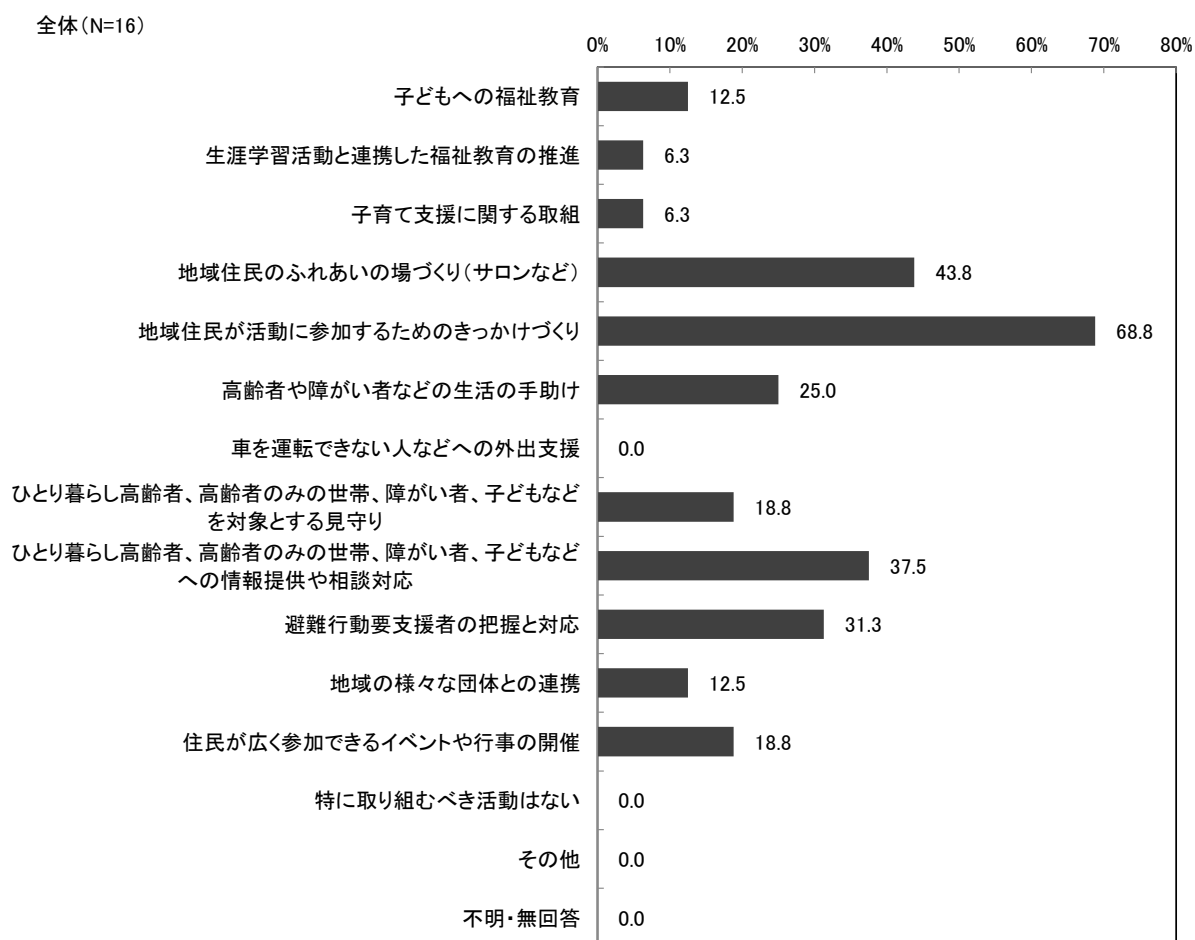
問9で回答した対象者の支援に向けた地域の支え合いを推進するために必要なことについては、「活動の担い手となる人材育成」が56.3%と最も高く、次いで「活動について相談できる機会の充実」が50.0%、「活動費などの経済的な支援」が43.8%となっています。

全体(N=16)



問 11 今後、あなたがお住まいの地域で、支え合い・助け合い活動を推進するために何が
必要だと思いますか。(複数回答)

今後、自分がお住まいの地域で、支え合い・助け合い活動を推進するために必要だと思うこと
については、「地域住民が活動に参加するためのきっかけづくり」が 68.8%と最も高く、次いで
「地域住民のふれあいの場づくり(サロンなど)」が 43.8%、「ひとり暮らし高齢者、高齢者のみ
の世帯、障がい者、子どもなどへの情報提供や相談対応」が 37.5%となっています。

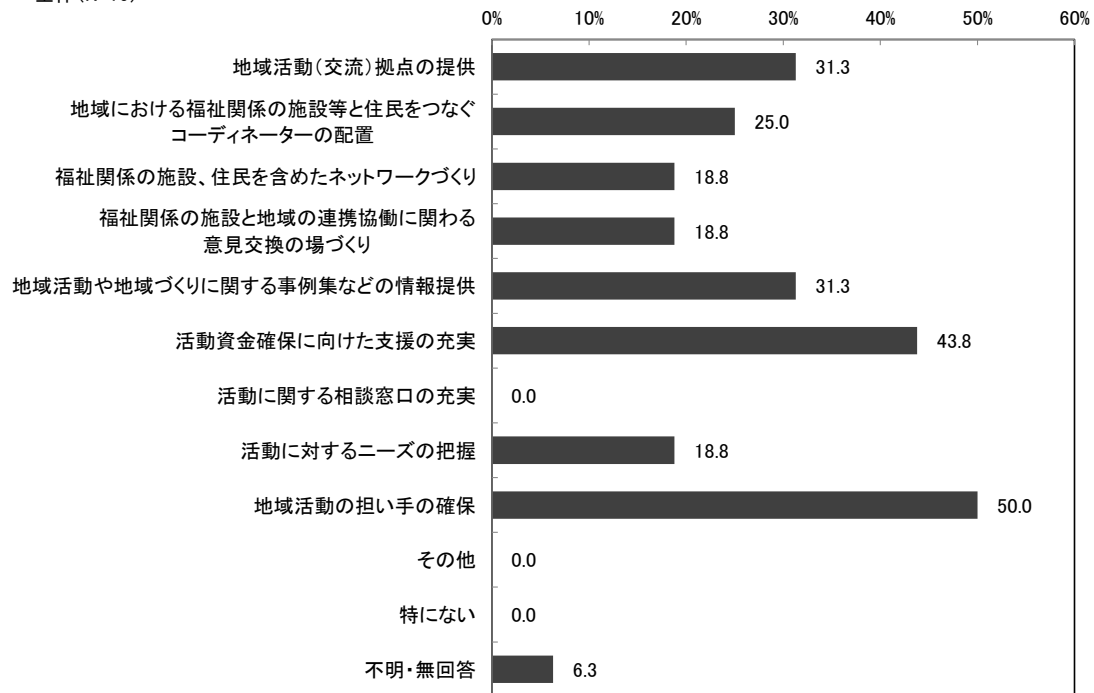


（３）地域福祉の推進について

問 12 今行っている活動について、今後、町社会福祉協議会に支援してほしいことは何ですか。（複数回答）

今後、町社会福祉協議会に支援してほしいことについては、「地域活動の担い手の確保」が50.0%と最も高く、次いで「活動資金確保に向けた支援の充実」が43.8%、「地域活動（交流）拠点の提供」「地域活動や地域づくりに関する事例集などの情報提供」が31.3%となっています。

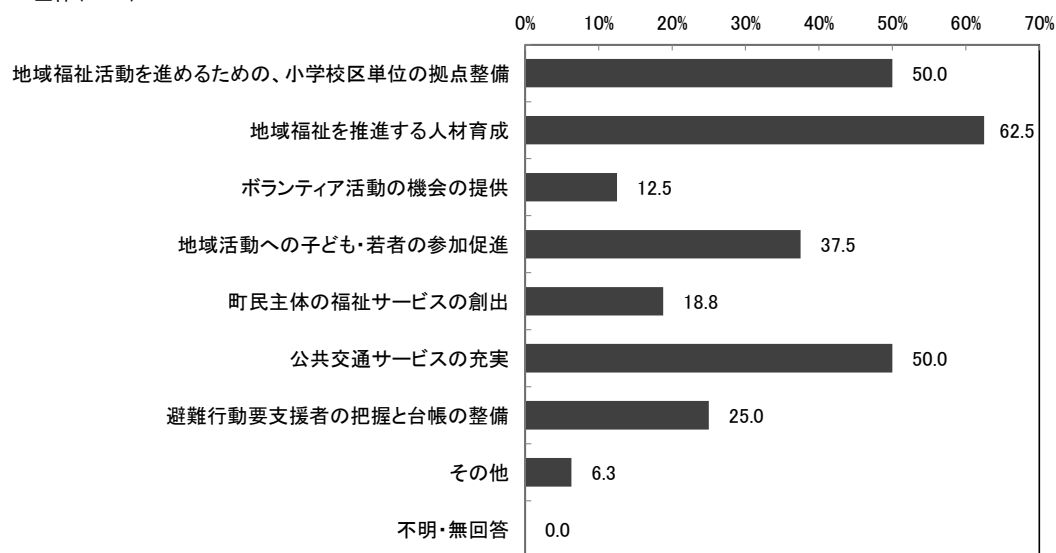
全体(N=16)



問 13 次の取組のうち、今後、行政(町)で重点的に進めるべきだと思うものはどれですか。（複数回答）

今後、行政（町）で重点的に進めるべきだと思うものについては、「地域福祉を推進する人材育成」が62.5%と最も高く、次いで「地域福祉活動を進めるための、小学校区単位の拠点整備」「公共交通サービスの充実」が50.0%、「地域活動への子ども・若者の参加促進」が37.5%となっています。

全体(N=16)



問 14 「支え合う地域づくり」をはじめ福祉全般について、地域での困りごとや、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。（記述回答）

担い手の確保、活動の実施や継続の難しさに関する意見などがみられます。

1	今後、数年の内に高齢者が増え、行政だけでは手に負えなくなるのは当然のことだと思いますので、早急に地域の人材を活用し、皆で助け合い、支え合えるような組織や団体、または、リーダーとなる人材を育成し、システム化して継続して行けるような地域づくりができればと思います。
2	定年延長、再任用、年金受給の高齢化等により地域で活動する人材が減少してきており、区の行事等の運営も厳しくなっている。
3	賃貸住宅にお住いの皆様が自治会に入会していただくことが一番だと思います。行政でもっと入会を勧めてほしい。
4	単年で自治会が交代してしまうため、継続的な計画が引き継がれない。
5	各家庭の中まで見通すことは難しい。民生委員が行っている一定年齢以上の定期見回りは良いと思う。

※ 主な意見を掲載しています。

問 15 あなたがお住まいの地域で行った、または見聞きした地域福祉推進のための取組を教えてください。

茶話会、防犯パトロール、サロンに関する取組が寄せられました。

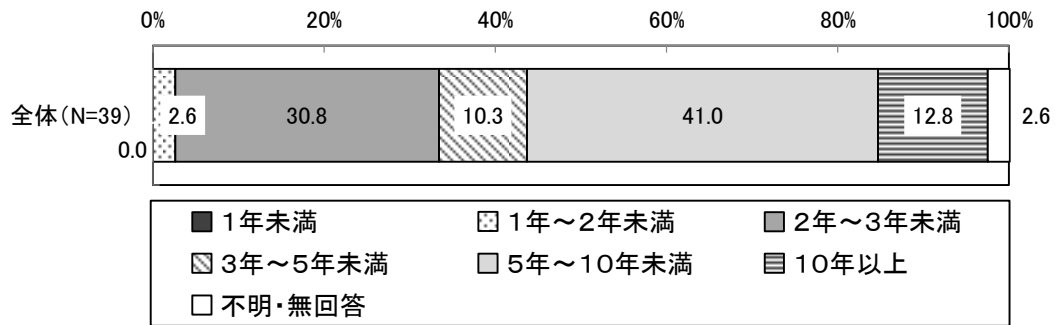
1	■茶話会の実施（憩いの会） 高齢者の最寄機関として実施。1 杯 100 円のコーヒーで自由に集える機会を作っている。毎月 1 回、自由参加。普段会っていない人達に、皆さん楽しそうに会話が弾んでいる。
2	■地区内の防犯パトロール 青色回転灯パトロールカーを使用し、自治会役員が実施。 週 1 回、月 4 回実施。テープで放送しながらパトロールし、巡回後、パトロール日誌を記入。当番表を作り、担当者を決めて行っている。
3	■サロン 民生委員、地域サポーターが運営。コーヒー、紅茶（菓子付き）を飲みながら、談話。

4 アンケート調査結果【民生委員・児童委員】

(1) 活動の状況について

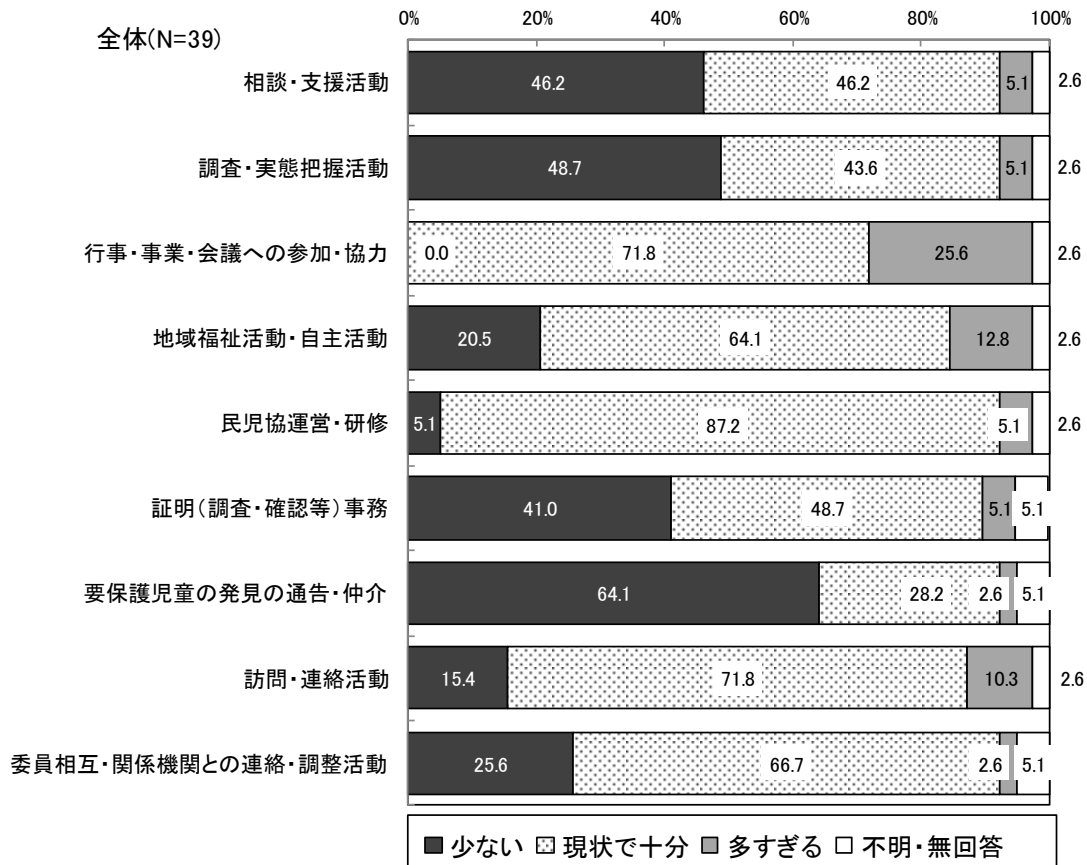
問1 活動年数を教えてください。(単数回答)

活動年数については、「5年～10年未満」が41.0%と最も高く、次いで「2年～3年未満」が30.8%、「10年以上」が12.8%となっています。



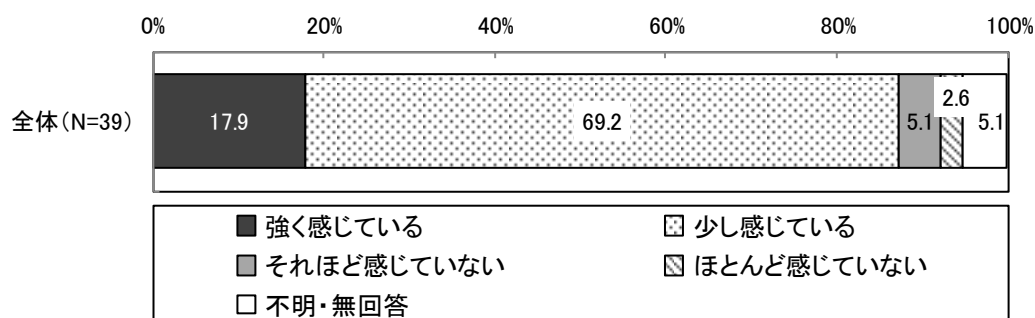
問2 あなたは、民生委員・児童委員活動をどのように感じていますか。(単数回答)

民生委員・児童委員活動に対して感じることにについては、「少ない」が最も高いのは、要保護児童の発見の通告・仲介で、6割を超えています。「現状で十分」が最も高いのは民児協運営・研修で、8割を超えています。「多すぎる」が最も高いのは、行事・事業・会議への参加・協力で、2割を超えています。



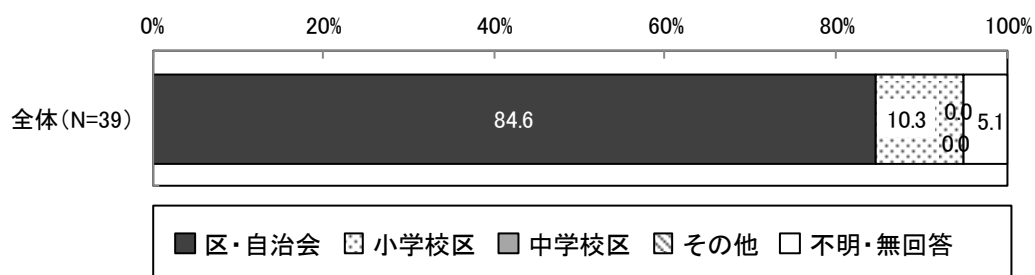
問3 現在の活動にやりがいを感じられていますか。(単数回答)

現在の活動に感じられるやりがいについては、「少し感じている」が69.2%と最も高く、次いで「強く感じている」が17.9%、「それほど感じていない」が5.1%となっています。



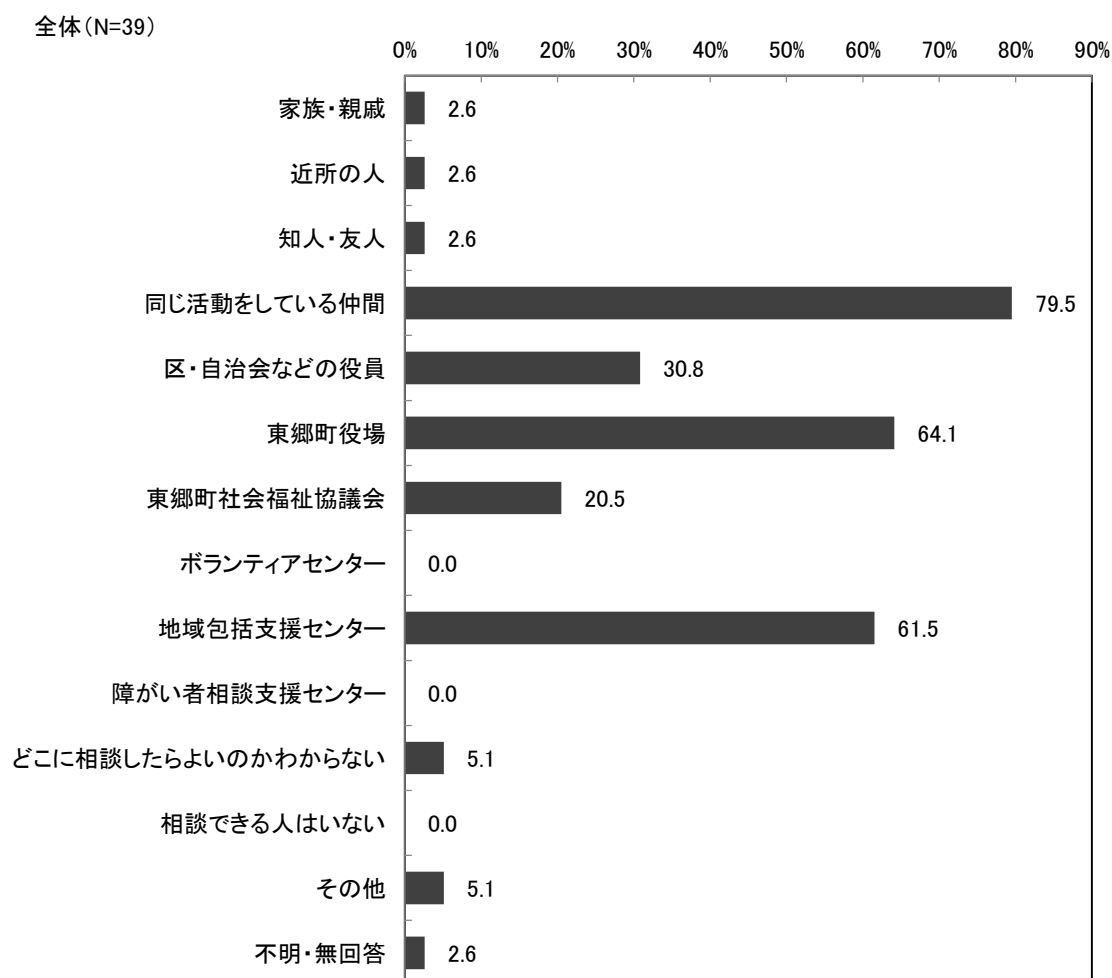
問4 民生委員・児童委員の活動を取り組みやすい区域について、どのようにお考えですか。(単数回答)

民生委員・児童委員の活動を取り組みやすい区域については、「区・自治会」が84.6%と最も高く、次いで「小学校区」が10.3%となっています。



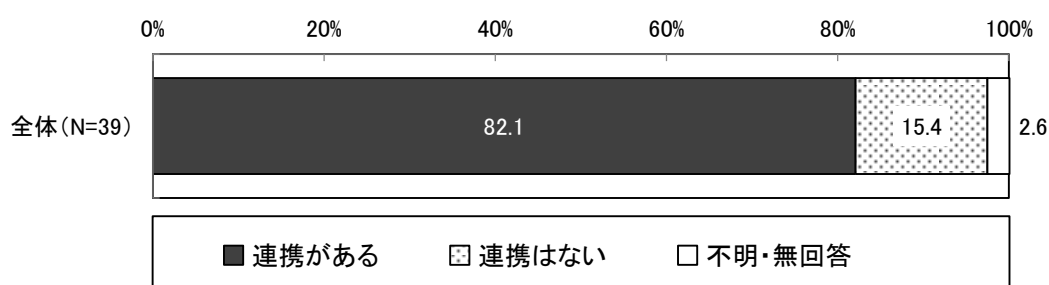
問5 民生委員・児童委員の活動をする中で困ったとき、誰に(どこに)相談していますか。
(複数回答)

民生委員・児童委員の活動をする中で困ったときの相談先については、「同じ活動をしている仲間」が79.5%と最も高く、次いで「東郷町役場」が64.1%、「地域包括支援センター」が61.5%となっています。



問6 民生委員・児童委員の活動の中で、他の組織・団体との連携はありますか。
(単数回答)

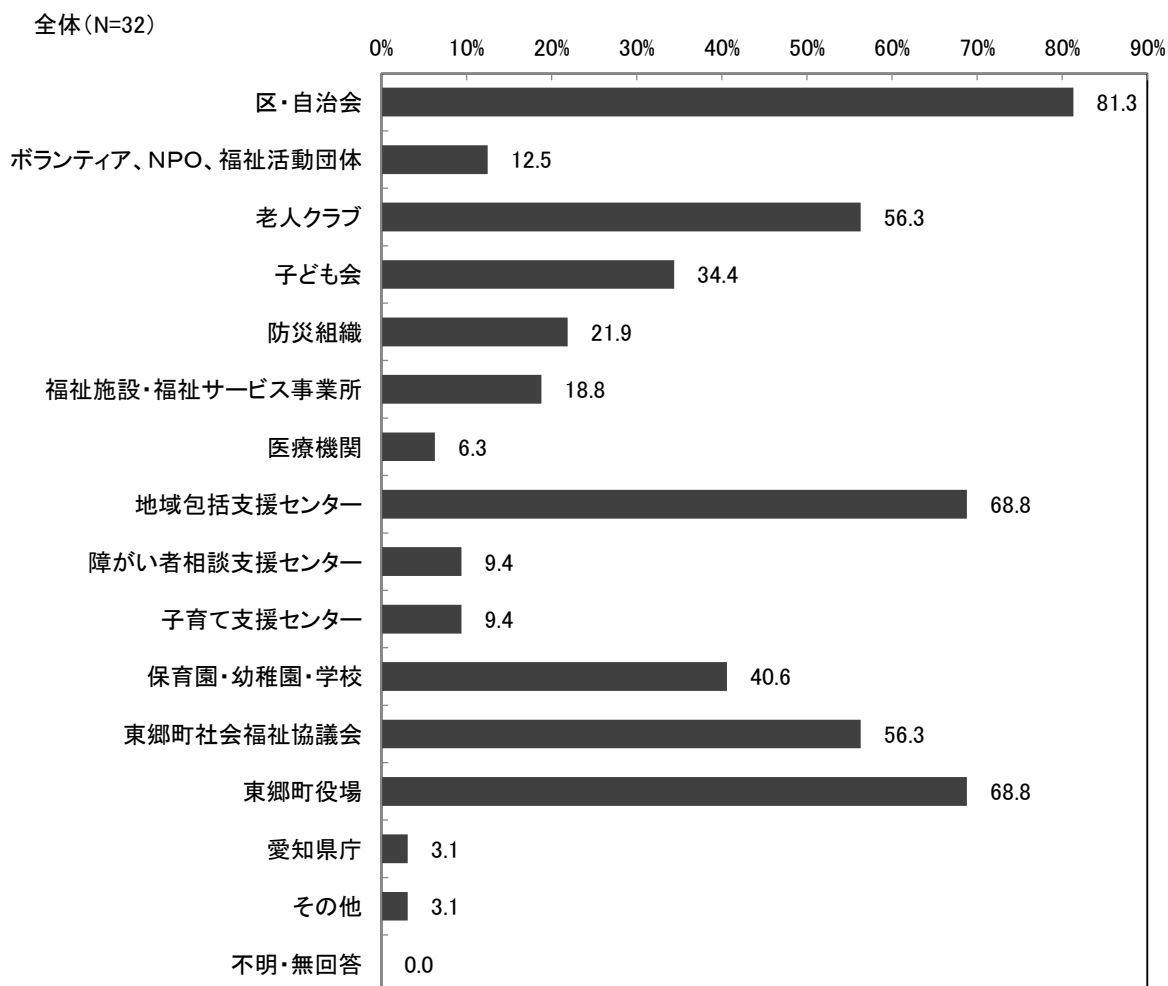
民生委員・児童委員の活動の中での他の組織・団体との連携の有無については、「連携がある」が82.1%、「連携はない」が15.4%となっています。



問6で「1 連携がある」を選んだ方

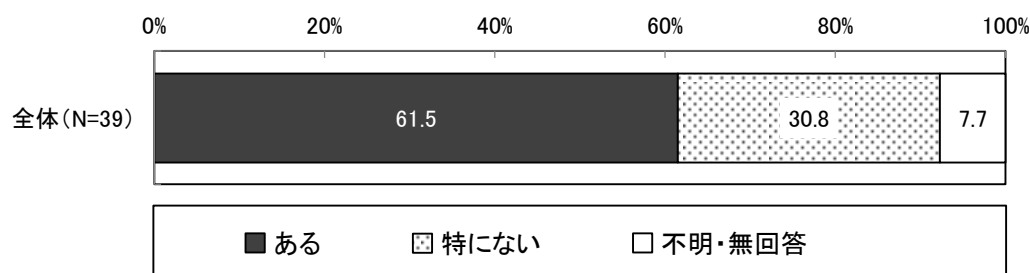
問6-1 連携がある組織・団体は次のうちどれですか。(複数回答)

連携がある組織・団体については、「区・自治会」が81.3%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」「東郷町役場」が68.8%、「老人クラブ」「東郷町社会福祉協議会」が56.3%となっています。



問7 今後、地域活動の中で連携をとりたい組織・団体はありますか。(単数回答)

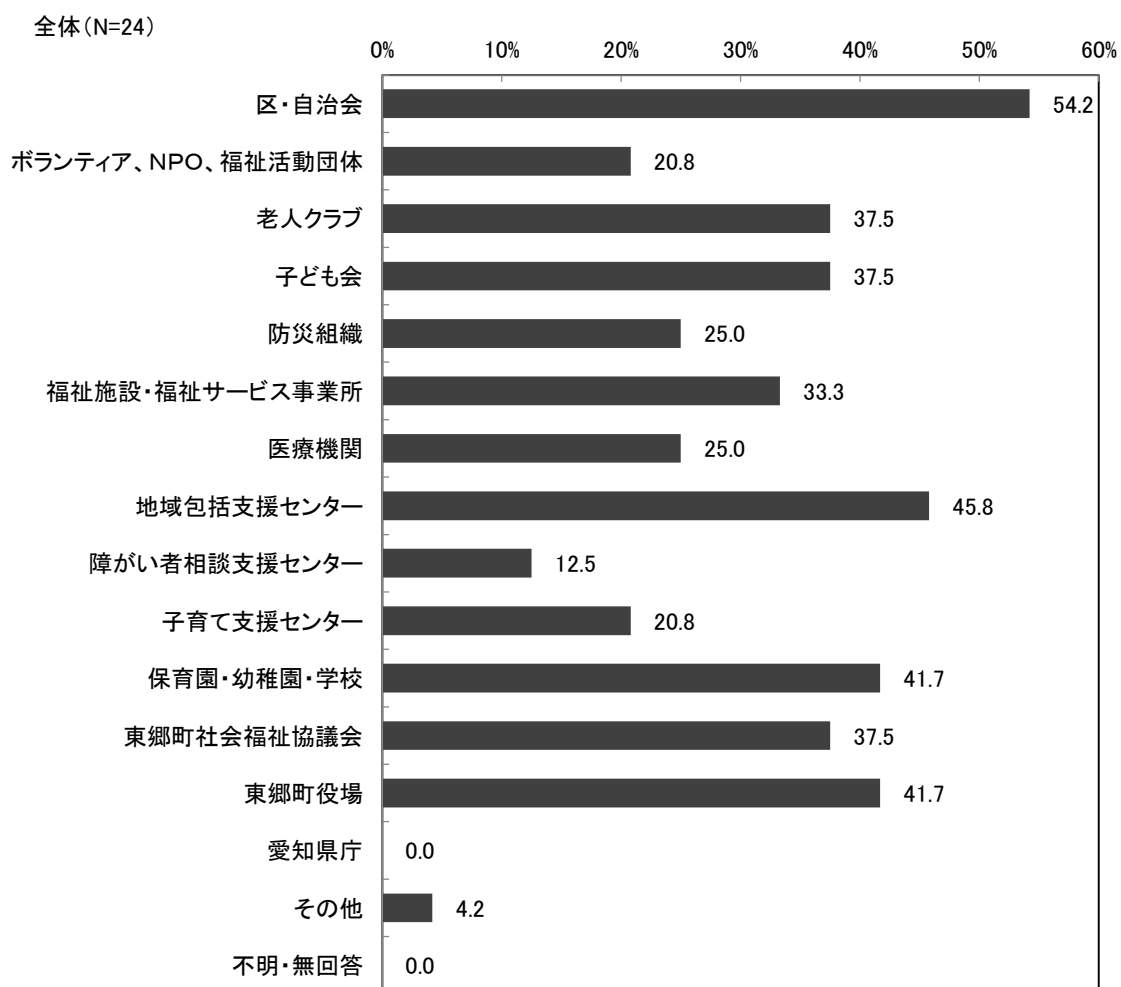
今後、地域活動の中で連携をとりたい組織・団体の有無については、「ある」が61.5%、「特にない」が30.8%となっています。



問7で「1 ある」を選んだ方

問7-1 これから連携していきたい組織・団体は次のうちどれですか。(複数回答)

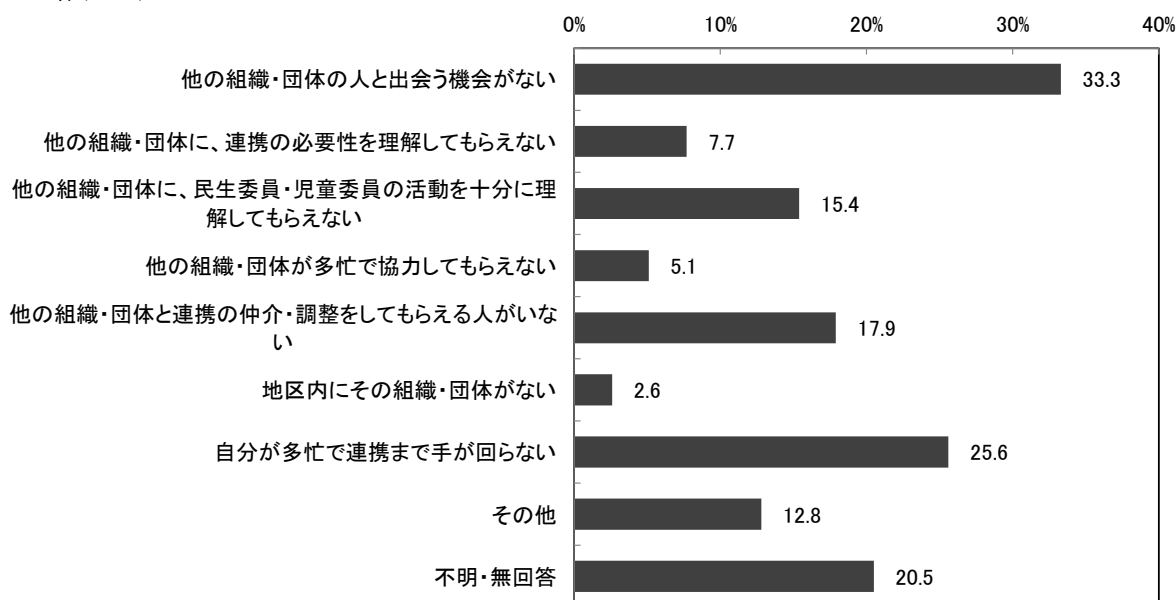
これから連携していきたい組織・団体については、「区・自治会」が54.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が45.8%、「保育園・幼稚園・学校」「東郷町役場」が41.7%となっています。



問8 他の組織・団体と連携しようとする上で困っていることはありますか。(複数回答)

他の組織・団体と連携しようとする上で困っていることについては、「他の組織・団体の人と出会う機会がない」が33.3%と最も高く、次いで「自分が多忙で連携まで手が回らない」が25.6%、「他の組織・団体と連携の仲介・調整をしてもらえる人がいない」が17.9%となっています。

全体(N=39)

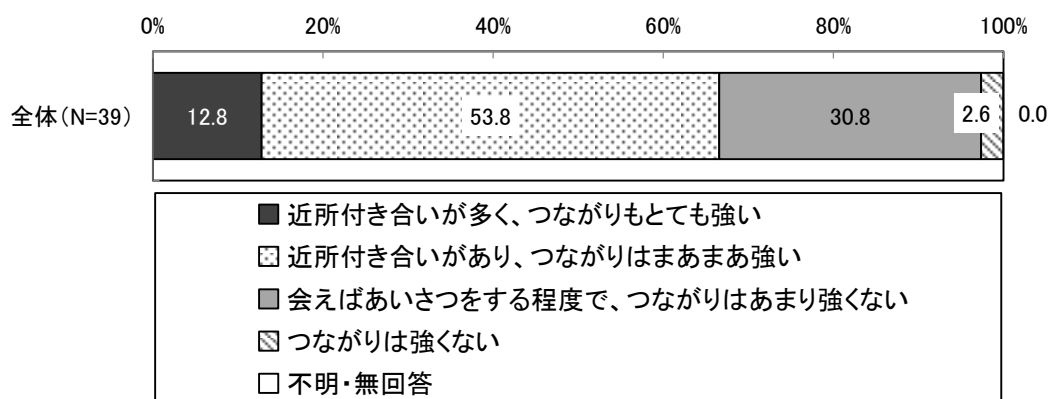


(2) 地域について

問9 あなたがお住まいの地域では、地域のつながりが強いですか。(単数回答)

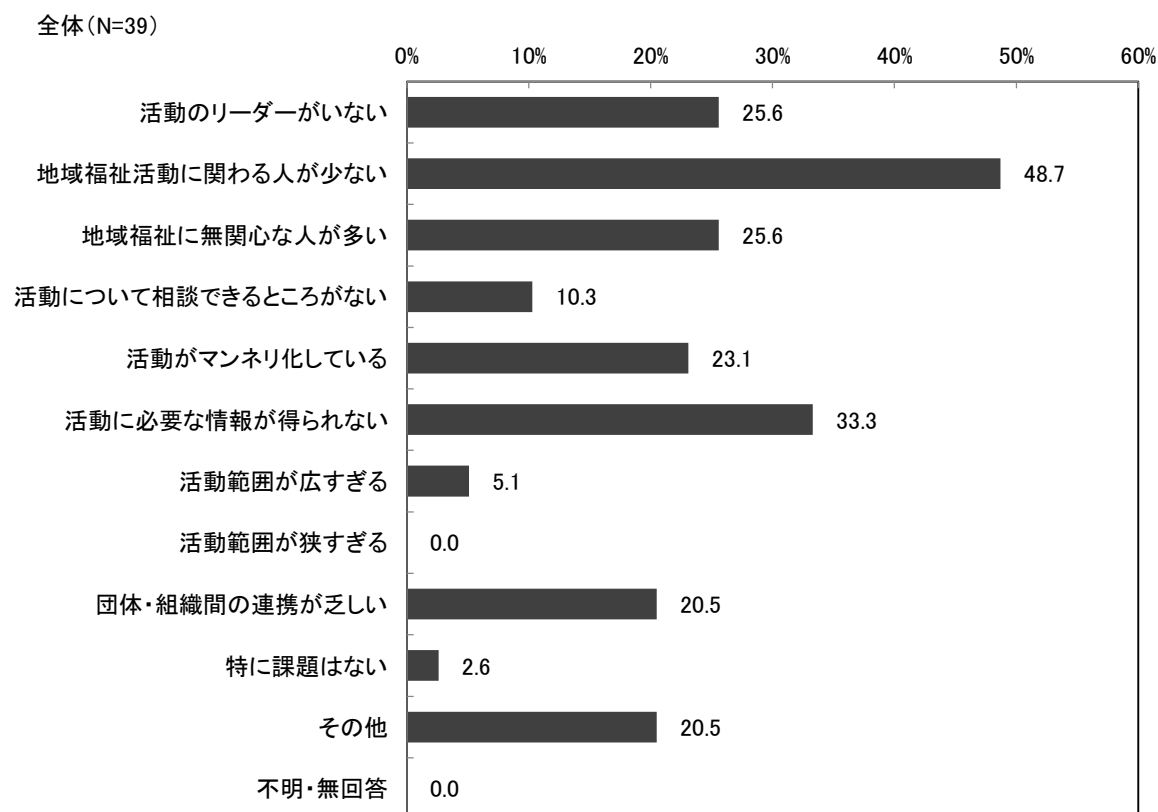
住んでいる地域のつながりの強さについては、「近所付き合いがあり、つながりはまあまあ強い」が53.8%と最も高く、次いで「会えばあいさつをする程度で、つながりはあまり強くない」が30.8%、「近所付き合いが多く、つながりもとても強い」が12.8%となっています。

また、つながりが強いと回答した理由は、代々続くご近所の信頼関係、あいさつと会話の中で情報交換し、様子うかがいをしている、などといった回答が、つながりが弱いと回答した理由は、近所に来た新しい人が引越してきてても全くあいさつがない、自治会に入っていない方と集まる機会がない、などといった回答がありました。



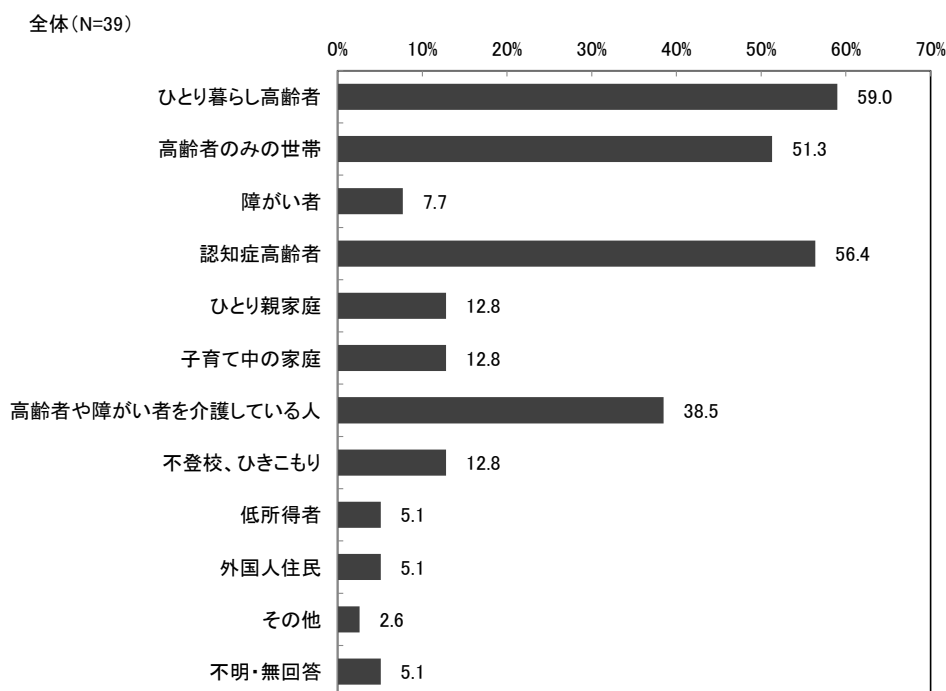
問 10 あなたがお住まいの地域では、地域の助け合い・支え合い活動を推進するにあたっての課題はありますか。(複数回答)

自分が住んでいる地域で、地域の助け合い・支え合い活動を推進するにあたっての課題があるかについては、「地域福祉活動に関わる人が少ない」が48.7%と最も高く、次いで「活動に必要な情報が得られない」が33.3%、「活動のリーダーがいない」「地域福祉に関心な人が多い」が25.6%となっています。



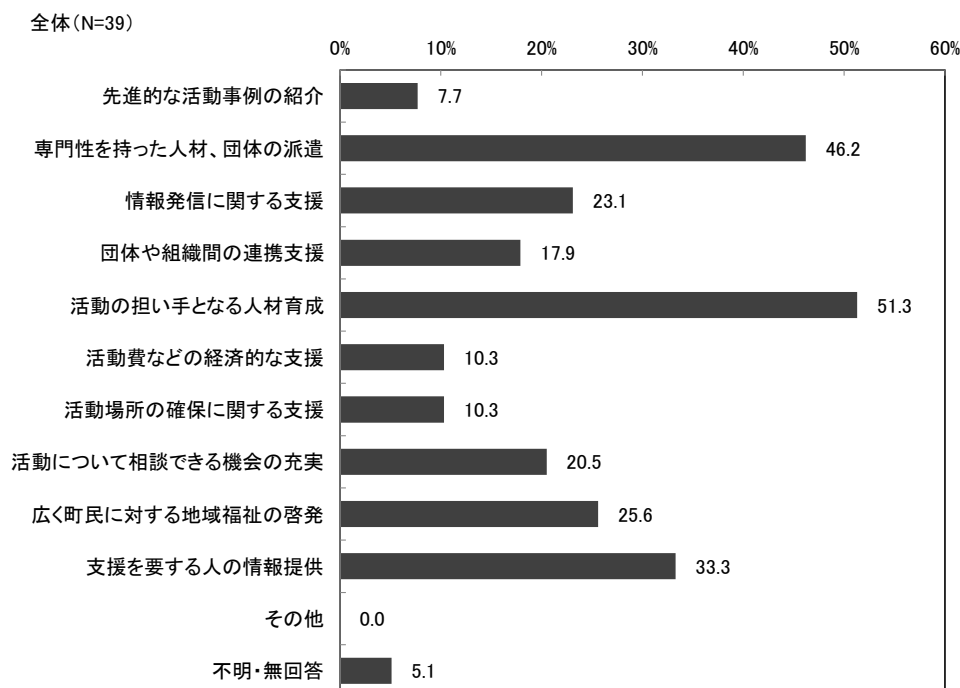
問 11 あなたがお住まいの地域において、これから特に支援が必要だと思う対象は誰ですか。(複数回答)

自分が住んでいる地域において、これから特に支援が必要だと思う対象については、「ひとり暮らし高齢者」が 59.0%と最も高く、次いで「認知症高齢者」が 56.4%、「高齢者のみの世帯」が 51.3%となっています。



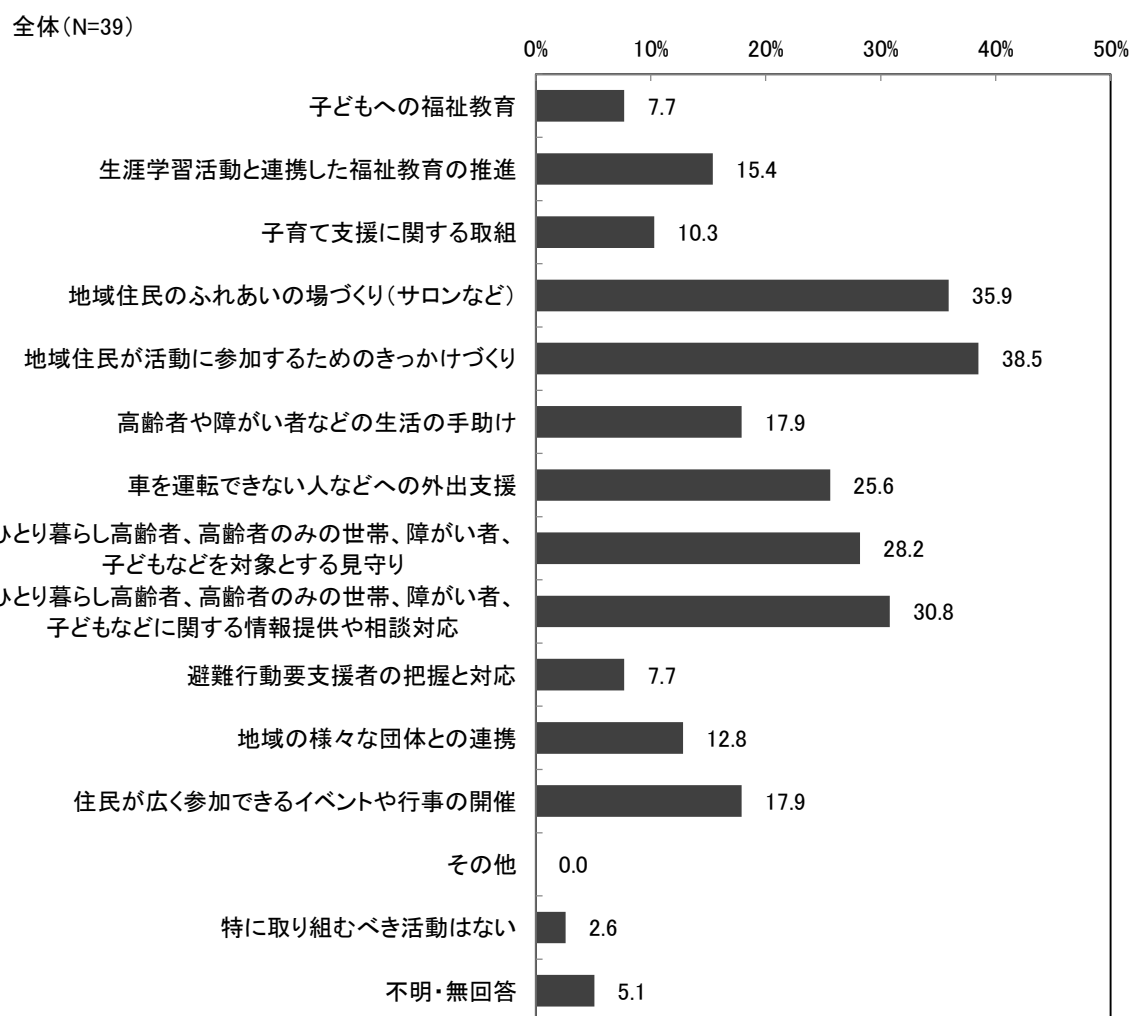
問 12 問 11 で回答した対象者の支援に向けた地域の助け合い・支え合い活動を推進するために必要なことは何ですか。(複数回答)

問 11 で回答した対象者の支援に向けた地域の助け合い・支え合い活動を推進するために必要なことについては、「活動の担い手となる人材育成」が 51.3%と最も高く、次いで「専門性を持った人材、団体の派遣」が 46.2%、「支援を要する人の情報提供」が 33.3%となっています。



問 13 今後、あなたがお住まいの地域で、支え合い・助け合い活動を推進するために
何が必要だと思いますか。(複数回答)

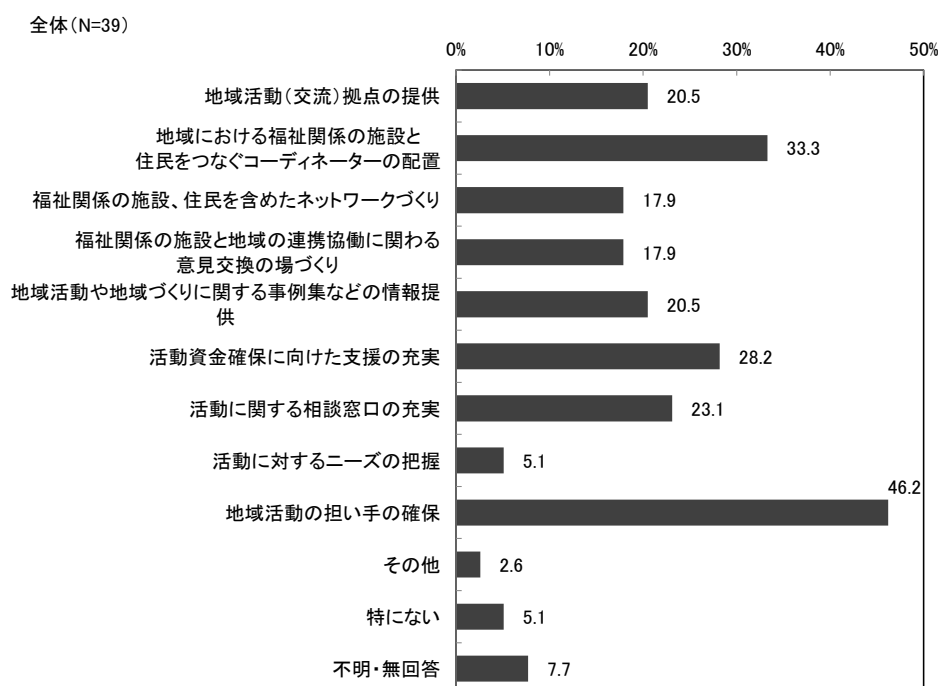
今後、住んでいる地域で、支え合い・助け合い活動を推進するために必要だと思うことについては、「地域住民が活動に参加するためのきっかけづくり」が38.5%と最も高く、次いで「地域住民のふれあいの場づくり(サロンなど)」が35.9%、「ひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、障がい者、子どもなどに関する情報提供や相談対応」が30.8%となっています。



（３）地域福祉の推進について

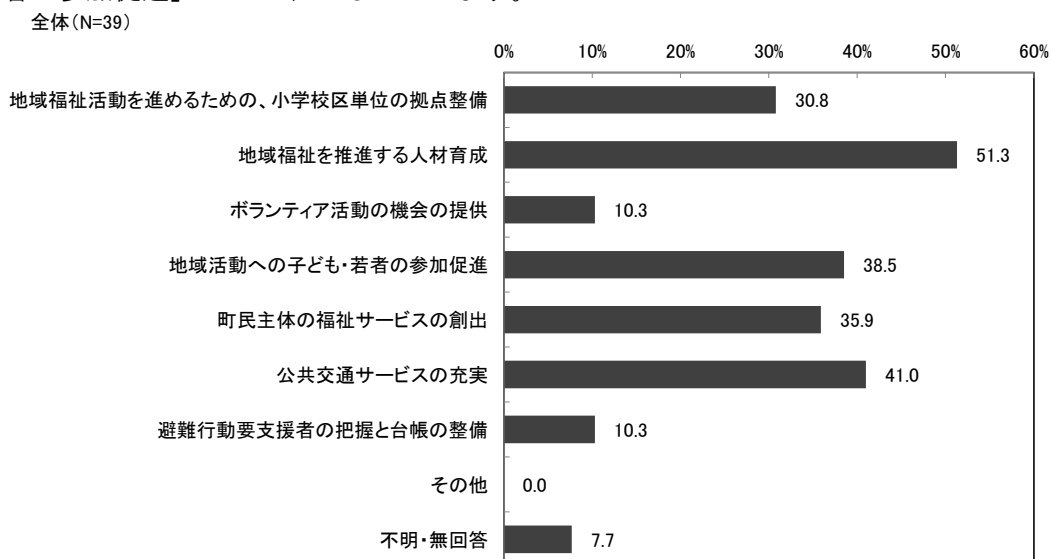
問 14 今行っている活動について、今後、町社会福祉協議会に支援してほしいことは何ですか。（複数回答）

今後、町社会福祉協議会に支援してほしいことについては、「地域活動の担い手の確保」が46.2%と最も高く、次いで「地域における福祉関係の施設と住民をつなぐコーディネーターの配置」が33.3%、「活動資金確保に向けた支援の充実」が28.2%となっています。



問 15 次の取組のうち、今後、行政(町)で重点的に進めるべきだと思うものはどれですか。（複数回答）

今後、行政(町)で重点的に進めるべきだと思うものについては、「地域福祉を推進する人材育成」が51.3%と最も高く、次いで「公共交通サービスの充実」が41.0%、「地域活動への子ども・若者の参加促進」が38.5%となっています。



問 16 現在の活動を行っている中で悩んでいること、困りごとがございましたらご自由にお書きください。（記述回答）

民生委員・児童委員の認知度、潜在的なニーズの可能性、活動の進め方に関する悩みなどの意見がみられます。

1	意外と地域の方が、誰が民生委員、児童委員をしているか知らない事、どんな活動をしているか知らない事…が気になります。
2	地区の住民から相談を受ける事が少ないが、困っていても他人への相談を躊躇している方がいるのではないかと思います。
3	既存のできあがった集団（組織）への自身の入り方、対応の仕方について苦慮しています。
4	地区の組織には民生委員、児童委員は理解されているが、情報交換が少ない。個人情報扱うので、話し方や情報伝達が難しい。地域で支え合う環境づくりが不足している。
5	登録はしているが、民生委員には関わってほしくない、と言われる方もいらっしゃるの、そういう方との接し方は悩みます。
6	高齢者の方が買い物、最寄りバス停までの移動が困難であり、タクシーがあまり近い所では頼みにくい事。
7	児童館の了解を得て、活動を開始したところですが、他の民生児童委員と一緒にすることが難しいように思っています。共に忙しいことを知っているので声掛けが…。また、継続できるか心配なこともあるので、もう少し後に声掛けをする予定ですが、活動資金確保に支援があればと思っています。
8	子どもへの虐待がなくなる。親の心理カウンセラーが必要でないか。
9	今後大きな災害が起きた時に、避難行動要支援者を支援出来るだろうか…と不安に思う。
10	地域福祉の範囲が漠然として広すぎる事。相談者の複合的な相談が多い（介護の事、相続の事、子育て、経済的…）。それぞれ相談すべき場所が一か所でない。
11	どの程度の活動までやれば良いか分かりません。

※ 主な意見を掲載しています。

問 17 「支え合う地域づくり」をはじめ福祉全般について、民生委員・児童委員として取り組みたいことや、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。(記述回答)

各地区での取組の情報共有、子ども・高齢者・障がい者との関わりの重要性、保育の質・防犯などの子どもへの支援、活動の範囲が広がったことへの懸念などといった意見がみられます。

1	他の地区ではどんな仕組みで活動しているか知りたい。
2	地域活動での取り組み方、他民生委員の活動内容の取り組み方など、実務ベースの内容の意見交換があっても良いのでは…。
3	幼稚園、保育園～小学校～中学校と定期的及び継続的に高齢者や障害者に関わる取組をしていけたら、地域福祉への(授業の一環として)興味、関心が大きくなるかも。
4	民児協は地域の情報を共有化するため地区リーダーを設け地域づくりに協力できる体制をつくった。今後は高齢者、子ども、障がい者の手助けとなる活動をしていく。自治会(区会)とも連携を密にし、福祉活動を高めたい。
5	「高齢者を支える社会」から「高齢者が支える地域社会」を目指す東郷町モデルに取り組みたい。高齢者が子育て支援も含めて地域を支えることができれば、現役世代は安心して働くことができる。
6	地域サポーターとしてのネットワークを広め、災害時の支援活動を強化したい。
7	高齢者の方々との交流、支え合うことはしていることが多いが、子ども達との交流が少ないので、地域で子ども会との交流をと思っていますが…。
8	幼児教育の大切さが証明された論文で多く発表されている一方で、働くお母さんが増えている。保育の質に今、何を取り入れて高めていかなければならないかを知る事から始め、町民として何ができるか考えたい。
9	地域の皆さんが日頃感じている事や困り事を、気軽に口に出せる場があり、それを私達民生委員がいつも聞いてあげられる機会があれば嬉しいです。
10	民生委員になってから近所の人達との繋がりが薄くなったような気がします。広範囲になり見守りが主になり、もっと気を付けなければならない人に声を掛ける機会が少なくなった(老人のみの世帯、介護している家族、子育てに苦労している家庭等)。
11	最近は、となり近所の付き合いも少なくなっているので、まずは地域の方や子どもたちに、あいさつや声掛けを積極的に行い、顔見知りになることから始めていきたいと思います。

※ 主な意見を掲載しています。

問 18 あなたがお住まいの地域で行った、または見聞きした地域福祉推進のための取組を教えてください。（記述回答）

福祉委員会での活動、サロン、茶話会、休耕田を活用した取組、防犯パトロールなど 22 件の取組が寄せられました。

1	■自治会福祉委員会 サロンを行っている。日本茶・抹茶・コーヒー・紅茶・お菓子（高価なものではない）を出す。参加者同士で会話、工作、ゲーム、東郷体操など。スタッフは、福祉委員と前任の民生委員、ボランティア。その他、講演会等を年 2 回、お正月しめかざり作り、地域の方々や福祉施設で作成された作品を展示。
2	■老人会の活動 草取りなど、ゴミ拾い、お茶会、敬老会等の行事
3	■地域サポーターによる活動 ひきこもりを防ぎ、地域のふれあいを深める事を目的に、65 才以上の住民の方々の参加者とお茶を飲みながら会話をしつつ、困り事などを聞いて、サポーターで判断出来ない問題は、次回に社会福祉協議会の方に来てもらって説明して頂いている。
4	■茶話会（JA さわやか東郷） 地域の高齢者が、毎月第 3 月曜日に午前 9 時～11 時位まで。参加費をいただいて、包括支援センターからの催し物や、体操、保育園児との交流、軽食。
5	■地区の民生委員と民生委員 OB による活動 自治会の敬老会が無くなったことを受け、一人暮らしの高齢者の方々のために何かしたいと考え、交流活動。
6	■休耕田を使った、障がい者、高齢者の社会参加 地区内の休耕田を使って、農耕をしてみたい人に対し、作物の育成・収穫を通して交流を推進している。
7	■防犯パトロール隊 地区内を 4 か所に分けて、各グループ月に 1 回（昼、夜）、広報車と歩行パトを行う。隊長を中心に組織もつくり、“パトロールだより”も年 4 回発刊している。年末イベントあり（愛知署の方、役場の方、地域住民等）。
8	■夏休みのラジオ体操 有志の方でラジオ体操、健康推進課より 2 日間とうごう体操の指導もあり。

※ 主な意見を掲載しています。